

**令和 5 年度神奈川県困難を抱える女性に係る実態調査
調査報告書**

**令和 6 年 3 月
神奈川県**

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計と回収結果	1
3. 報告書の見方	2
第2章 調査結果	3
1. スクリーニング調査結果	3
2. 回答者の基本属性	4
1) 主な属性（年齢、婚姻状況、職業、居住地域）	4
2) 家族構成	6
3) 年齢別 基本属性	8
3. 経済状況について	10
1) 主たる家計の担い手	10
2) 年収	11
4. 生活意識・生活状況について	13
1) 経済困窮感	13
2) 主観的健康感	14
3) ストレスや生きづらさ	15
4) メンタルヘルス	17
5) 孤独・孤立感	19
5. 人間関係について	21
1) 親しく話ができる人	21
2) 不安・悩みの相談相手	22
3) 相談することについての考え	23
6. 抱える困難の状況について	24
1) 抱える困難の状況（全体）	24
2) 暴力に係る問題	28
3) 性的な被害や問題	31
4) 生活困窮や就労に係る問題	32
5) 健康に係る問題	34
6) 家庭に係る問題	35
7) 職場・学校・地域での人間関係等に係る問題	36
8) 住まいや居場所に係る問題	37
9) その他の生活上の深刻な悩み・困りごとに係る問題	39
7. 抱える困難への対応について	40
1) 困難への対応状況	40
2) 公的な窓口の相談・支援を受けていない理由	42
3) 相談・支援窓口に見る形態	43
8. 困難な問題を抱える女性に対する相談・支援について	44
1) 相談窓口の認知・利用状況	44
2) 希望する相談方法	49
3) 困難を解決するために必要な環境・支援	50
4) DV等の解決のために必要な環境・支援	52
5) 抱える困難や支援に対する要望等（自由意見）	53

第3章 調査結果のまとめ.....	55
1. 困難な問題を抱える女性の状況と支援ニーズ.....	55
1) 困難な問題を抱える女性の特徴（属性や生活意識等）.....	55
2) 抱える困難の状況.....	56
3) 相談・支援に対するニーズ.....	57
2. 基本方針の主要項目に関連する調査結果.....	60
1) アウトリーチ等による早期の把握.....	60
2) 居場所の提供.....	60
3) 相談支援.....	60
4) 一時保護.....	61
5) 被害回復支援.....	61
6) 生活の場をともにすることによる支援（日常生活の回復の支援）.....	61
7) 自立支援、アフターケア.....	61
第4章 資料編.....	62
1. 調査票.....	62

第1章 調査の概要


1. 調査の目的

令和6年4月に施行される「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」第8条第1項の規定に基づく都道府県基本計画の策定に向けて、神奈川県内における、配偶者からの暴力、性暴力、生活困窮及びその他日常生活を円滑に営む上で困難な問題を抱える女性に係る実態を把握し、計画内容等の検討に役立てることを目的とする。

2. 調査設計と回収結果

今回の調査は、インターネット調査（インターネットアンケートの登録モニターに対する調査）として下記の設計により実施した。

図表 - 1 調査設計と回収結果

調査対象	神奈川県在住の18歳以上の女性で、 配偶者からの暴力、性暴力、生活困窮及びその他日常生活を円滑に営む上で困難な問題を抱える人
調査方法	インターネットアンケートの登録モニターに対する調査 (参考) 登録モニター数(令和5年6月現在) 神奈川県在住18歳以上女性 57,302人
調査の進め方	困難な問題を抱える女性に対する調査として、以下の2段階で実施。 ※アンケートアクセス総数：7,168サンプル ①スクリーニング調査 登録モニター(神奈川県在住18歳以上女性)から、何らかの困難な問題を抱える女性(経験者含む)を抽出するため、困難経験の有無を問うスクリーニング調査を実施。  ②本調査 スクリーニング調査で特定した調査対象者に本調査を実施。基本属性や生活状況・意識、抱える困難の内容や対処状況、相談・支援ニーズ等を把握。
有効回数数	1,050サンプル 年代割付3区分(18~30歳代以下、40・50歳代、60歳代以上) × 350サンプル

《スクリーニング調査項目》 困難を抱えた経験

Q：あなたは、次のようなことで困ったり、悩みを抱えたことはありますか。(複数回答)

1. 配偶者・パートナーから暴力(DV)や、恋人からの暴力(デートDV)がある
2. 配偶者・パートナー以外の家族から暴力がある
3. 家族とうまくいかない、家族に関する問題を抱えている
4. 職場や学校等で人間関係がうまく築けない、いじめやハラスメントを受けている
5. 仕事が見つからない、仕事が不安定
6. 経済的に困窮している(光熱水費・食糧費・医療費等を支払えない等)
7. 健康面の不安が大きい(メンタルヘルス含む)
8. 住まいが定まらない、家に居場所がない
9. 孤独・孤立を感じる
10. 性的な被害や問題を抱えている(性暴力や性的虐待、望まない妊娠など)
11. どれもあてはまらない

選択肢1~10の
いずれかに該当した
人が本調査へ回答

3. 報告書の見方

- 調査結果は、原則として各質問の調査数を基数（n）とした百分率（%）で表し、小数第 2 位を四捨五入している。このため、百分率の合計が 100%にならない場合がある。また、2 つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。
- クロス集計結果等において、基数（n）となる調査数が少数となる場合は参考までに数値を見る程度に留め、結果の利用には注意を要する。
- 分析コメント本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「資料編」掲載の調査票を参照のこと。

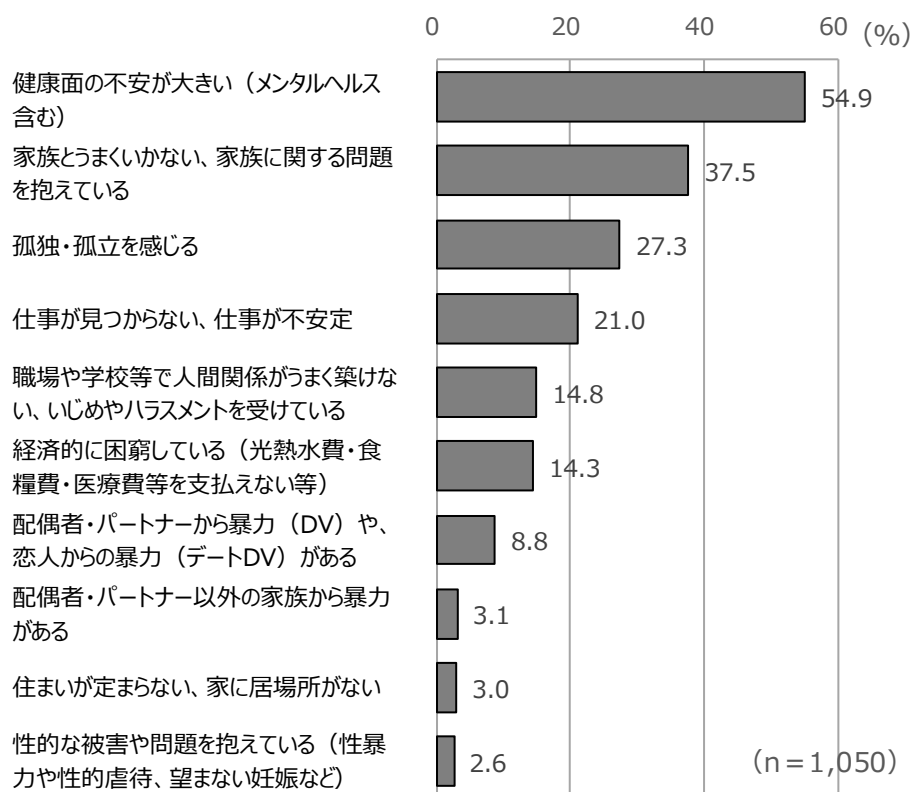
第2章 調査結果

1. スクリーニング調査結果

本調査の対象として困難な問題を抱える女性（経験者含む）を抽出するために、スクリーニング調査を実施した。

調査対象として抽出された1,050人のスクリーニング調査回答結果は以下のとおりであり、抱えたことがある困難の内容は「健康面の不安が大きい（メンタルヘルス含む）」（54.9%）の割合が最も高く、次いで「家族とうまくいかない、家族に関する問題を抱えている」（37.5%）、「孤独・孤立を感じる」（27.3%）、「仕事が見つからない、仕事が不安定」（21.0%）となっている。

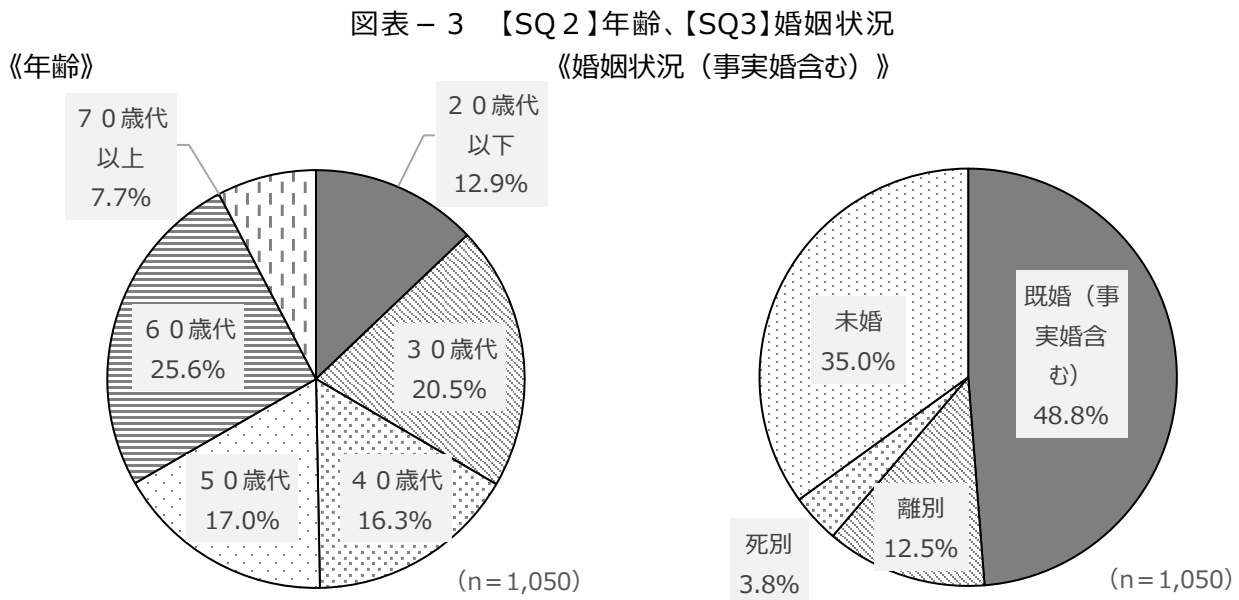
図表－2 【SQ5】困ったり、悩みを抱えた経験（複数回答）



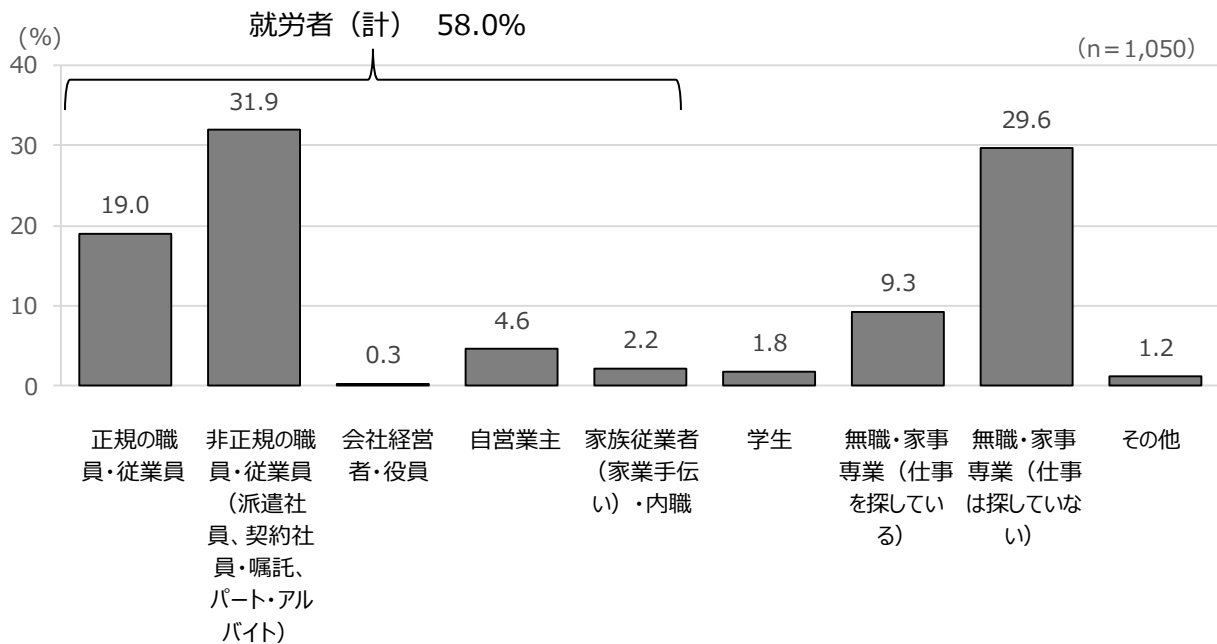
2. 回答者の基本属性

1) 主な属性（年齢、婚姻状況、職業、居住地域）

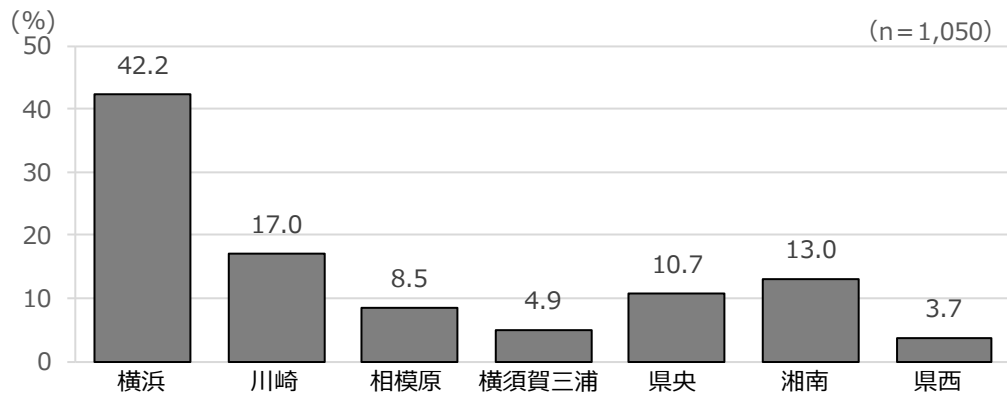
回答者の主な属性（年齢、婚姻状況、職業、居住地区）の状況は以下のとおり。



図表 - 4 【SQ4】職業



図表－5 【F1】居住地区



《地区区分》

地区区分	該当市町村
横浜	横浜市
川崎	川崎市
相模原	相模原市
横須賀三浦	横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町
県央	厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村
湘南	平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町
県西	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町

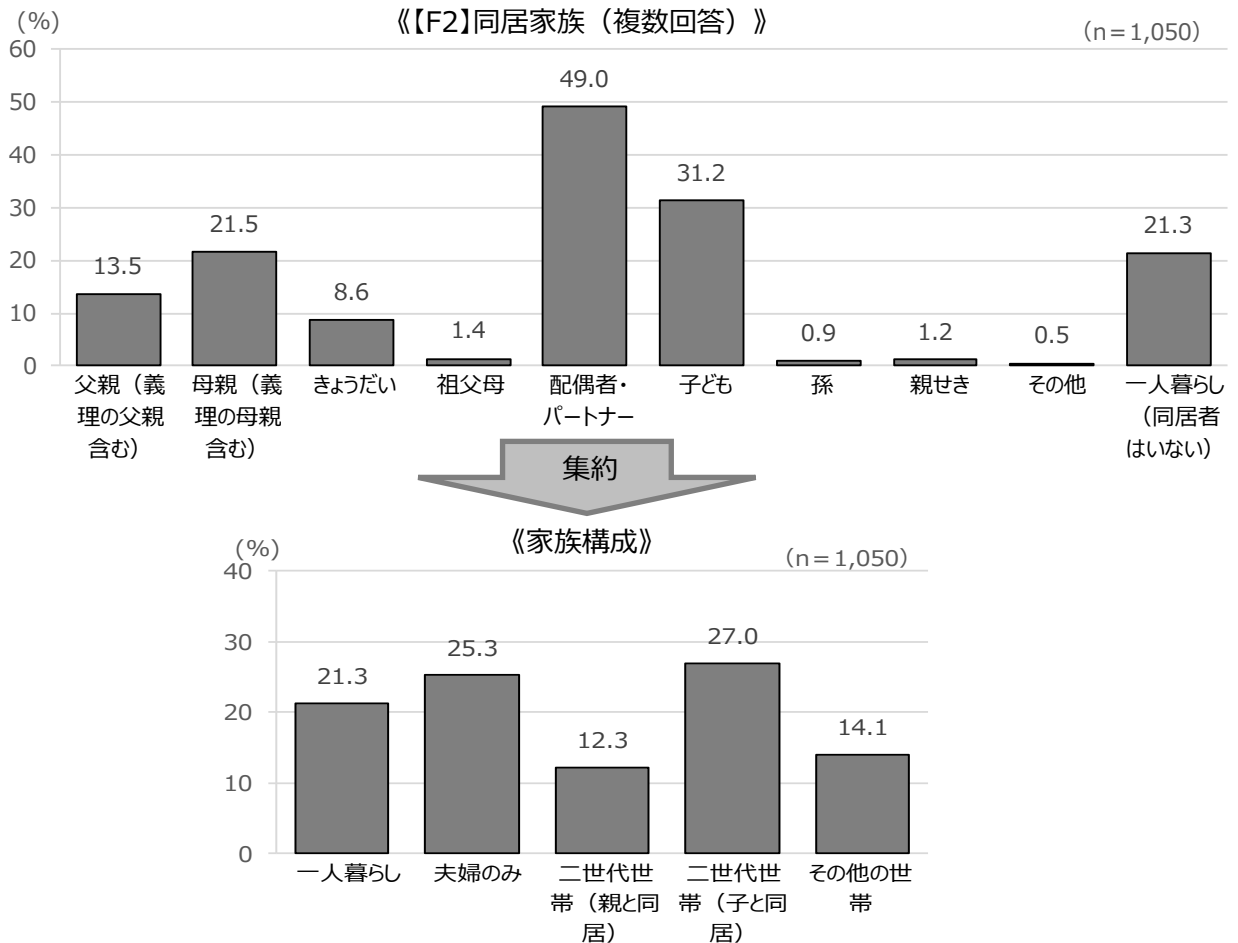
2) 家族構成

現在の同居家族では「配偶者・パートナー」(49.0%)の割合が最も高く、次いで「子ども」(31.2%)、「母親」(21.5%)となっている。

同居家族の回答結果から家族構成を整理すると、「二世世代世帯(子と同居)」(27.0%)の割合が最も高く、次いで「夫婦のみ」(25.3%)、「一人暮らし」(21.3%)となっている。

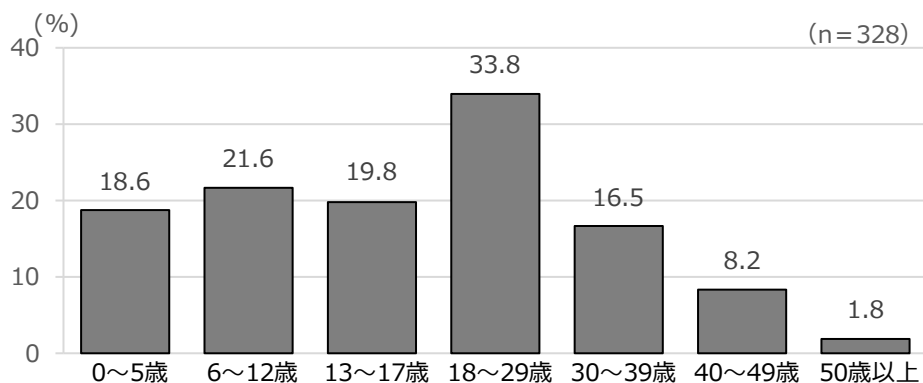
子どもと同居している場合の、子どもの年齢では、「18～29歳」(33.8%)の割合が最も高い。

図表－6 【F2】同居家族、家族構成



二世世代世帯(親と同居)：本人と親(義理の親含む) ※配偶者・パートナーは含むが、その他の同居者はいない
 二世世代世帯(子と同居)：本人と子ども ※配偶者・パートナーは含むが、その他の同居者はいない
 その他の世帯：きょうだいや祖父母、孫、親せき、その他の人が同居している世帯

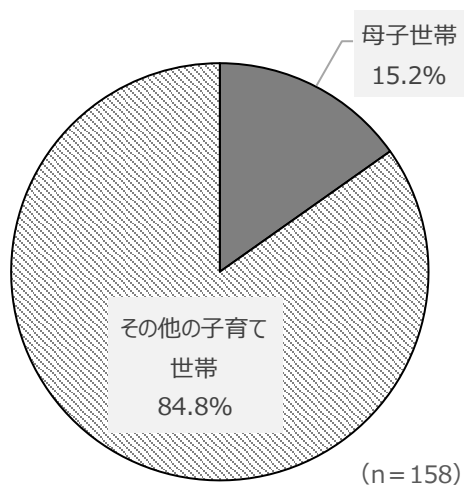
図表－7 【F2】同居している子どもの年齢(複数回答)



18歳未満の子どもと同居している人を「子育て世帯」として整理すると、158人が該当した（回答者全体の15.0%）。

子育て世帯の内訳をみると、「母子世帯」（婚姻状況が離別・死別・未婚のいずれかに該当）が15.2%となっている。

図表－8 【F2、SQ3】子育て世帯（18歳未満の子がいる世帯）



子育て世帯：18歳未満の子どもと同居（複数の子どもがいる場合、1人でも18歳未満の子どもがいれば該当）
母子世帯：上記の「子育て世帯」該当者のうち、婚姻状況が離別・死別・未婚
その他の子育て世帯：上記の「子育て世帯」該当者のうち、婚姻状況が既婚

3) 年齢別 基本属性

1) 主な属性、2) 家族構成の年齢別クロス集計結果は以下のとおり。

図表－9 年齢別 基本属性

(%)

	全体	年齢						
		20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	
調査数 (n)	1,050	135	215	171	179	269	81	
婚姻状況	既婚 (事実婚含む)	48.8	22.2	47.9	48.5	52.5	57.6	58.0
	離別	12.5	2.2	7.9	11.1	13.4	19.7	18.5
	死別	3.8	0.0	0.0	0.6	1.7	9.7	12.3
	未婚	35.0	75.6	44.2	39.8	32.4	13.0	11.1
職業	正規の職員・従業員	19.0	37.8	34.0	22.8	14.0	4.5	0.0
	非正規の職員・従業員	31.9	27.4	32.6	33.3	35.2	34.2	19.8
	会社経営者・役員	0.3	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	2.5
	自営業主	4.6	1.5	4.7	5.8	5.0	5.2	3.7
	家族従業者・内職	2.2	0.7	1.9	2.9	2.8	2.2	2.5
	学生	1.8	14.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職・家事専業 (求職中)	9.3	10.4	9.8	10.5	9.5	8.2	7.4
	無職・家事専業 (求職無)	29.6	7.4	15.8	24.6	31.8	43.5	63.0
	その他	1.2	0.7	0.9	0.0	1.7	2.2	1.2
居住地区	横浜	42.2	40.7	39.5	45.6	49.7	37.5	43.2
	川崎	17.0	20.0	17.7	18.1	11.2	16.0	24.7
	相模原	8.5	10.4	9.8	5.3	9.5	8.6	6.2
	横須賀三浦	4.9	5.9	3.7	2.9	5.0	6.7	3.7
	県央	10.7	6.7	8.8	11.1	10.1	14.9	8.6
	湘南	13.0	14.8	14.0	14.6	12.3	12.3	8.6
	県西	3.7	1.5	6.5	2.3	2.2	4.1	4.9
同居家族 (複数回答)	父親 (義理の父親含む)	13.5	36.3	16.3	21.6	9.5	1.5	0.0
	母親 (義理の母親含む)	21.5	50.4	23.7	26.9	20.1	8.6	2.5
	きょうだい	8.6	26.7	9.8	7.0	6.7	2.6	2.5
	祖父母	1.4	6.7	0.9	1.2	0.6	0.0	1.2
	配偶者・パートナー	49.0	28.1	50.2	48.5	49.7	55.8	58.0
	子ども	31.2	13.3	32.1	36.3	33.0	35.3	30.9
	孫	0.9	0.0	0.5	0.0	0.0	1.9	3.7
	親せき	1.2	1.5	1.4	1.2	0.0	1.5	2.5
	その他	0.5	0.7	0.5	0.0	0.6	0.0	2.5
家族構成	一人暮らし (同居者はいない)	21.3	22.2	18.6	18.1	19.6	26.0	22.2
	一人暮らし	21.3	22.2	18.6	18.1	19.6	26.0	22.2
	夫婦のみ	25.3	17.0	23.7	18.7	25.7	30.1	40.7
	二世帯世帯 (親と同居)	12.3	19.3	14.9	19.3	14.5	4.5	0.0
	二世帯世帯 (子と同居)	27.0	9.6	30.2	31.6	28.5	29.7	24.7
その他の世帯	14.1	31.9	12.6	12.3	11.7	9.7	12.3	

※子どもと同居している場合のみ回答

同居子ども年齢 (複数回答)	全体	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
		調査数 (n)	328	18	69	62	59
0～5歳	18.6	88.9	55.1	11.3	0.0	0.0	0.0
6～12歳	21.6	16.7	50.7	41.9	11.9	0.0	0.0
13～17歳	19.8	0.0	24.6	50.0	28.8	0.0	0.0
18～29歳	33.8	0.0	4.3	33.9	64.4	51.6	0.0
30～39歳	16.5	0.0	0.0	0.0	10.2	46.3	16.0
40～49歳	8.2	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	72.0
50歳以上	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	16.0

図表 - 10 年齢別 基本属性 (子育て世帯)

(%)

子育て世帯		全体	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
	調査数 (n)	158	18	68	49	23	0	0
母子世帯	15.2	16.7	14.7	14.3	17.4	0.0	0.0	
その他の子育て世帯	84.8	83.3	85.3	85.7	82.6	0.0	0.0	

3. 経済状況について

1) 主たる家計の担い手

世帯における主たる家計の担い手では、「主に配偶者・パートナー」(42.0%)の割合が最も高く、次いで「主に自分」(34.8%)となっている。

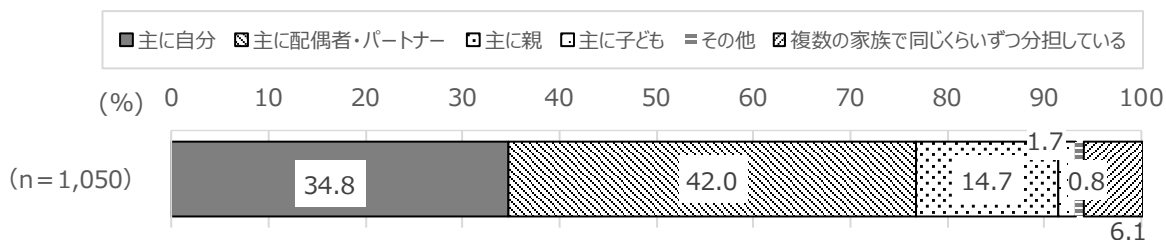
年齢別にみると、20歳代以下では「主に親」、30歳代以上では「主に配偶者・パートナー」の割合が最も高く、それぞれ4割を超えている。

婚姻状況別にみると、既婚者では「主に配偶者・パートナー」、その他の人(離別・死別・未婚)では「主に自分」の割合が最も高くなっている。

家族構成別にみると、一人暮らしでは「主に自分」、夫婦のみ世帯と二世帯世帯(子と同居)では「主に配偶者・パートナー」、二世帯世帯(親と同居)とその他の世帯では「主に親」の割合が最も高くなっている。

職業別にみると、「主に自分」の割合は、正規の職員・従業員(54.0%)、自営業主(43.8%)で4割を超えているが、非正規の職員・従業員(39.4%)でも4割を占めている。

図表 - 1 1 【Q1】主たる家計の担い手



図表 - 1 2 属性別 【Q1】主たる家計の担い手

		調査数 (n)	主に自分	主に配偶者・パートナー	主に親	主に子ども	その他	複数の家族で同じくらいずつ分担している
全体		1,050	34.8	42.0	14.7	1.7	0.8	6.1
年齢	20歳代以下	135	29.6	17.8	46.7	0.0	0.7	5.2
	30歳代	215	34.4	42.3	17.7	0.0	0.9	4.7
	40歳代	171	28.7	45.6	15.2	0.6	0.6	9.4
	50歳代	179	34.6	45.3	11.7	1.7	2.2	4.5
	60歳代	269	40.1	47.2	1.9	3.7	0.0	7.1
	70歳代以上	81	39.5	49.4	1.2	4.9	0.0	4.9
婚姻状況	既婚(事実婚含む)	512	10.5	82.8	1.4	0.4	0.2	4.7
	離別	131	77.9	4.6	5.3	7.6	0.8	3.8
	死別	40	70.0	2.5	2.5	12.5	0.0	12.5
	未婚	367	49.3	2.7	37.9	0.3	1.6	8.2
家族構成	一人暮らし	224	96.4	1.3	1.3	0.0	0.0	0.9
	夫婦のみ	266	10.9	82.3	0.4	0.0	0.0	6.4
	二世帯世帯(親と同居)	129	24.0	3.1	59.7	0.0	0.8	12.4
	二世帯世帯(子と同居)	283	23.0	65.7	0.4	4.6	0.4	6.0
	その他の世帯	148	16.2	19.6	48.6	3.4	4.1	8.1
職業	正規の職員・従業員	200	54.0	24.0	15.0	0.0	0.0	7.0
	非正規の職員・従業員	335	39.4	37.3	14.0	1.2	1.2	6.9
	会社経営者・役員	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	自営業主	48	43.8	31.3	14.6	2.1	0.0	8.3
	家族従業者・内職	23	21.7	60.9	17.4	0.0	0.0	0.0
	学生	19	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	無職・家事専業(求職中)	98	20.4	57.1	16.3	1.0	1.0	4.1
	無職・家事専業(求職無)	311	23.5	57.6	8.7	3.5	0.6	6.1
	その他	13	38.5	23.1	30.8	0.0	7.7	0.0

2) 年収

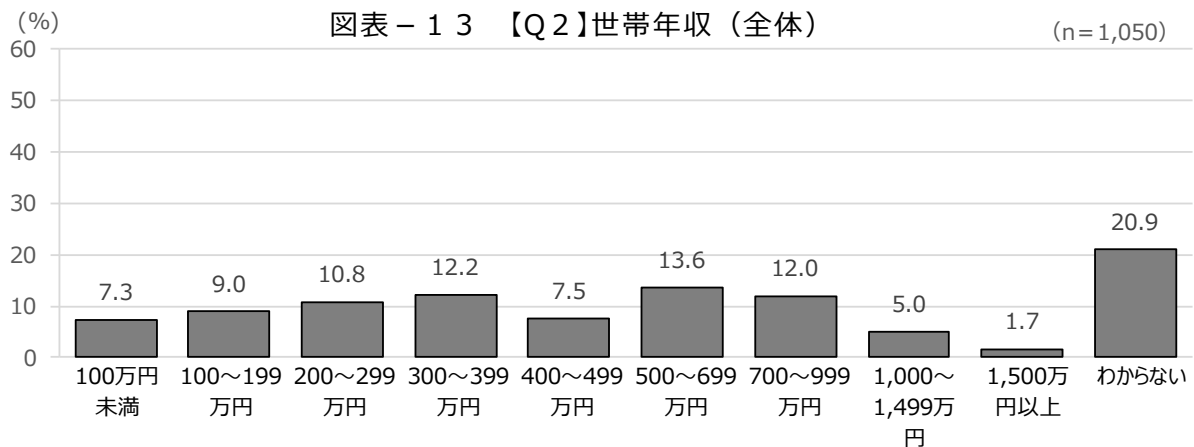
※年収は、就労による収入だけでなく、年金や給付金、家賃収入、仕送り等も含むすべての収入

①世帯年収

世帯年収（一人暮らしの場合は個人年収を世帯年収として換算）では、「わからない」（20.9%）以外では、「500～699万円」（13.6%）、「300～399万円」（12.2%）、「700～999万円」（12.0%）の順で割合が高くなっている。

婚姻状況別にみると、既婚者では「500～699万円」・「700～999万円」の割合がそれぞれ2割ずつと高いが、離別者・死別者では「100～199万円」・「200～299万円」の割合がそれぞれ2割前後と高くなっている。

家族構成別にみると、一人暮らしでは他の世帯に比べて300万円台未満の層の割合が高く、「100万円未満」（17.4%）・「100～199万円」・「200～299万円」の割合がそれぞれ2割前後を占め、300万円台未満で全体の6割（60.7%）を占めている。



図表 - 14 属性別【Q2】世帯年収（全体）

		調査数 (n)	100万円未満	100～199万円	200～299万円	300～399万円	400～499万円	500～699万円	700～999万円	1,000～1,499万円	1,500万円以上	わからない
全体		1,050	7.3	9.0	10.8	12.2	7.5	13.6	12.0	5.0	1.7	20.9
年齢	20歳代以下	135	5.9	8.9	16.3	12.6	4.4	11.1	11.1	5.9	2.2	21.5
	30歳代	215	4.2	7.9	5.1	12.1	10.7	15.3	19.5	6.5	0.5	18.1
	40歳代	171	9.9	2.9	9.4	15.2	5.3	18.7	15.8	4.1	1.8	17.0
	50歳代	179	8.9	12.8	8.9	8.4	6.1	11.2	10.6	6.1	2.8	24.0
	60歳代	269	7.8	10.4	14.9	10.0	6.7	13.4	7.4	4.1	1.9	23.4
	70歳代以上	81	7.4	12.3	9.9	21.0	14.8	8.6	3.7	1.2	1.2	19.8
婚姻状況	既婚（事実婚含む）	512	3.1	3.3	5.7	10.5	8.8	19.9	19.7	7.2	2.3	19.3
	離別	131	11.5	23.7	19.1	9.2	8.4	6.9	1.5	2.3	0.8	16.8
	死別	40	10.0	20.0	17.5	12.5	2.5	5.0	5.0	0.0	0.0	27.5
家族構成	未婚	367	11.4	10.6	14.2	15.5	6.0	8.2	5.7	3.3	1.4	23.7
	一人暮らし	224	17.4	22.8	20.5	14.7	6.3	6.3	1.8	0.9	0.4	8.9
	夫婦のみ	266	3.0	4.5	7.9	12.8	9.4	18.8	15.4	6.8	0.8	20.7
	二世帯世帯（親と同居）	129	10.9	9.3	15.5	11.6	4.7	7.8	6.2	3.1	0.8	30.2
	二世帯世帯（子と同居）	283	2.8	3.9	5.7	10.6	10.2	18.7	21.2	6.0	2.5	18.4
子育て世帯	その他の世帯	148	5.4	6.1	6.8	10.8	3.4	10.8	8.8	7.4	4.7	35.8
	子育て世帯（全体）	158	3.2	4.4	2.5	12.0	9.5	22.2	25.9	6.3	1.9	12.0
職業	うち、母子世帯	24	12.5	12.5	8.3	20.8	8.3	4.2	4.2	0.0	0.0	29.2
	正規の職員・従業員	200	2.0	4.0	8.0	15.5	7.0	16.5	19.5	8.0	1.5	18.0
	非正規の職員・従業員	335	4.2	13.1	15.8	11.6	8.4	14.0	9.9	4.8	1.8	16.4
	会社経営者・役員	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
	自営業主	48	10.4	6.3	10.4	16.7	14.6	12.5	6.3	4.2	4.2	14.6
	家族従業者・内職	23	4.3	13.0	4.3	17.4	8.7	13.0	26.1	0.0	4.3	8.7
	学生	19	10.5	0.0	10.5	5.3	0.0	5.3	5.3	21.1	5.3	36.8
	無職・家事専業（求職中）	98	12.2	10.2	9.2	13.3	5.1	15.3	11.2	0.0	0.0	23.5
	無職・家事専業（求職無）	311	11.6	8.4	8.4	10.0	7.1	11.9	10.3	4.5	1.6	26.4
	その他	13	15.4	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	46.2

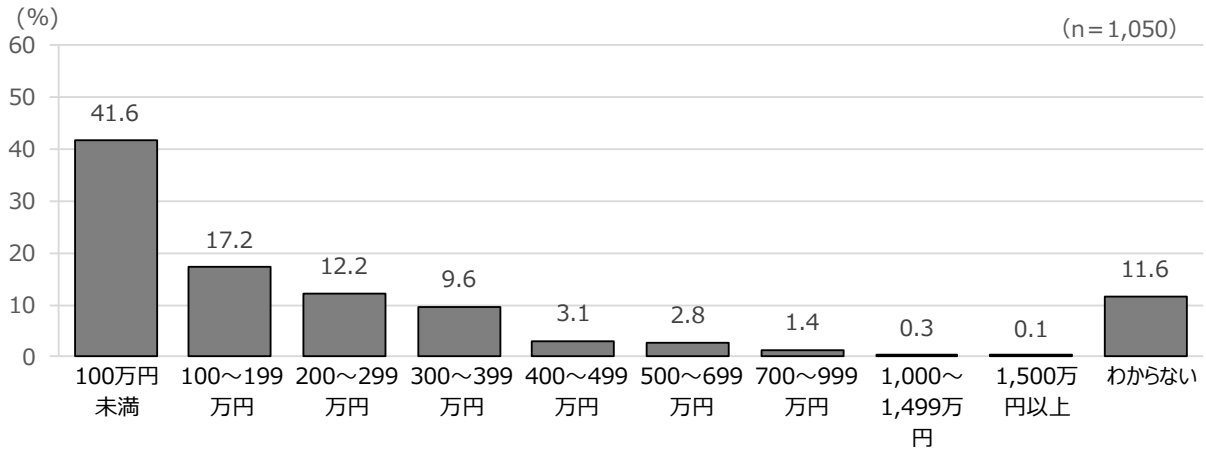
②個人年収

個人年収では、「100万円未満」（41.6％）の割合が4割強と最も高く、次いで「100～199万円」（17.2％）、「200～299万円」（12.2％）、「300～399万円」（9.6％）となっている。

年齢別にみても、全ての年代で「100万円未満」の割合が最も高く、それぞれ3～4割を占めている。

職業別にみると、正規の職員・従業員では「300～399万円」（32.0％）の割合が3割強と最も高いが、非正規の職員・従業員では「100～199万円」（31.0％）や「100万円未満」（29.6％）が3割と高くなっている。

図表－15 【Q2②】個人年収



図表－16 属性別【Q2②】個人年収

		調査数 (n)	100万円未満	100～199万円	200～299万円	300～399万円	400～499万円	500～699万円	700～999万円	1,000～1,499万円	1,500万円以上	わからない
全体		1,050	41.6	17.2	12.2	9.6	3.1	2.8	1.4	0.3	0.1	11.6
年齢	20歳代以下	135	33.3	11.9	24.4	13.3	5.9	0.7	0.7	0.7	0.0	8.9
	30歳代	215	33.0	14.4	8.8	17.7	4.2	7.0	2.3	0.0	0.0	12.6
	40歳代	171	49.7	11.1	11.7	7.6	2.3	4.1	1.8	0.6	0.0	11.1
	50歳代	179	44.1	20.1	7.8	7.8	3.4	1.7	2.2	0.0	0.0	12.8
	60歳代	269	44.2	21.6	13.0	5.2	1.5	0.7	0.7	0.4	0.4	12.3
	70歳代以上	81	46.9	25.9	8.6	4.9	2.5	1.2	0.0	0.0	0.0	9.9
婚姻状況	既婚（事実婚含む）	512	54.5	15.4	5.9	8.4	1.8	1.6	1.6	0.0	0.0	10.9
	離別	131	23.7	32.1	19.8	6.9	3.8	2.3	1.5	0.8	0.0	9.2
	死別	40	25.0	27.5	22.5	5.0	2.5	0.0	2.5	0.0	0.0	15.0
	未婚	367	31.9	13.4	17.2	12.8	4.9	4.9	1.1	0.5	0.3	13.1
家族構成	一人暮らし	224	17.4	22.8	20.5	14.7	6.3	6.3	1.8	0.9	0.4	8.9
	夫婦のみ	266	51.9	15.4	7.9	6.4	2.6	1.9	2.3	0.0	0.0	11.7
	二世世代世帯（親と同居）	129	43.4	11.6	17.1	6.2	3.1	2.3	0.8	0.8	0.0	14.7
	二世世代世帯（子と同居）	283	48.1	16.6	9.5	10.6	1.8	1.4	1.1	0.0	0.0	11.0
	その他の世帯	148	45.9	18.2	8.1	8.8	2.0	2.0	0.7	0.0	0.0	14.2
子育て世帯	子育て世帯（全体）	158	47.5	15.2	7.0	15.8	1.9	1.9	1.9	0.0	0.0	8.9
	うち、母子世帯	24	12.5	25.0	8.3	20.8	8.3	4.2	4.2	0.0	0.0	16.7
職業	正規の職員・従業員	200	3.5	7.0	17.5	32.0	10.5	11.5	5.0	0.5	0.0	12.5
	非正規の職員・従業員	335	29.6	31.0	20.3	6.9	2.1	1.2	0.3	0.0	0.3	8.4
	会社経営者・役員	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	自営業主	48	31.3	16.7	14.6	14.6	6.3	2.1	2.1	2.1	0.0	10.4
	家族従業者・内職	23	87.0	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3
	学生	19	78.9	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	5.3
	無職・家事専業（求職中）	98	68.4	10.2	5.1	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.3
	無職・家事専業（求職無）	311	65.6	12.9	4.2	1.6	0.6	0.3	0.6	0.0	0.0	14.1
	その他	13	61.5	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1

4. 生活意識・生活状況について

1) 経済困窮感

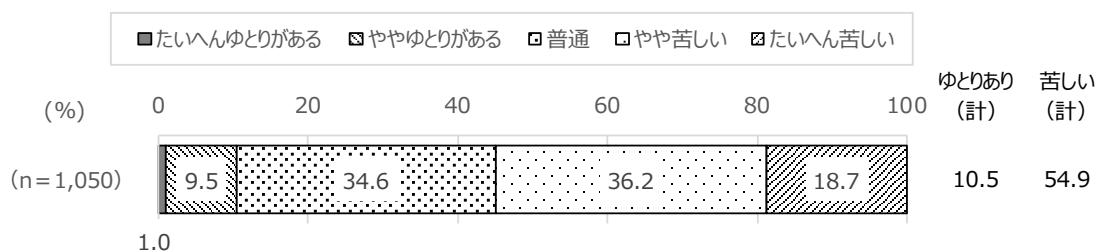
現在の経済的な暮らし向きでは「やや苦しい」(36.2%)の割合が最も高く、次いで「普通」(34.6%)となっている。また、『ゆとりあり』(たいへんゆとりがある+ややゆとりがある)10.5%に対して、『苦しい』(やや苦しい+たいへん苦しい)が54.9%と過半数を占めている。

『苦しい』の割合は、年齢別では30～50歳代で、家族構成別では一人暮らしや二世帯世帯(親と同居)で6割以上と高い。

世帯年収別にみると、世帯年収が低いほど『苦しい』の割合が高く、年収100万円未満、100～199万円では8割を占めている。

困難状況(抱える困難の数)別にみると、抱える困難の種類が多いほど『苦しい』の割合が高く、4種類以上では6割を超えている。

図表-17 【Q3】経済困窮感 [現在の経済的な暮らし向き]



図表-18 属性別 【Q3】経済困窮感 [現在の経済的な暮らし向き]

属性	調査数 (n)	たいへんゆとりがある	ややゆとりがある	普通	やや苦しい	たいへん苦しい	ゆとりがある (計)	苦しい (計)	
全体	1,050	1.0	9.5	34.6	36.2	18.7	10.5	54.9	
年齢	20歳代以下	135	0.0	12.6	32.6	36.3	18.5	12.6	54.8
	30歳代	215	0.5	7.4	32.1	40.9	19.1	7.9	60.0
	40歳代	171	1.2	8.8	27.5	37.4	25.1	10.0	62.5
	50歳代	179	0.0	7.8	29.6	40.8	21.8	7.8	62.6
	60歳代	269	2.2	10.4	40.9	31.2	15.2	12.6	46.4
	70歳代以上	81	2.5	12.3	49.4	27.2	8.6	14.8	35.8
	婚姻状況	既婚(事実婚含む)	512	1.4	11.3	40.4	33.4	13.5	12.7
離別		131	0.8	3.8	35.9	35.9	23.7	4.6	59.6
死別		40	5.0	12.5	30.0	42.5	10.0	17.5	52.5
未婚		367	0.3	8.7	26.4	39.5	25.1	9.0	64.6
家族構成	一人暮らし	224	0.9	5.4	31.7	38.8	23.2	6.3	62.0
	夫婦のみ	266	1.5	12.0	43.6	31.2	11.7	13.5	42.9
	二世帯世帯(親と同居)	129	0.8	7.8	23.3	49.6	18.6	8.6	68.2
	二世帯世帯(子と同居)	283	1.1	9.2	33.6	36.7	19.4	10.3	56.1
子育て世帯	その他の世帯	148	0.7	13.5	34.5	28.4	23.0	14.2	51.4
	子育て世帯(全体)	158	0.6	9.5	29.7	41.1	19.0	10.1	60.1
	うち、母子世帯	24	0.0	4.2	25.0	37.5	33.3	4.2	70.8
職業	正規の職員・従業員	200	0.5	10.0	39.0	38.0	12.5	10.5	50.5
	非正規の職員・従業員	335	0.0	8.4	28.1	41.2	22.4	8.4	63.6
	会社経営者・役員	3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	66.7
	自営業主	48	0.0	14.6	29.2	37.5	18.8	14.6	56.3
	家族従業者・内職	23	4.3	21.7	26.1	26.1	21.7	26.0	47.8
	学生	19	0.0	26.3	52.6	5.3	15.8	26.3	21.1
	無職・家事専業(求職中)	98	0.0	3.1	30.6	37.8	28.6	3.1	66.4
	無職・家事専業(求職無)	311	2.9	10.3	40.8	30.5	15.4	13.2	45.9
世帯年収(全体)	その他	13	0.0	0.0	23.1	53.8	23.1	0.0	76.9
	100万円未満	77	5.2	3.9	13.0	39.0	39.0	9.1	78.0
	100～199万円	95	0.0	1.1	20.0	49.5	29.5	1.1	79.0
	200～299万円	113	0.0	1.8	31.0	38.1	29.2	1.8	67.3
	300～399万円	128	0.0	7.8	27.3	42.2	22.7	7.8	64.9
	400～499万円	79	1.3	7.6	36.7	41.8	12.7	8.9	54.5
	500～699万円	143	1.4	7.7	44.8	37.1	9.1	9.1	46.2
	700～999万円	126	0.8	16.7	45.2	28.6	8.7	17.5	37.3
	1,000～1,499万円	52	1.9	34.6	42.3	21.2	0.0	36.5	21.2
	1,500万円以上	18	11.1	50.0	27.8	5.6	5.6	61.1	11.2
抱える困難数	わからない	219	0.0	8.7	39.7	32.9	18.7	8.7	51.6
	1種類のみ	164	1.8	13.4	43.9	26.2	14.6	15.2	40.8
	2～3種類	448	0.9	9.6	35.9	38.4	15.2	10.5	53.6
	4種類以上	438	0.9	8.0	29.7	37.7	23.7	8.9	61.4

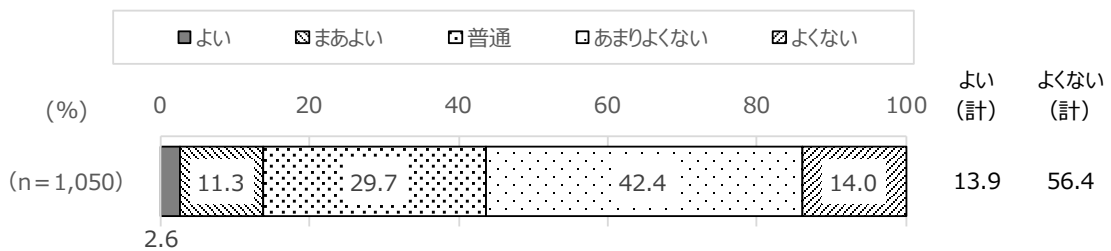
2) 主観的健康感

現在の心身の健康状態では「あまりよくない」（42.4％）の割合が最も高く、次いで「普通」（29.7％）となっている。また、『よい』（よい+まあよい）13.9％に対して、『よくない』（あまりよくない+よくない）が56.4％と過半数を占めている。

『よくない』の割合は、年齢別でみても全ての年代で5割を超えているが、40・50歳代で6割と他の年代に比べてやや高い。家族構成別では二世帯世帯（親と同居）や一人暮らし、その他の世帯で6割前後と高い。世帯年収別に見ると、概ね世帯年収が低いほど『よくない』の割合が高く、年収100万円未満では6割を超えている。

困難状況（抱える困難の数）別に見ると、抱える困難が4種類以上の層では『よくない』の割合が6割を超えている。

図表－19 【Q4】主観的健康感 [現在の心身の健康状態]



図表－20 属性別 【Q4】主観的健康感 [現在の心身の健康状態]

		調査数 (n)	よい	まあよい	普通	あまりよくない	よくない	よい (計)	よくない (計)
全体		1,050	2.6	11.3	29.7	42.4	14.0	13.9	56.4
年齢	20歳代以下	135	5.2	14.1	30.4	35.6	14.8	19.3	50.4
	30歳代	215	1.9	16.7	25.1	39.1	17.2	18.6	56.3
	40歳代	171	1.2	6.4	32.7	40.9	18.7	7.6	59.6
	50歳代	179	1.1	3.9	36.3	41.3	17.3	5.0	58.6
	60歳代	269	3.3	11.2	28.3	49.1	8.2	14.5	57.3
	70歳代以上	81	3.7	19.8	24.7	45.7	6.2	23.5	51.9
婚姻状況	既婚 (事実婚含む)	512	3.1	10.7	34.4	42.4	9.4	13.8	51.8
	離別	131	0.8	14.5	28.2	40.5	16.0	15.3	56.5
	死別	40	5.0	10.0	20.0	55.0	10.0	15.0	65.0
	未婚	367	2.2	11.2	24.8	41.7	20.2	13.4	61.9
家族構成	一人暮らし	224	1.3	11.2	28.6	44.2	14.7	12.5	58.9
	夫婦のみ	266	3.0	13.9	30.5	42.1	10.5	16.9	52.6
	二世帯世帯 (親と同居)	129	3.1	7.8	27.1	42.6	19.4	10.9	62.0
	二世帯世帯 (子と同居)	283	2.5	9.5	34.3	40.3	13.4	12.0	53.7
	その他の世帯	148	3.4	13.5	23.6	43.9	15.5	16.9	59.4
子育て世帯	子育て世帯 (全体)	158	3.2	10.8	36.7	35.4	13.9	14.0	49.3
	うち、母子世帯	24	4.2	16.7	37.5	16.7	25.0	20.9	41.7
職業	正規の職員・従業員	200	0.5	13.0	35.0	37.5	14.0	13.5	51.5
	非正規の職員・従業員	335	3.0	11.9	29.9	44.2	11.0	14.9	55.2
	会社経営者・役員	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
	自営業主	48	4.2	10.4	35.4	39.6	10.4	14.6	50.0
	家族従業者・内職	23	4.3	17.4	30.4	26.1	21.7	21.7	47.8
	学生	19	10.5	31.6	21.1	36.8	0.0	42.1	36.8
	無職・家事専業 (求職中)	98	2.0	11.2	32.7	40.8	13.3	13.2	54.1
	無職・家事専業 (求職無)	311	2.6	8.4	25.1	45.7	18.3	11.0	64.0
	その他	13	7.7	0.0	15.4	61.5	15.4	7.7	76.9
世帯年収 (全体)	100万円未満	77	2.6	5.2	28.6	39.0	24.7	7.8	63.7
	100～199万円	95	2.1	11.6	28.4	37.9	20.0	13.7	57.9
	200～299万円	113	5.3	9.7	28.3	46.9	9.7	15.0	56.6
	300～399万円	128	3.1	12.5	32.0	33.6	18.8	15.6	52.4
	400～499万円	79	2.5	12.7	30.4	43.0	11.4	15.2	54.4
	500～699万円	143	3.5	8.4	32.9	46.9	8.4	11.9	55.3
	700～999万円	126	1.6	15.1	32.5	41.3	9.5	16.7	50.8
	1,000～1,499万円	52	3.8	21.2	28.8	40.4	5.8	25.0	46.2
	1,500万円以上	18	5.6	11.1	27.8	44.4	11.1	16.7	55.5
	わからない	219	0.5	10.5	26.5	46.1	16.4	11.0	62.5
抱える困難数	1種類のみ	164	6.7	12.2	30.5	40.9	9.8	18.9	50.7
	2～3種類	448	2.2	11.2	35.3	43.1	8.3	13.4	51.4
	4種類以上	438	1.4	11.2	23.7	42.2	21.5	12.6	63.7

3) ストレスや生きづらさ

① ストレス

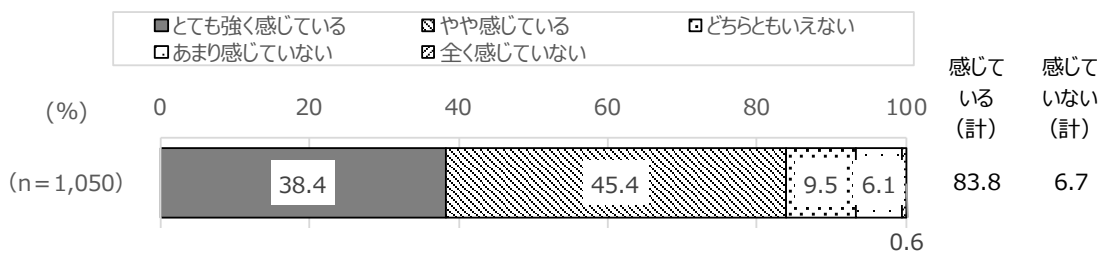
ストレスについては「やや感じている」(45.4%)の割合が最も高く、次いで「とても強く感じている」(38.4%)となっており、これらを合わせると『感じている』(83.8%)が8割を超えている。

「とても強く感じている」の割合に着目すると、年齢別では30・40歳代で5割弱と他の年代に比べて高い。

家族構成別では二世帯世帯(親と同居)やその他の世帯で4割強と高い。

困難状況(抱える困難の数)別にみると、抱える困難の種類が多いほど「とても強く感じている」の割合が高く、抱える困難が4種類以上の層では5割弱を占めている。

図表-21 【Q5①】ストレス [現在、ストレスを感じているか]



図表-22 属性別 【Q5①】ストレス [現在、ストレスを感じているか]

		調査数 (n)	とても強く感じている	やや感じている	どちらともいえない	あまり感じていない	全く感じていない	感じている (計)	感じていない (計)
全体		1,050	38.4	45.4	9.5	6.1	0.6	83.8	6.7
年齢	20歳代以下	135	40.0	45.2	8.1	5.9	0.7	85.2	6.6
	30歳代	215	47.4	40.0	8.8	3.7	0.0	87.4	3.7
	40歳代	171	46.2	41.5	7.6	3.5	1.2	87.7	4.7
	50歳代	179	41.9	43.6	9.5	5.0	0.0	85.5	5.0
	60歳代	269	29.4	52.8	9.3	7.4	1.1	82.2	8.5
	70歳代以上	81	17.3	48.1	18.5	16.0	0.0	65.4	16.0
婚姻状況	既婚(事実婚含む)	512	34.4	47.7	11.3	5.9	0.8	82.1	6.7
	離婚	131	35.1	45.8	9.2	9.2	0.8	80.9	10.0
	死別	40	27.5	45.0	17.5	10.0	0.0	72.5	10.0
	未婚	367	46.3	42.2	6.3	4.9	0.3	88.5	5.2
家族構成	一人暮らし	224	36.2	47.3	10.7	4.9	0.9	83.5	5.8
	夫婦のみ	266	33.5	45.5	11.7	9.0	0.4	79.0	9.4
	二世帯世帯(親と同居)	129	45.0	43.4	5.4	6.2	0.0	88.4	6.2
	二世帯世帯(子と同居)	283	39.6	44.9	9.2	5.3	1.1	84.5	6.4
	その他の世帯	148	42.6	45.3	8.1	4.1	0.0	87.9	4.1
子育て世帯	子育て世帯(全体)	158	44.9	40.5	10.1	3.2	1.3	85.4	4.5
	うち、母子世帯	24	41.7	41.7	8.3	8.3	0.0	83.4	8.3
職業	正規の職員・従業員	200	42.5	47.5	6.0	4.0	0.0	90.0	4.0
	非正規の職員・従業員	335	38.2	46.6	9.3	6.0	0.0	84.8	6.0
	会社経営者・役員	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
	自営業主	48	43.8	37.5	14.6	2.1	2.1	81.3	4.2
	家族従業者・内職	23	39.1	34.8	13.0	13.0	0.0	73.9	13.0
	学生	19	36.8	47.4	10.5	5.3	0.0	84.2	5.3
	無職・家事専業(求職中)	98	38.8	41.8	14.3	3.1	2.0	80.6	5.1
	無職・家事専業(求職無)	311	35.4	46.0	9.0	8.7	1.0	81.4	9.7
	その他	13	38.5	46.2	7.7	7.7	0.0	84.7	7.7
世帯年収(全体)	100万円未満	77	45.5	36.4	10.4	7.8	0.0	81.9	7.8
	100~199万円	95	34.7	43.2	13.7	7.4	1.1	77.9	8.5
	200~299万円	113	34.5	47.8	9.7	8.0	0.0	82.3	8.0
	300~399万円	128	42.2	43.0	6.3	7.0	1.6	85.2	8.6
	400~499万円	79	36.7	48.1	10.1	2.5	2.5	84.8	5.0
	500~699万円	143	35.0	50.3	10.5	3.5	0.7	85.3	4.2
	700~999万円	126	38.1	42.9	11.1	7.9	0.0	81.0	7.9
	1,000~1,499万円	52	30.8	59.6	3.8	5.8	0.0	90.4	5.8
	1,500万円以上	18	33.3	61.1	5.6	0.0	0.0	94.4	0.0
	わからない	219	42.5	42.5	9.1	5.9	0.0	85.0	5.9
抱える困難数	1種類のみ	164	27.4	45.1	15.2	11.0	1.2	72.5	12.2
	2~3種類	448	33.9	49.3	9.8	6.5	0.4	83.2	6.9
	4種類以上	438	47.0	41.6	7.1	3.9	0.5	88.6	4.4

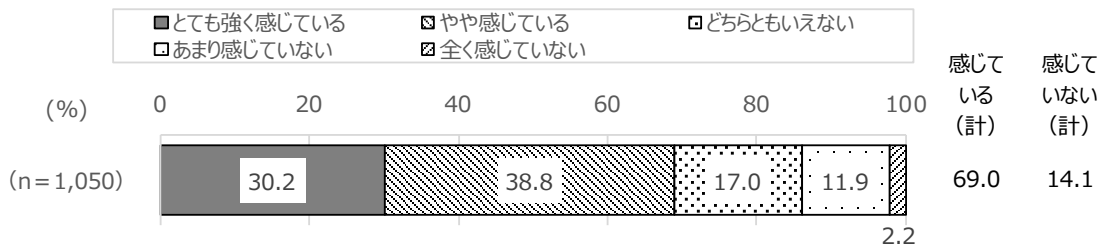
②生きづらさ

生きづらさについては「やや感じている」(38.8%)の割合が最も高く、次いで「とても強く感じている」(30.2%)となっており、これらを合わせると『感じている』(69.0%)が7割を占めている。

「とても強く感じている」の割合に着目すると、年齢別では40歳代で、婚姻状況別では未婚で、家族構成別では二世帯世帯(親と同居)で4割程度と他に比べて高くなっている。

世帯年収別では年収200万円台以下の層で顕著に高まり、特に100万円未満では5割弱と高い。また、困難状況(抱える困難の数)別にみると、抱える困難の種類が多いほど割合が顕著に高く、抱える困難が4種類以上の層では4割を超えている。

図表-23 【Q5②】生きづらさ [現在、生きづらさを感じているか]



図表-24 属性別 【Q5②】生きづらさ [現在、生きづらさを感じているか]

		調査数 (n)	とても強く感じている	やや感じている	どちらともいえない	あまり感じていない	全く感じていない	感じていない (計)
全体		1,050	30.2	38.8	17.0	11.9	2.2	69.0
年齢	20歳代以下	135	35.6	40.7	8.9	14.1	0.7	76.3
	30歳代	215	37.7	39.1	13.5	9.3	0.5	76.8
	40歳代	171	40.9	33.9	14.6	8.2	2.3	74.8
	50歳代	179	33.0	37.4	20.7	8.4	0.6	70.4
	60歳代	269	19.3	40.5	21.6	14.5	4.1	59.8
	70歳代以上	81	8.6	42.0	21.0	22.2	6.2	50.6
	婚姻状況	既婚(事実婚含む)	512	23.0	38.5	21.7	13.9	2.9
離別		131	34.4	31.3	18.3	13.0	3.1	65.7
死別		40	22.5	50.0	17.5	10.0	0.0	72.5
未婚		367	39.5	40.6	9.8	9.0	1.1	80.1
家族構成	一人暮らし	224	32.1	44.2	13.4	8.0	2.2	76.3
	夫婦のみ	266	25.2	36.5	19.5	15.8	3.0	61.7
	二世帯世帯(親と同居)	129	38.0	41.9	9.3	10.9	0.0	79.9
	二世帯世帯(子と同居)	283	27.6	35.7	21.9	12.7	2.1	63.3
	その他の世帯	148	34.5	37.8	14.9	10.1	2.7	72.3
子育て世帯	子育て世帯(全体)	158	31.0	34.8	19.0	13.3	1.9	65.8
	うち、母子世帯	24	45.8	8.3	20.8	25.0	0.0	54.1
職業	正規の職員・従業員	200	36.0	35.5	15.5	12.0	1.0	71.5
	非正規の職員・従業員	335	27.5	43.0	16.7	11.3	1.5	70.5
	会社経営者・役員	3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	66.6
	自営業主	48	20.8	33.3	27.1	12.5	6.3	54.1
	家族従業者・内職	23	39.1	30.4	13.0	13.0	4.3	69.5
	学生	19	21.1	47.4	5.3	26.3	0.0	68.5
	無職・家事専業(求職中)	98	34.7	45.9	12.2	4.1	3.1	80.6
	無職・家事専業(求職無)	311	28.6	35.7	19.0	14.1	2.6	64.3
	その他	13	46.2	23.1	23.1	7.7	0.0	69.3
世帯年収(全体)	100万円未満	77	48.1	33.8	9.1	9.1	0.0	81.9
	100~199万円	95	37.9	42.1	10.5	8.4	1.1	80.0
	200~299万円	113	28.3	40.7	17.7	10.6	2.7	69.0
	300~399万円	128	27.3	41.4	14.8	13.3	3.1	68.7
	400~499万円	79	26.6	41.8	19.0	8.9	3.8	68.4
	500~699万円	143	26.6	39.2	21.0	10.5	2.8	65.8
	700~999万円	126	26.2	37.3	17.5	15.1	4.0	63.5
	1,000~1,499万円	52	17.3	40.4	15.4	26.9	0.0	57.7
	1,500万円以上	18	16.7	33.3	38.9	11.1	0.0	50.0
	わからない	219	33.3	36.1	18.3	11.0	1.4	69.4
抱える困難数	1種類のみ	164	15.9	36.6	26.8	15.2	5.5	52.5
	2~3種類	448	24.1	40.4	18.3	15.4	1.8	64.5
	4種類以上	438	41.8	37.9	11.9	7.1	1.4	79.7

4) メンタルヘルス

過去1か月間の心の状態に関する6つの質問の回答を下記の基準で得点化した合計値はK6（ケイ・シックス）と呼ばれ、心の状態（メンタルヘルス）を測定する尺度として使用されており、点数が高いほど心の状態が悪い（精神的な不調を感じている度合いが強い）ことを表している。

K6得点の分布をみると「13点以上（重度）」（40.8%）の割合が最も高く、4割を占めている。

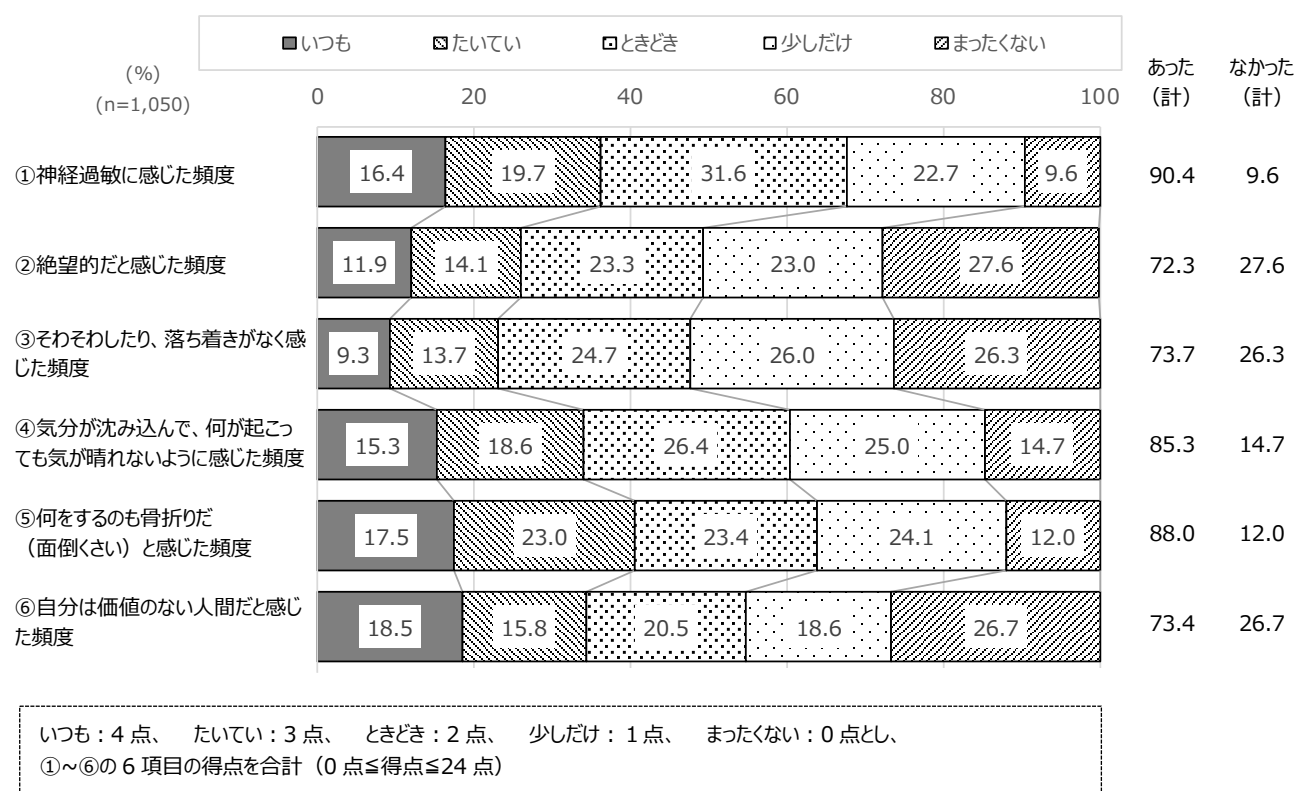
「13点以上（重度）」の割合は、年齢別では年齢が若いほど高く、30歳代以下では5割を超えている。

婚姻状況別では未婚で、家族構成別では二世帯世帯（親と同居）で5割を超えている。

世帯年収別では100万円未満で6割弱と顕著に高い。

困難状況（抱える困難の数）別にみると、抱える困難の種類が多いほど割合が高まり、抱える困難が4種類以上の層では5割を超えている。

図表－25 【Q6①～⑥】メンタルヘルスの状態評価[過去1か月間の心の状態]



得点化

図表－26 【Q6】メンタルヘルスの状態評価[K6得点の分布]



図表－２７ 属性別【Ｑ６】メンタルヘルスの状態評価[得点]

(%)

		調査数 (n)	0～4点	5～8点 (軽度)	9～12 点(中程 度)	13点以 上(重 度)	平均 (点)
全 体		1,050	20.2	19.3	19.7	40.8	11.10
年 齢	20歳代以下	135	7.4	14.1	19.3	59.3	14.38
	30歳代	215	9.3	15.8	21.4	53.5	13.35
	40歳代	171	16.4	14.0	22.2	47.4	12.09
	50歳代	179	25.7	19.0	14.5	40.8	10.45
	60歳代	269	28.3	25.3	21.2	25.3	8.71
	70歳代以上	81	39.5	29.6	17.3	13.6	6.89
婚 姻 状 況	既婚(事実婚含む)	512	25.0	21.9	19.5	33.6	9.80
	離別	131	23.7	22.1	15.3	38.9	10.26
	死別	40	22.5	25.0	37.5	15.0	8.80
	未婚	367	12.0	14.2	19.6	54.2	13.45
家 族 構 成	一人暮らし	224	13.4	23.7	19.2	43.8	11.80
	夫婦のみ	266	25.9	21.4	18.4	34.2	9.94
	二世帯世帯(親と同居)	129	16.3	9.3	18.6	55.8	13.35
	二世帯世帯(子と同居)	283	24.7	18.7	21.2	35.3	10.07
	その他の世帯	148	14.9	18.9	20.9	45.3	12.10
子 育 て 世 帯	子育て世帯(全体)	158	19.6	13.9	22.8	43.7	11.27
	うち、母子世帯	24	29.2	4.2	20.8	45.8	11.13
職 業	正規の職員・従業員	200	13.0	14.5	21.5	51.0	12.74
	非正規の職員・従業員	335	21.8	19.4	19.4	39.4	10.79
	会社経営者・役員	3	33.3	0.0	33.3	33.3	9.67
	自営業主	48	20.8	20.8	16.7	41.7	10.42
	家族従業者・内職	23	21.7	4.3	21.7	52.2	12.70
	学生	19	5.3	15.8	36.8	42.1	13.32
	無職・家事専業(求職中)	98	16.3	19.4	21.4	42.9	11.58
	無職・家事専業(求職無)	311	25.1	23.5	18.0	33.4	9.97
	その他	13	15.4	23.1	7.7	53.8	13.54
世 帯 年 収 (全 体)	100万円未満	77	10.4	18.2	14.3	57.1	13.55
	100～199万円	95	17.9	22.1	14.7	45.3	11.92
	200～299万円	113	22.1	23.0	15.0	39.8	10.56
	300～399万円	128	15.6	21.9	21.1	41.4	11.51
	400～499万円	79	27.8	16.5	21.5	34.2	9.78
	500～699万円	143	17.5	18.2	24.5	39.9	10.72
	700～999万円	126	27.0	15.9	27.0	30.2	10.03
	1,000～1,499万円	52	34.6	15.4	15.4	34.6	9.96
	1,500万円以上	18	27.8	27.8	16.7	27.8	8.44
	わからない	219	17.4	19.2	18.7	44.7	11.74
抱える 困難数	1種類のみ	164	29.3	22.6	21.3	26.8	8.99
	2～3種類	448	23.2	22.8	21.2	32.8	9.95
	4種類以上	438	13.7	14.6	17.6	54.1	13.06

5) 孤独・孤立感

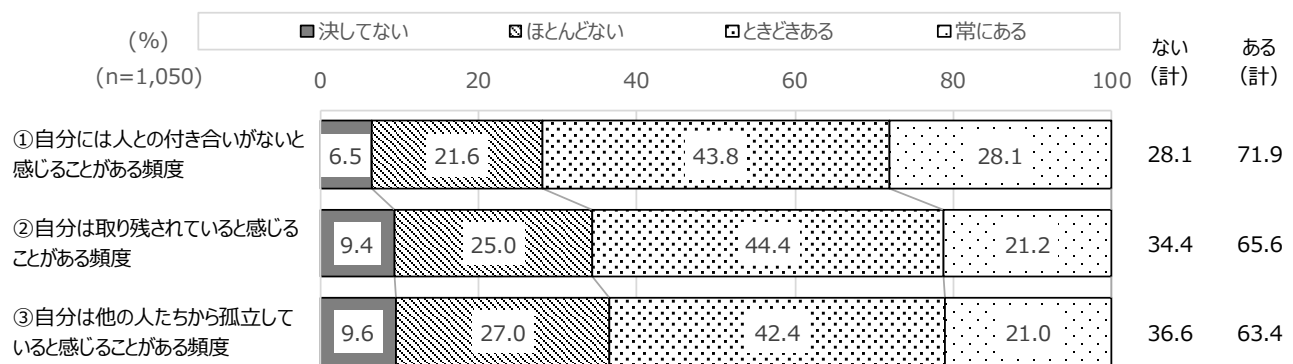
以下の3つの質問（UCLA 孤独感尺度の3項目版）の回答を下記の基準で得点化したスコアで社会的な孤独・孤立感を判定した。点数が高いほど孤独・孤立感が強いことを表している。

得点の分布を見ると「7～9点」（47.5%）の割合が最も高く、次いで「10～12点」（30.4%）となっている。

最も孤独・孤立感が強い「10～12点」の割合に着目すると、年齢別では40・50歳代で、婚姻状況別では未婚で、家族構成別では二世帯世帯（親と同居）で、世帯年収別では100万円未満で4割前後と高くなっている。

困難状況（抱える困難の数）別にみると、抱える困難の種類が多いほど割合が高まり、抱える困難が4種類以上の層では4割を占めている。

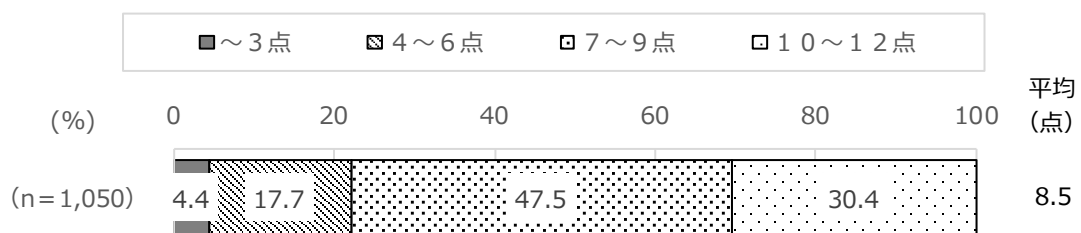
図表－28 【Q7①～③】社会的孤独・孤立感の状態評価[孤独・孤立感を感じる頻度]



決してない：1点、ほとんどない：2点、ときどきある：3点、常にある：4点とし、
①～③の3項目の得点を合計（3点≦得点≦12点）

得点化

図表－29 【Q7】社会的孤独・孤立感の状態評価[得点の分布]



図表－３０ 属性別【Ｑ７】社会的孤独・孤立感の状態評価[得点の分布]

		(%)					
		調査数 (n)	～3点	4～6点	7～9点	10～12点	平均 (点)
全 体		1,050	4.4	17.7	47.5	30.4	8.46
年 齢	20歳代以下	135	6.7	7.4	56.3	29.6	8.59
	30歳代	215	2.3	12.6	47.9	37.2	8.94
	40歳代	171	3.5	11.1	43.9	41.5	9.08
	50歳代	179	4.5	16.2	40.2	39.1	8.78
	60歳代	269	4.1	27.9	49.8	18.2	7.80
	70歳代以上	81	8.6	32.1	48.1	11.1	7.14
婚 姻 状 況	既婚（事実婚含む）	512	5.1	21.3	48.0	25.6	8.16
	離別	131	4.6	24.4	42.7	28.2	8.13
	死別	40	2.5	22.5	50.0	25.0	8.23
	未婚	367	3.5	9.8	48.2	38.4	9.02
家 族 構 成	一人暮らし	224	2.7	16.1	48.2	33.0	8.72
	夫婦のみ	266	5.3	21.4	47.0	26.3	8.11
	二世世代世帯（親と同居）	129	4.7	10.9	43.4	41.1	9.01
	二世世代世帯（子と同居）	283	5.3	19.4	48.4	26.9	8.24
	その他の世帯	148	3.4	16.2	49.3	31.1	8.64
子育て世帯	子育て世帯（全体）	158	3.8	13.9	51.3	31.0	8.61
	うち、母子世帯	24	8.3	29.2	45.8	16.7	7.42
職 業	正規の職員・従業員	200	6.0	14.5	54.5	25.0	8.33
	非正規の職員・従業員	335	3.9	17.6	47.8	30.7	8.52
	会社経営者・役員	3	0.0	33.3	66.7	0.0	7.67
	自営業主	48	10.4	14.6	45.8	29.2	8.02
	家族従業者・内職	23	13.0	26.1	21.7	39.1	8.09
	学生	19	0.0	15.8	57.9	26.3	8.79
	無職・家事専業（求職中）	98	4.1	12.2	43.9	39.8	8.89
	無職・家事専業（求職無）	311	2.9	21.2	46.6	29.3	8.38
	その他	13	0.0	23.1	15.4	61.5	9.38
世帯年収（全体）	100万円未満	77	7.8	16.9	35.1	40.3	8.61
	100～199万円	95	3.2	15.8	44.2	36.8	8.78
	200～299万円	113	3.5	20.4	53.1	23.0	8.19
	300～399万円	128	7.8	15.6	41.4	35.2	8.48
	400～499万円	79	6.3	22.8	43.0	27.8	7.99
	500～699万円	143	2.1	19.6	49.0	29.4	8.45
	700～999万円	126	4.0	14.3	54.0	27.8	8.48
	1,000～1,499万円	52	5.8	23.1	51.9	19.2	8.02
	1,500万円以上	18	0.0	33.3	55.6	11.1	8.00
	わからない	219	3.2	15.1	49.3	32.4	8.69
抱える困難数	1種類のみ	164	6.7	23.8	50.6	18.9	7.82
	2～3種類	448	2.9	21.2	50.0	25.9	8.32
	4種類以上	438	5.0	11.9	43.8	39.3	8.84

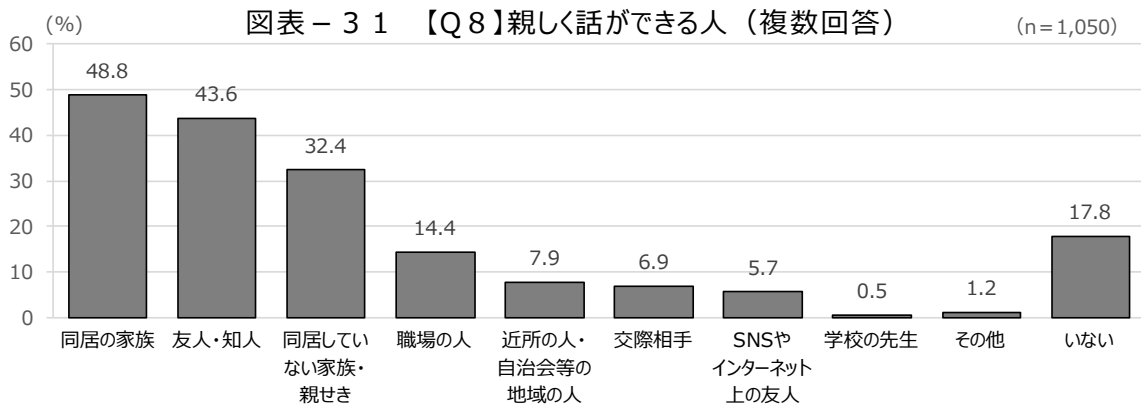
5. 人間関係について

1) 親しく話ができる人

日頃、親しく話ができる人では、「同居の家族」(48.8%)の割合が最も高く、次いで「友人・知人」(43.6%)、「同居していない家族・親せき」(32.4%)となっている。また、「いない」(17.8%)も2割弱を占めている。

年齢別にみると「交際相手」の割合は、年齢が若いほど高く、20歳代以下で2割を超えている。一方、「近所の人、自治会等の地域の人」の割合は、年齢が高いほど高く、70歳代以上で4割弱と突出している。「友人・知人」の割合は20歳代以下と70歳代以上で5割を超えている。

また、「いない」の割合は、年齢別では30~50歳代で、婚姻状況別では未婚で、家族構成別では一人暮らしや二世帯世帯(親と同居)で2割を超えている。



図表 - 3 2 属性別 【Q8】親しく話ができる人 (複数回答)

(%)

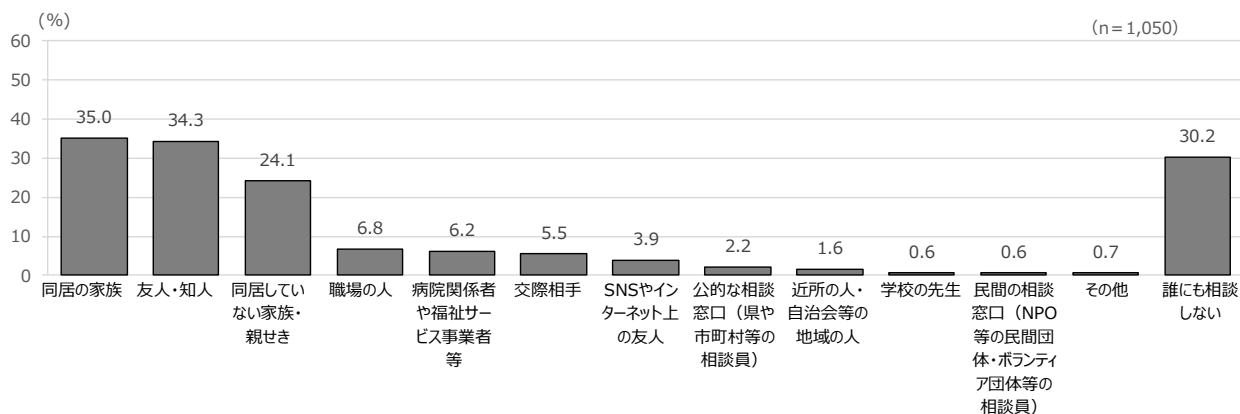
属性	調査数 (n)	同居の家族	友人・知人	同居していない家族・親せき	職場の人	近所の人・自治会等の地域の人	交際相手	SNSやインターネット上の友人	学校の先生	その他	いない	
全体	1,050	48.8	43.6	32.4	14.4	7.9	6.9	5.7	0.5	1.2	17.8	
年齢	20歳代以下	135	43.7	53.3	19.3	14.1	1.5	23.7	8.9	3.0	2.2	13.3
	30歳代	215	45.6	38.1	26.5	14.9	2.8	8.4	7.4	0.0	1.9	23.3
	40歳代	171	52.6	31.0	29.8	16.4	2.9	5.3	6.4	0.0	1.2	23.4
	50歳代	179	48.6	37.4	30.2	16.2	7.8	4.5	6.7	0.6	1.1	21.2
	60歳代	269	51.7	49.8	40.5	13.4	9.3	1.5	1.9	0.0	0.7	12.6
	70歳代以上	81	48.1	61.7	53.1	8.6	38.3	1.2	4.9	0.0	0.0	8.6
婚姻状況	既婚(事実婚含む)	512	62.7	41.6	39.8	10.9	10.2	1.0	4.9	0.2	0.6	13.3
	離別	131	35.1	51.9	35.1	21.4	9.9	13.0	3.1	0.0	0.8	13.7
	死別	40	30.0	55.0	50.0	10.0	17.5	0.0	5.0	0.0	0.0	10.0
家族構成	未婚	367	36.2	42.2	19.1	17.2	3.0	13.6	7.9	1.1	2.5	26.4
	一人暮らし	224	0.0	47.3	37.5	16.5	6.3	10.3	7.6	0.0	0.4	27.7
	夫婦のみ	266	62.4	44.0	42.9	8.3	9.8	5.3	4.1	0.0	0.8	12.8
	二世帯世帯(親と同居)	129	58.1	38.8	15.5	17.1	4.7	11.6	4.7	2.3	4.7	23.3
	二世帯世帯(子と同居)	283	64.7	41.3	35.3	13.8	10.2	1.1	5.3	0.4	0.0	13.4
子育て世帯	その他の世帯	148	59.5	45.9	14.9	20.9	5.4	11.5	7.4	0.7	2.7	15.5
	子育て世帯(全体)	158	54.4	38.6	31.0	13.3	7.0	2.5	7.6	0.6	0.0	14.6
職業	うち、母子世帯	24	50.0	45.8	20.8	20.8	4.2	8.3	4.2	0.0	0.0	20.8
	正規の職員・従業員	200	39.0	41.5	25.0	24.5	2.0	13.5	10.0	0.5	1.5	20.5
	非正規の職員・従業員	335	45.7	43.6	31.3	26.6	5.4	8.7	4.8	0.0	0.3	17.9
	会社経営者・役員	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	自営業主	48	35.4	50.0	35.4	14.6	14.6	6.3	10.4	0.0	2.1	18.8
	家族従業者・内職	23	65.2	17.4	39.1	0.0	8.7	4.3	8.7	0.0	0.0	4.3
	学生	19	57.9	78.9	10.5	10.5	5.3	15.8	10.5	15.8	0.0	5.3
	無職・家事専業(求職中)	98	48.0	38.8	38.8	1.0	4.1	3.1	3.1	1.0	3.1	23.5
	無職・家事専業(求職無)	311	59.8	44.7	36.7	0.3	15.1	1.6	3.9	0.0	1.3	15.4
	その他	13	30.8	53.8	38.5	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	23.1
世帯年収(全体)	100万円未満	77	19.5	28.6	23.4	5.2	6.5	7.8	7.8	0.0	1.3	33.8
	100~199万円	95	26.3	46.3	33.7	17.9	11.6	10.5	3.2	0.0	1.1	20.0
	200~299万円	113	38.1	46.9	31.0	16.8	9.7	9.7	4.4	0.0	1.8	16.8
	300~399万円	128	46.1	46.9	37.5	14.8	7.8	8.6	7.8	0.0	0.8	13.3
	400~499万円	79	50.6	44.3	35.4	21.5	15.2	5.1	8.9	1.3	0.0	12.7
	500~699万円	143	61.5	40.6	37.1	16.1	7.0	6.3	9.1	0.0	0.7	14.0
	700~999万円	126	66.7	47.6	31.0	13.5	7.9	3.2	2.4	0.8	0.0	11.9
	1,000~1,499万円	52	59.6	50.0	42.3	9.6	7.7	3.8	3.8	1.9	1.9	13.5
	1,500万円以上	18	61.1	38.9	22.2	33.3	5.6	11.1	0.0	0.0	5.6	11.1
	わからない	219	53.0	42.5	27.9	11.0	4.1	5.9	5.0	0.9	2.3	23.7
抱える困難数	1種類のみ	164	56.1	46.3	38.4	13.4	7.3	6.1	4.3	0.0	0.0	14.6
	2~3種類	448	53.1	42.9	35.9	13.6	8.9	6.7	3.6	0.7	0.4	16.3
	4種類以上	438	41.6	43.4	26.5	15.5	7.1	7.3	8.4	0.5	2.5	20.5

2) 不安・悩みの相談相手

不安・悩みの相談相手では、「同居の家族」(35.0%)と「友人・知人」(34.3%)の割合がそれぞれ3割強と高く、次いで「同居していない家族・親せき」(24.1%)となっている。また、「誰にも相談しない」(30.2%)も3割を占めている。

「誰にも相談しない」の割合は、年齢別では40・50歳代で、婚姻状況別では死別や未婚で、家族構成別では一人暮らしや二世帯世帯(親と同居)で3割を超えている。

図表-33 【Q9】不安・悩みの相談相手(複数回答)



図表-34 属性別【Q9】不安・悩みの相談相手(複数回答)

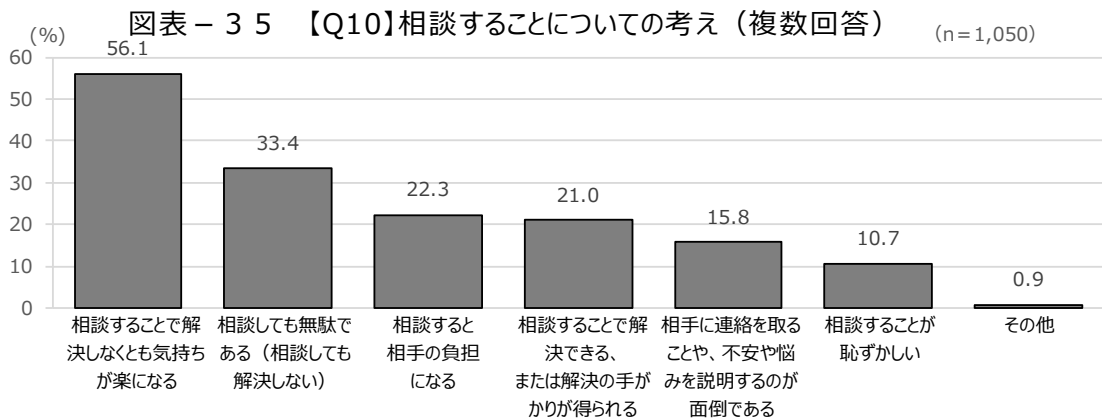
属性	調査数 (n)	同居の家族	友人・知人	同居していない家族・親せき	職場の人	病院関係者や福祉サービス事業者等	交際相手	SNSやインターネット上の友人	公的な相談窓口(県や市町村等の相談員)	近所の人・自治会等の地域の人	学校の先生	民間の相談窓口(NPO等の民間団体・ボランティア団体等の相談員)	その他	誰にも相談しない	
全体	1,050	35.0	34.3	24.1	6.8	6.2	5.5	3.9	2.2	1.6	0.6	0.6	0.7	30.2	
年齢	20歳代以下	135	31.1	43.7	16.3	8.9	3.7	17.0	5.2	1.5	0.0	3.0	1.5	0.0	25.2
	30歳代	215	34.9	32.6	23.7	8.8	7.0	8.4	5.6	1.4	1.9	0.0	0.5	2.3	28.8
	40歳代	171	36.3	24.6	17.5	7.0	6.4	2.9	4.7	1.8	0.0	0.0	0.0	0.6	37.4
	50歳代	179	30.7	30.2	22.3	10.6	8.4	3.9	3.4	1.7	0.0	1.1	0.0	0.0	35.2
	60歳代	269	37.2	36.4	29.7	2.6	5.2	1.5	2.2	1.9	2.6	0.0	0.7	0.4	29.4
	70歳代以上	81	42.0	45.7	37.0	2.5	6.2	1.2	2.5	8.6	7.4	0.0	1.2	0.0	18.5
婚姻状況	既婚(事実婚含む)	512	49.6	33.8	30.7	6.3	6.4	1.0	4.3	2.3	2.0	0.0	0.4	0.6	22.5
	離別	131	22.1	45.0	24.4	6.9	7.6	8.4	3.1	3.8	3.1	0.8	0.0	0.8	29.8
	死別	40	17.5	27.5	30.0	2.5	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
	未婚	367	21.3	31.9	14.2	7.9	6.0	11.4	3.8	1.6	0.8	1.4	1.1	0.8	40.1
家族構成	一人暮らし	224	0.0	32.1	23.7	6.3	4.5	8.0	4.0	1.3	1.8	0.0	0.0	0.9	45.1
	夫婦のみ	266	53.4	32.0	32.7	5.3	6.4	4.1	2.6	1.5	1.5	0.0	0.4	0.4	21.1
	二世帯世帯(親と同居)	129	34.9	31.8	11.6	8.5	11.6	9.3	3.9	1.6	0.8	1.6	1.6	1.6	33.3
	二世帯世帯(子と同居)	283	45.6	36.4	29.0	6.0	4.9	1.1	4.9	3.2	1.8	0.4	0.4	0.4	24.7
	その他の世帯	148	35.1	39.9	10.8	10.1	6.1	9.5	4.1	3.4	2.0	2.0	1.4	0.7	31.8
子育て世帯	子育て世帯(全体)	158	36.7	33.5	25.9	7.0	6.3	2.5	7.0	3.2	1.3	0.0	0.0	0.6	25.9
	うち、母子世帯	24	20.8	29.2	25.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.7
職業	正規の職員・従業員	200	26.0	36.0	20.0	15.0	3.5	11.5	6.5	1.5	0.5	1.0	0.0	1.0	32.0
	非正規の職員・従業員	335	33.4	37.0	22.4	10.1	5.4	6.6	4.5	1.8	0.9	0.0	0.6	0.9	30.4
	会社経営者・役員	3	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自営業主	48	29.2	31.3	25.0	6.3	4.2	4.2	2.1	2.1	2.1	0.0	2.1	0.0	29.2
	家族従業者・内職	23	47.8	21.7	21.7	0.0	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.7
	学生	19	47.4	57.9	10.5	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	15.8	0.0	0.0	26.3
	無職・家事専業(求職中)	98	31.6	32.7	32.7	2.0	6.1	2.0	1.0	2.0	1.0	0.0	2.0	0.0	30.6
	無職・家事専業(求職無)	311	43.1	31.2	26.4	0.0	10.3	1.9	3.2	3.2	3.5	0.0	0.6	0.3	29.9
	その他	13	23.1	23.1	38.5	7.7	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	30.8
	わからない	77	13.0	18.2	19.5	5.2	6.5	7.8	3.9	3.9	5.2	0.0	1.3	0.0	42.9
世帯年収(全体)	100万円未満	95	18.9	38.9	23.2	7.4	11.6	6.3	2.1	1.1	1.1	0.0	0.0	2.1	30.5
	100~199万円	113	23.9	33.6	22.1	7.1	5.3	6.2	3.5	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	38.1
	200~299万円	128	30.5	34.4	28.9	7.0	6.3	7.8	3.1	4.7	3.1	0.0	0.8	1.6	31.3
	300~399万円	79	39.2	29.1	25.3	10.1	2.5	3.8	7.6	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	24.1
	400~499万円	143	47.6	31.5	24.5	7.0	5.6	5.6	7.7	1.4	0.7	0.0	0.7	0.7	23.8
	500~599万円	126	50.8	40.5	29.4	8.7	6.3	3.2	0.8	1.6	1.6	0.8	0.0	0.0	23.0
	600~699万円	52	46.2	50.0	32.7	7.7	5.8	3.8	3.8	0.0	0.0	1.9	3.8	1.9	19.2
	700~799万円	18	33.3	55.6	11.1	11.1	5.6	5.6	0.0	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0	33.3
	800万円以上	219	37.0	32.9	19.6	3.7	5.9	5.0	3.7	1.8	1.4	1.4	0.5	0.5	33.8

3) 相談することについての考え

不安や悩みを誰かに相談することについて、どのように思うかたずねたところ、「相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる」(56.1%)の割合が5割を超えて最も高く、次いで「相談しても無駄である(相談しても解決しない)」(33.4%)となっている。

年齢別にみると、全ての年代で「相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる」の割合が最も高いが、特に60歳代以上で高く、6割を超えている。「相手に連絡を取ることや、不安や悩みを説明するのが面倒である」や「相談することが恥ずかしい」の割合は50歳代以上に比べて40歳代以下で高くなっている。また、「相談すると相手の負担になる」の割合は20歳代で3割強と他の年代に比べて顕著に高くなっている。

困難状況(抱える困難の数)別にみると、抱える困難の種類が多いほど「相談しても無駄である(相談しても解決しない)」や「相談すると相手の負担になる」、「相手に連絡を取ることや、不安や悩みを説明するのが面倒である」、「相談することが恥ずかしい」といった相談することに対するネガティブな考えの割合が高くなっている。



図表-36 属性別【Q10】相談することについての考え(複数回答)

属性	調査数 (n)	相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる (%)	相談しても無駄である(相談しても解決しない) (%)	相談すると相手の負担になる (%)	相談することで決める、または解決の手がかりが得られる (%)	相手に連絡を取ることや、不安や悩みを説明するのが面倒である (%)	相談することが恥ずかしい (%)	その他 (%)	
全体	1,050	56.1	33.4	22.3	21.0	15.8	10.7	0.9	
年齢	20歳代以下	135	56.3	34.1	32.6	20.0	18.5	15.6	0.7
	30歳代	215	50.2	37.7	22.8	20.5	22.8	15.8	0.9
	40歳代	171	43.9	38.0	27.5	21.6	17.5	15.8	1.2
	50歳代	179	52.5	36.9	25.7	19.0	11.7	5.6	0.6
	60歳代	269	65.1	29.4	14.5	22.3	11.5	5.9	0.7
	70歳代以上	81	75.3	17.3	11.1	23.5	12.3	4.9	1.2
	婚姻状況	既婚(事実婚含む)	512	61.9	28.9	21.9	22.1	16.2	10.5
離別		131	59.5	32.1	14.5	22.9	11.5	6.1	0.8
死別		40	52.5	35.0	17.5	22.5	17.5	7.5	2.5
未婚		367	47.1	40.1	26.2	18.8	16.6	12.8	1.1
家族構成	一人暮らし	224	50.9	40.2	22.8	17.0	15.2	10.3	1.3
	夫婦のみ	266	64.7	28.9	24.4	22.6	15.0	9.4	1.1
	二世帯世帯(親と同居)	129	41.1	34.9	21.7	24.8	16.3	10.9	1.6
	二世帯世帯(子と同居)	283	57.2	29.7	20.1	23.0	16.3	11.3	0.4
	その他の世帯	148	59.5	37.2	22.3	17.6	16.9	12.2	0.0
子育て世帯	子育て世帯(全体)	158	50.0	32.9	23.4	17.7	24.7	17.7	0.0
	うち、母子世帯	24	37.5	37.5	20.8	25.0	20.8	16.7	0.0
職業	正規の職員・従業員	200	51.0	35.0	26.5	23.5	17.5	17.5	0.5
	非正規の職員・従業員	335	59.1	33.7	21.5	18.8	13.7	10.7	0.6
	会社経営者・役員	3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
	自営業主	48	64.6	27.1	14.6	27.1	8.3	8.3	0.0
	家族従業者・内職	23	52.2	21.7	30.4	17.4	26.1	8.7	4.3
	学生	19	63.2	42.1	21.1	21.1	26.3	5.3	0.0
	無職・家事専業(求職中)	98	52.0	32.7	25.5	20.4	17.3	11.2	1.0
	無職・家事専業(求職無)	311	55.9	33.8	20.3	22.2	16.4	7.1	0.6
	その他	13	61.5	38.5	23.1	7.7	7.7	0.0	15.4
世帯年収(全体)	100万円未満	77	35.1	44.2	16.9	14.3	15.6	7.8	0.0
	100~199万円	95	49.5	35.8	26.3	24.2	14.7	7.4	3.2
	200~299万円	113	59.3	31.9	16.8	20.4	12.4	8.0	0.0
	300~399万円	128	53.9	31.3	21.1	22.7	11.7	7.8	1.6
	400~499万円	79	65.8	30.4	22.8	22.8	12.7	13.9	0.0
	500~699万円	143	67.8	28.0	21.0	23.8	17.5	14.0	0.0
	700~999万円	126	55.6	34.1	27.0	23.0	22.2	17.5	0.8
	1,000~1,499万円	52	57.7	40.4	30.8	21.2	21.2	17.3	0.0
	1,500万円以上	18	72.2	33.3	16.7	27.8	5.6	0.0	0.0
	わからない	219	53.4	33.3	22.4	17.4	16.4	8.2	1.4
抱える困難数	1種類のみ	164	61.0	23.2	12.8	22.6	10.4	7.3	0.0
	2~3種類	448	56.9	32.4	22.1	21.9	13.4	10.5	0.4
	4種類以上	438	53.4	38.4	26.0	19.6	20.3	12.1	1.6

6. 抱える困難の状況について

1) 抱える困難の状況（全体）

①抱える困難の状況（全体）

女性が抱える主な困難の状況について、次頁以降に示す Q11～18 の 8 つの困難ごとに改めて回答者全員に質問を行い、困難の該当状況を詳細に確認した。

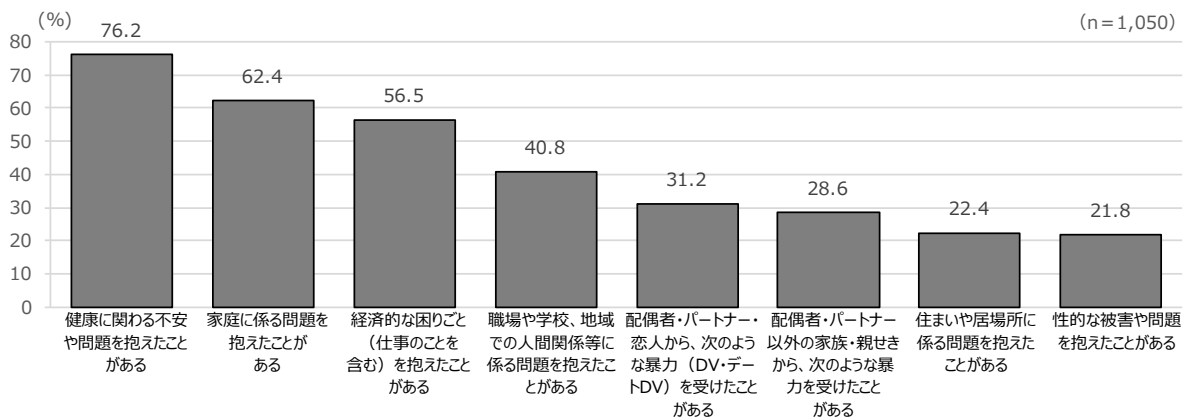
8 つの困難ごとの該当状況では、「健康に関わる不安や問題」（Q15 該当）（76.2%）の割合が 7 割を超えて最も高く、次いで「家庭に係る問題」（Q16 該当）（62.4%）、「経済的な困りごと（仕事のことを含む）」（Q14 該当）（56.5%）となっている。

年齢別にみると、「性的な被害や問題」や「職場や学校、地域での人間関係等に係る問題」、「住まいや居場所に係る問題」の割合は年齢が若いほど割合が高くなっている。「経済的な困りごと（仕事のことを含む）」の割合は 30 歳代・50 歳代で、「家庭に係る問題」の割合は 30 歳代・60 歳代で他の年代に比べて高くなっている。なお、「健康に関わる不安や問題」は全ての年代で 7 割を超えて最も高いが、なかでも 60 歳代以上では 8 割超と高くなっている。

婚姻状況別にみると、「配偶者・パートナー・恋人からの暴力」の割合は離別者で高く、5 割を超えている。

世帯年収別にみると、「経済的な困りごと（仕事のことを含む）」の割合は「300～399 万円」の層で 7 割強と他に比べて高くなっている。

図表 - 37 【Q11～18】抱える困難の状況（集約）（複数回答）



図表 - 38 属性別 【Q11～18】抱える困難の状況（集約）（複数回答）

		調査数 (n)	健康に関わる不安や問題を抱えたことがある (%)	家庭に係る問題を抱えたことがある (%)	経済的な困りごと（仕事のことを含む）を抱えたことがある (%)	職場や学校、地域での人間関係等に係る問題を抱えたことがある (%)	配偶者・パートナー・恋人から、次のような暴力（DV・デートDV）を受けたことがある (%)	配偶者・パートナー以外の家族・親せきから、次のような暴力を受けたことがある (%)	住まいや居場所に係る問題を抱えたことがある (%)	性的な被害や問題を抱えたことがある (%)
全体		1,050	76.2	62.4	56.5	40.8	31.2	28.6	22.4	21.8
年齢	20歳代以下	135	71.1	54.1	54.1	50.4	30.4	31.1	30.4	29.6
	30歳代	215	75.8	67.0	63.3	50.2	28.8	28.8	29.8	28.4
	40歳代	171	71.9	59.1	58.5	43.3	30.4	31.6	25.7	21.1
	50歳代	179	74.9	60.9	66.5	34.6	28.5	30.7	22.9	21.8
	60歳代	269	80.7	66.9	47.2	35.3	34.2	25.7	12.6	16.7
	70歳代以上	81	82.7	59.3	46.9	25.9	37.0	22.2	13.6	9.9
婚姻状況	既婚（事実婚含む）	512	72.5	67.6	51.8	36.1	35.5	25.8	16.0	19.5
	離別	131	81.7	70.2	67.2	40.5	54.2	28.2	27.5	24.4
	死別	40	80.0	52.5	65.0	40.0	27.5	37.5	20.0	20.0
	未婚	367	79.0	53.4	58.3	47.4	17.4	31.6	29.7	24.3

図表－38 属性別【Q11～18】抱える困難の状況（集約）（複数回答）（続き）

(%)

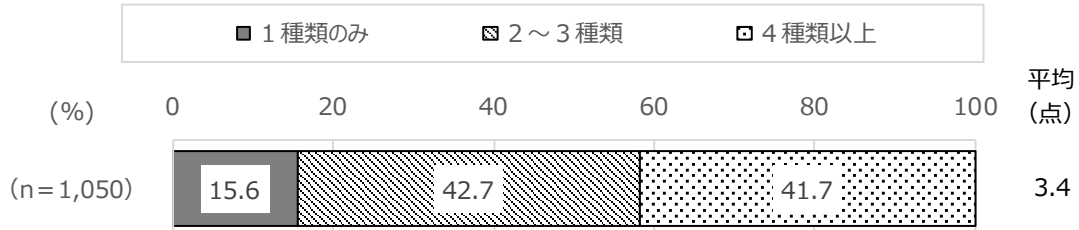
	調査数 (n)	健康に関わ る不安や問 題を抱えた ことがある	家庭に係る 問題を抱え たことがある	経済的な 困りごと (仕事のこ とを含む) を抱えたこ とがある	職場や学 校、地域で の人間関 係等に係る 問題を抱え たことがある	配偶者・ パートナー・ 恋人から、 次のような 暴力 (DV・デー トDV)を 受けたこと がある	配偶者・ パートナー 以外の家 族・親せき から、次のよ うな暴力を 受けたこと がある	住まいや居 場所に係る 問題を抱え たことがある	性的な被 害や問題を 抱えたこと がある	
全 体	1,050	76.2	62.4	56.5	40.8	31.2	28.6	22.4	21.8	
家 族 構 成	一人暮らし	224	78.6	54.5	61.6	46.9	25.4	30.8	29.5	23.7
	夫婦のみ	266	74.8	66.2	51.5	41.7	28.2	26.3	16.9	20.7
	二世代会世帯（親と同居）	129	83.7	57.4	56.6	42.6	16.3	31.8	25.6	16.3
	二世代会世帯（子と同居）	283	71.4	67.8	57.2	33.6	45.6	26.5	18.4	20.5
	その他の世帯	148	77.7	61.5	56.1	41.9	31.1	30.4	26.4	28.4
子育 て 世 帯	子育て世帯（全体）	158	63.3	70.9	67.1	35.4	47.5	32.3	23.4	24.7
	うち、母子世帯	24	54.2	79.2	83.3	37.5	62.5	37.5	29.2	29.2
職 業	正規の職員・従業員	200	68.5	60.0	49.0	46.0	31.0	28.0	31.5	26.0
	非正規の職員・従業員	335	73.4	60.0	64.5	41.5	32.2	26.0	20.9	21.2
	会社経営者・役員	3	100.0	33.3	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	33.3
	自営業主	48	75.0	66.7	68.8	33.3	31.3	31.3	22.9	37.5
	家族従業者・内職	23	65.2	65.2	52.2	47.8	39.1	56.5	26.1	30.4
	学生	19	73.7	63.2	21.1	52.6	36.8	31.6	26.3	15.8
	無職・家事専業（求職中）	98	81.6	60.2	76.5	45.9	26.5	34.7	19.4	16.3
	無職・家事専業（求職無）	311	83.0	65.9	46.6	34.1	29.6	26.4	17.0	17.7
	その他	13	84.6	76.9	61.5	53.8	53.8	38.5	46.2	46.2
世 帯 年 収 （ 全 体 ）	100万円未満	77	84.4	57.1	67.5	35.1	26.0	32.5	35.1	20.8
	100～199万円	95	81.1	58.9	67.4	47.4	35.8	32.6	30.5	26.3
	200～299万円	113	77.0	61.1	63.7	47.8	27.4	25.7	24.8	18.6
	300～399万円	128	82.0	63.3	72.7	43.0	37.5	28.1	24.2	26.6
	400～499万円	79	75.9	69.6	62.0	32.9	38.0	27.8	25.3	26.6
	500～699万円	143	71.3	59.4	55.9	39.2	30.1	26.6	13.3	19.6
	700～999万円	126	68.3	66.7	47.6	42.9	27.0	32.5	17.5	19.0
	1,000～1,499万円	52	75.0	67.3	28.8	30.8	38.5	32.7	28.8	23.1
	1,500万円以上	18	72.2	50.0	22.2	33.3	22.2	11.1	11.1	16.7
	わからない	219	75.8	62.6	47.5	40.6	29.2	26.9	19.2	20.5

②抱える困難の数

前項の回答結果から抱える困難の数（種類）を整理すると、8つの困難のうちの該当数が「2～3種類」（42.7%）と「4種類以上」（41.7%）がそれぞれ4割強を占めており、平均で3.4種類であった。

「4種類以上」の割合に着目すると、年齢別では30歳代以下で5割弱と高く、婚姻状況別では離別・死別で5割以上と高くなっている。

図表－39 【Q11～18】抱える困難の数



図表－40 属性別 【Q11～18】抱える困難の数 (%)

		調査数 (n)	1種類のみ	2～3種類	4種類以上	平均 (困難数)
全体		1,050	15.6	42.7	41.7	3.40
年齢	20歳代以下	135	16.3	37.0	46.7	3.51
	30歳代	215	14.9	35.3	49.8	3.72
	40歳代	171	12.9	49.1	38.0	3.42
	50歳代	179	12.3	47.5	40.2	3.41
	60歳代	269	19.0	41.3	39.8	3.19
	70歳代以上	81	18.5	51.9	29.6	2.98
婚姻状況	既婚（事実婚含む）	512	16.4	46.5	37.1	3.25
	離別	131	12.2	32.8	55.0	3.94
	死別	40	20.0	30.0	50.0	3.43
	未婚	367	15.3	42.2	42.5	3.41
家族構成	一人暮らし	224	16.5	38.4	45.1	3.51
	夫婦のみ	266	16.9	45.1	38.0	3.26
	二世帯世帯（親と同居）	129	15.5	47.3	37.2	3.30
	二世帯世帯（子と同居）	283	13.4	45.6	41.0	3.41
	その他の世帯	148	16.2	35.1	48.6	3.53
子育て世帯	子育て世帯（全体）	158	12.0	43.7	44.3	3.65
	うち、母子世帯	24	12.5	29.2	58.3	4.13
職業	正規の職員・従業員	200	19.5	39.0	41.5	3.40
	非正規の職員・従業員	335	13.1	44.2	42.7	3.40
	会社経営者・役員	3	33.3	0.0	66.7	5.00
	自営業主	48	12.5	41.7	45.8	3.67
	家族従業者・内職	23	13.0	39.1	47.8	3.83
	学生	19	15.8	52.6	31.6	3.21
	無職・家事専業（求職中）	98	13.3	38.8	48.0	3.61
	無職・家事専業（求職無）	311	17.7	45.0	37.3	3.20
	その他	13	0.0	38.5	61.5	4.62
世帯年収（全体）	100万円未満	77	18.2	37.7	44.2	3.58
	100～199万円	95	16.8	32.6	50.5	3.80
	200～299万円	113	11.5	47.8	40.7	3.46
	300～399万円	128	13.3	34.4	52.3	3.77
	400～499万円	79	10.1	46.8	43.0	3.58
	500～699万円	143	14.0	50.3	35.7	3.15
	700～999万円	126	19.0	44.4	36.5	3.21
	1,000～1,499万円	52	13.5	50.0	36.5	3.25
	1,500万円以上	18	44.4	33.3	22.2	2.39
	わからない	219	16.9	42.5	40.6	3.22

抱える困難の数ごとに困難の内容をみると、抱える困難が1種類のみの場合には「健康に関わる不安や問題」(56.1%)の割合が最も高く、その他はいずれも1割以下となっている。

抱える困難が2～3種類の場合は「健康に関わる問題」(67.4%)、「家庭に係る問題」(56.0%)、「経済的な困りごと(仕事のことを含む)」(50.2%)がそれぞれ5割以上と高くなっている。

抱える困難が4種類以上になると、上記の2～3種類の場合と同様の3項目がそれぞれ8～9割で上位にあがっているほか、その他の項目もそれぞれ4～7割弱となっている。

図表－41 【Q11～18】抱える困難の数別 抱える困難の状況(集約)(複数回答)

(%)

		調査数 (n)	健康に関わる不安や問題を抱えたことがある	家庭に係る問題を抱えたことがある	経済的な困りごと(仕事のことを含む)を抱えたことがある	職場や学校、地域での人間関係等に係る問題を抱えたことがある	配偶者・パートナー・恋人から、次のような暴力(DV・デートDV)を受けたことがある	配偶者・パートナー以外の家族・親せきから、次のような暴力を受けたことがある	住まいや居場所に係る問題を抱えたことがある	性的な被害や問題を抱えたことがある
全体		1,050	76.2	62.4	56.5	40.8	31.2	28.6	22.4	21.8
抱える困難数	1種類のみ	164	56.1	12.8	13.4	7.3	4.9	1.8	3.0	0.6
	2～3種類	448	67.4	56.0	50.2	28.1	17.9	14.5	7.4	9.4
	4種類以上	438	92.7	87.4	79.0	66.2	54.8	53.0	45.0	42.5

2) 暴力に係る問題

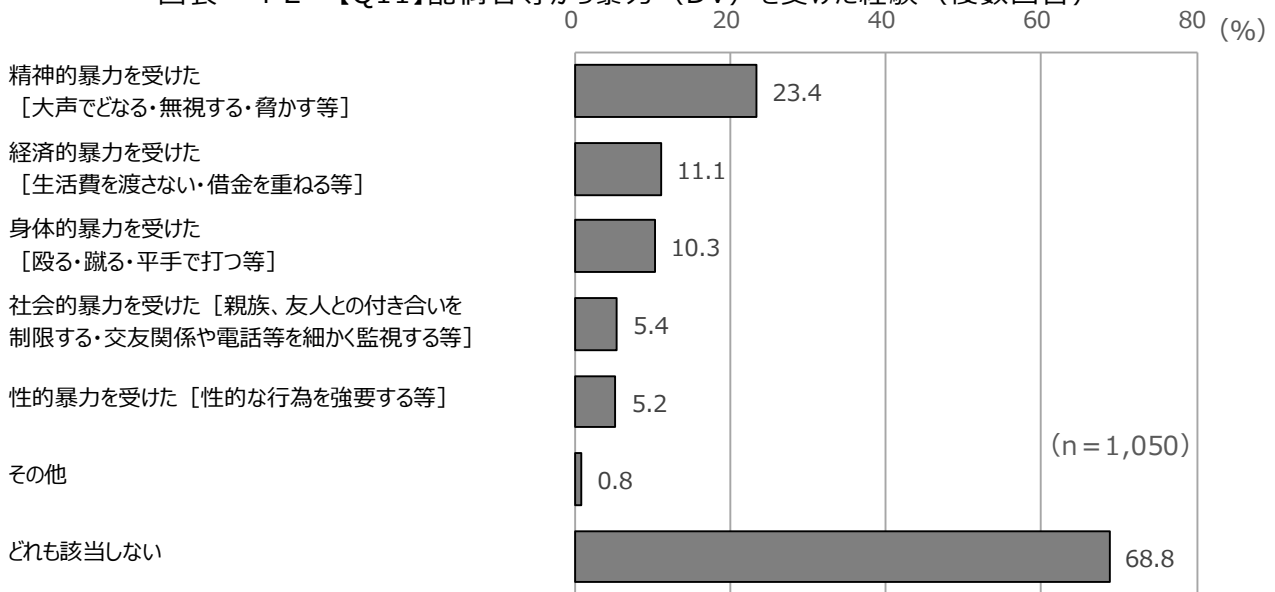
① 配偶者等から暴力 (DV) を受けた経験

配偶者・パートナー・恋人からの暴力 (DV・デートDV) で受けたことがあるものでは、「精神的暴力」(23.4%)の割合が最も高く、次いで「経済的暴力」(11.1%)、「身体的暴力」(10.3%)となっている。

年齢別にみると、全ての年代で「精神的暴力」の割合が最も高いが、年齢が高いほど高く、60歳代以上で3割弱となっている。

婚姻状況別にみると、離別者では他に比べて暴力を受けた経験の割合が全般的に高く、「精神的暴力」は4割強、「身体的暴力」と「経済的暴力」はそれぞれ2割強となっている。

図表 - 4 2 【Q11】配偶者等から暴力 (DV) を受けた経験 (複数回答)



図表 - 4 3 属性別 【Q11】配偶者等から暴力 (DV) を受けた経験 (複数回答) (%)

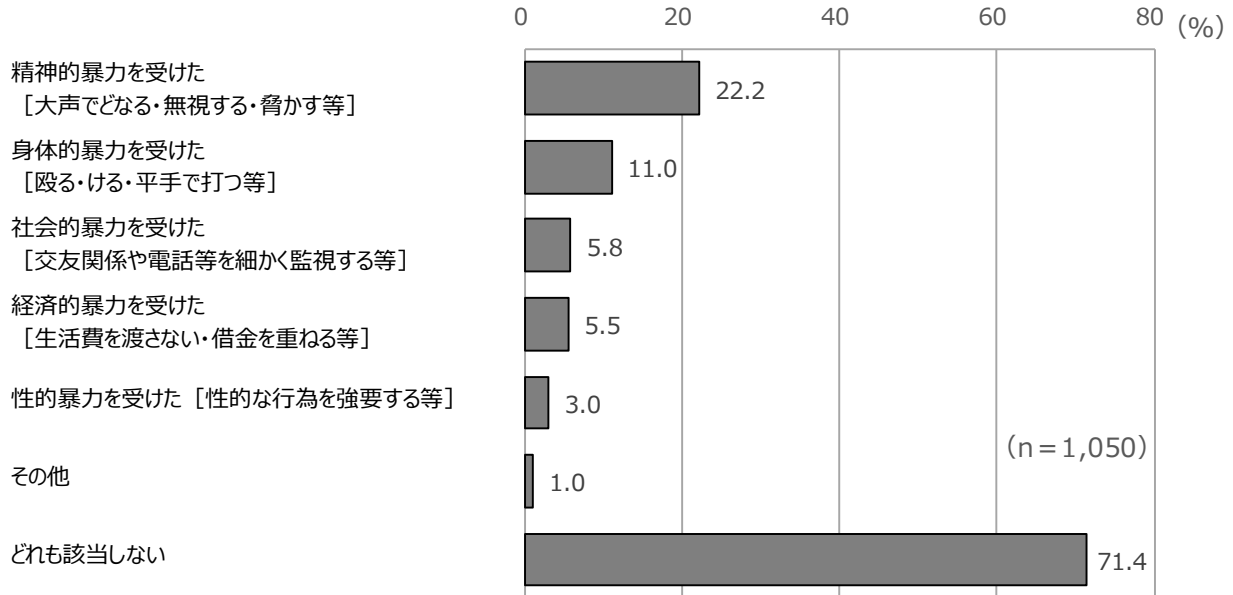
		調査数 (n)	精神的暴力を受けた [大声でどなる・無視する・脅かす等]	経済的暴力を受けた [生活費を渡さない・借金を重ねる等]	身体的暴力を受けた [殴る・蹴る・平手で打つ等]	社会的暴力を受けた [親族、友人との付き合いを制限する・交友関係や電話等を細かく監視する等]	性的暴力を受けた [性的な行為を強要する等]	その他	どれも該当しない
全体		1,050	23.4	11.1	10.3	5.4	5.2	0.8	68.8
年齢	20歳代以下	135	17.8	9.6	5.9	8.9	6.7	0.0	69.6
	30歳代	215	21.9	9.8	11.6	5.1	5.6	0.0	71.2
	40歳代	171	21.6	10.5	10.5	6.4	6.4	0.6	69.6
	50歳代	179	22.3	11.7	7.8	5.0	6.1	0.6	71.5
	60歳代	269	27.5	11.5	12.6	3.7	4.5	1.9	65.8
	70歳代以上	81	29.6	16.0	11.1	4.9	0.0	1.2	63.0
婚姻状況	既婚 (事実婚含む)	512	27.9	11.1	9.2	4.1	5.3	1.2	64.5
	離別	131	42.0	26.0	26.7	11.5	8.4	0.8	45.8
	死別	40	20.0	5.0	7.5	2.5	5.0	0.0	72.5
	未婚	367	10.9	6.5	6.3	5.4	4.1	0.3	82.6
家族構成	一人暮らし	224	17.9	10.7	11.2	5.8	5.8	0.4	74.6
	夫婦のみ	266	22.2	7.1	8.3	4.1	4.1	1.1	71.8
	二世帯世帯 (親と同居)	129	9.3	4.7	6.2	5.4	3.9	0.8	83.7
	二世帯世帯 (子と同居)	283	36.4	17.3	14.8	4.2	6.7	0.7	54.4
子育て世帯	その他の世帯	148	21.6	12.8	7.4	9.5	4.7	0.7	68.9
	子育て世帯 (全体)	158	37.3	17.7	14.6	7.0	6.3	0.0	52.5
	うち、母子世帯	24	50.0	25.0	25.0	20.8	8.3	0.0	37.5

②配偶者等以外の家族・親せきから暴力を受けた経験

配偶者・パートナー以外の家族・親せきからの暴力で受けたことがあるものでは、「精神的暴力」（22.2％）の割合が最も高く、次いで「身体的暴力」（11.0％）となっている。

属性別にみても特筆すべき傾向は見られない。

図表－４４ 【Q12】配偶者等以外の家族・親せきから暴力を受けた経験（複数回答）



図表－４５ 属性別 【Q12】配偶者等以外の家族・親せきから暴力を受けた経験（複数回答）

(%)

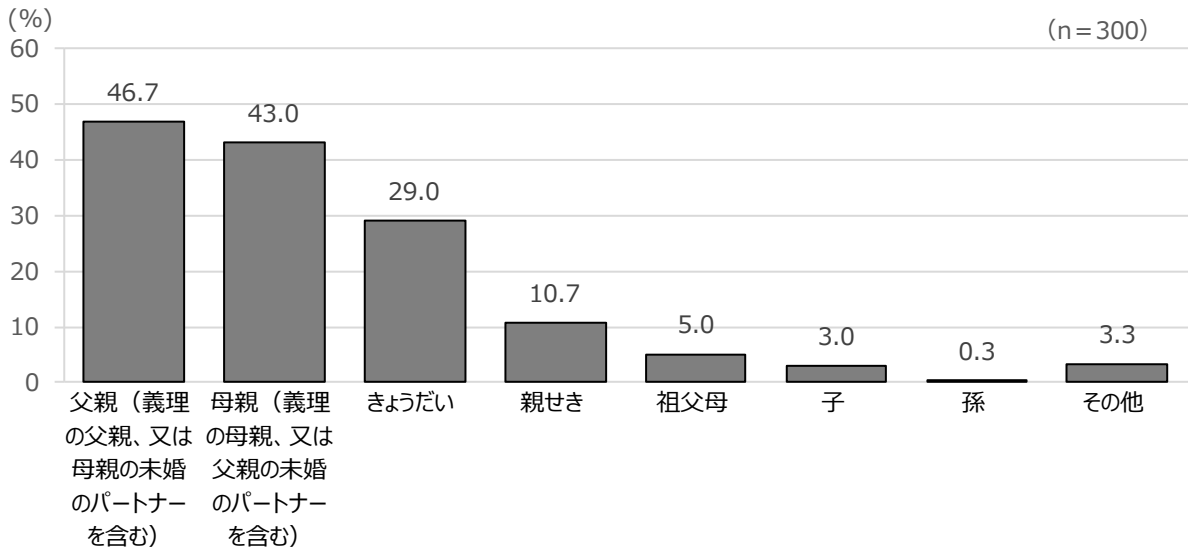
		調査数 (n)	精神的暴力を受けた [大声でどなる・無視する・脅かす等]	身体的暴力を受けた [殴る・ける・平手で打つ等]	社会的暴力を受けた [交友関係や電話等を細かく監視する等]	経済的暴力を受けた [生活費を渡さない・借金を重ねる等]	性的暴力を受けた [性的な行為を強要する等]	その他	どれも該当しない
全体		1,050	22.2	11.0	5.8	5.5	3.0	1.0	71.4
年齢	20歳代以下	135	22.2	11.1	7.4	6.7	4.4	0.7	68.9
	30歳代	215	21.4	11.6	8.8	7.9	3.7	0.5	71.2
	40歳代	171	24.0	12.9	7.0	5.8	3.5	1.2	68.4
	50歳代	179	25.7	11.7	5.6	4.5	2.8	0.6	69.3
	60歳代	269	20.4	10.0	2.6	4.5	1.9	2.2	74.3
	70歳代以上	81	18.5	6.2	3.7	2.5	2.5	0.0	77.8
婚姻状況	既婚（事実婚含む）	512	18.8	7.0	4.3	4.1	2.5	1.6	74.2
	離別	131	22.9	12.2	5.3	6.9	6.9	0.0	71.8
	死別	40	25.0	20.0	2.5	2.5	5.0	5.0	62.5
	未婚	367	26.4	15.0	8.4	7.4	2.2	0.3	68.4
家族構成	一人暮らし	224	26.8	15.2	8.5	8.5	3.1	0.4	69.2
	夫婦のみ	266	21.4	9.0	5.3	3.4	2.6	1.9	73.7
	二世帯世帯（親と同居）	129	24.8	15.5	7.8	7.0	2.3	1.6	68.2
	二世帯世帯（子と同居）	283	17.3	6.7	2.5	5.3	3.5	1.1	73.5
	その他の世帯	148	23.6	12.2	7.4	4.1	3.4	0.0	69.6

③ 配偶者等以外の家族・親せきからの暴力の加害者

配偶者・パートナー以外の家族・親せきから暴力を受けたことがある人（300人）に、暴力をふるった加害者の続柄をたずねたところ、「父親」（46.7%）と「母親」（43.0%）の割合がそれぞれ4割を超えて高く、次いで「きょうだい」（29.0%）、「親せき」（10.7%）となっている。

年齢別にみると、「母親」の割合は20歳代以下で6割弱と高く、「きょうだい」の割合は50歳代以上で3割を超えて高くなっている。

図表－46 【Q12-1】配偶者等以外の家族・親せきからの暴力の加害者（複数回答）



図表－47 属性別 【Q12-1】配偶者等以外の家族・親せきからの暴力の加害者（複数回答）

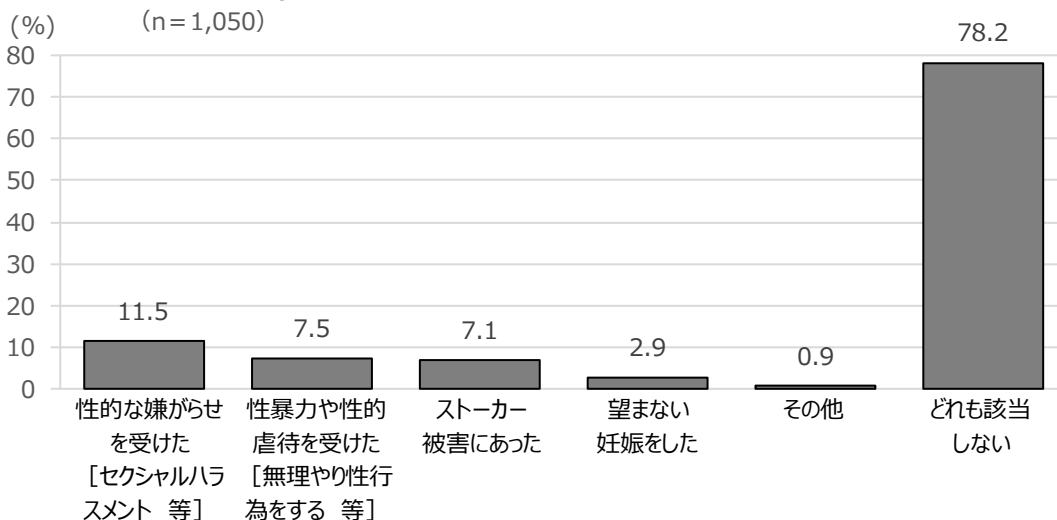
		調査数 (n)	父親（義理の父親、又は母親の未婚のパートナーを含む）	母親（義理の母親、又は父親の未婚のパートナーを含む）	きょうだい	親せき	祖父母	子	孫	その他
全体		300	46.7	43.0	29.0	10.7	5.0	3.0	0.3	3.3
年齢	20歳代以下	42	54.8	57.1	11.9	7.1	2.4	2.4	2.4	0.0
	30歳代	62	54.8	41.9	29.0	8.1	4.8	0.0	0.0	1.6
	40歳代	54	46.3	38.9	24.1	9.3	9.3	1.9	0.0	9.3
	50歳代	55	40.0	45.5	32.7	12.7	5.5	0.0	0.0	0.0
	60歳代	69	47.8	39.1	39.1	11.6	1.4	7.2	0.0	5.8
	70歳代以上	18	16.7	33.3	33.3	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0
婚姻状況	既婚（事実婚含む）	132	40.2	41.7	25.8	15.9	7.6	3.0	0.0	2.3
	離別	37	40.5	37.8	24.3	10.8	2.7	10.8	0.0	13.5
	死別	15	40.0	33.3	73.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	未婚	116	56.9	47.4	28.4	5.2	3.4	0.9	0.9	1.7
家族構成	一人暮らし	69	50.7	55.1	39.1	4.3	4.3	0.0	0.0	4.3
	夫婦のみ	70	42.9	47.1	30.0	17.1	8.6	1.4	0.0	1.4
	二世代世帯（親と同居）	41	56.1	34.1	24.4	7.3	0.0	0.0	2.4	7.3
	二世代世帯（子と同居）	75	38.7	33.3	22.7	12.0	5.3	9.3	0.0	4.0
	その他の世帯	45	51.1	42.2	26.7	11.1	4.4	2.2	0.0	0.0

3) 性的な被害や問題

性的な被害や問題で抱えたことがあるものでは、「性的な嫌がらせ（セクシャルハラスメント等）」（11.5%）の割合が1割強で最も高く、次いで「性暴力や性的虐待」（7.5%）、「ストーカー被害」（7.1%）、「望まない妊娠」（2.9%）となっている。

年齢別にみると、「性的な嫌がらせ」の割合は50歳代以下で1割を超え、30歳代で最も高く2割弱となっている。「性暴力や性的虐待」の割合は20歳代以下で1割強、「ストーカー被害」の割合は40歳代で1割と高くなっている。

図表－48 【Q13】性的な被害や問題を抱えた経験（複数回答）



図表－49 属性別 【Q13】性的な被害や問題を抱えた経験（複数回答）

		調査数 (n)	性的な嫌がらせを受けた [セクシャルハラスメント等]	性暴力や性的虐待を受けた [無理やり性行為をする等]	ストーカー被害にあった	望まない妊娠をした	その他	どれも該当しない
全体		1,050	11.5	7.5	7.1	2.9	0.9	78.2
年齢	20歳代以下	135	14.8	13.3	6.7	3.7	0.7	70.4
	30歳代	215	18.1	9.3	8.4	3.3	0.5	71.6
	40歳代	171	11.1	7.0	10.5	2.9	0.0	78.9
	50歳代	179	12.3	6.1	7.3	1.1	1.1	78.2
	60歳代	269	6.7	5.9	4.5	4.1	1.1	83.3
	70歳代以上	81	3.7	2.5	6.2	0.0	2.5	90.1
婚姻状況	既婚（事実婚含む）	512	9.0	6.4	6.1	3.3	0.4	80.5
	離別	131	13.0	8.4	10.7	3.1	0.8	75.6
	死別	40	12.5	5.0	5.0	0.0	5.0	80.0
	未婚	367	14.4	9.0	7.6	2.5	1.1	75.7
家族構成	一人暮らし	224	12.5	9.8	7.6	4.0	1.3	76.3
	夫婦のみ	266	9.4	6.8	8.6	1.5	0.8	79.3
	二世帯世帯（親と同居）	129	10.1	6.2	7.0	0.8	0.8	83.7
	二世帯世帯（子と同居）	283	11.7	6.0	4.9	3.9	0.7	79.5
	その他の世帯	148	14.9	9.5	8.1	3.4	0.7	71.6

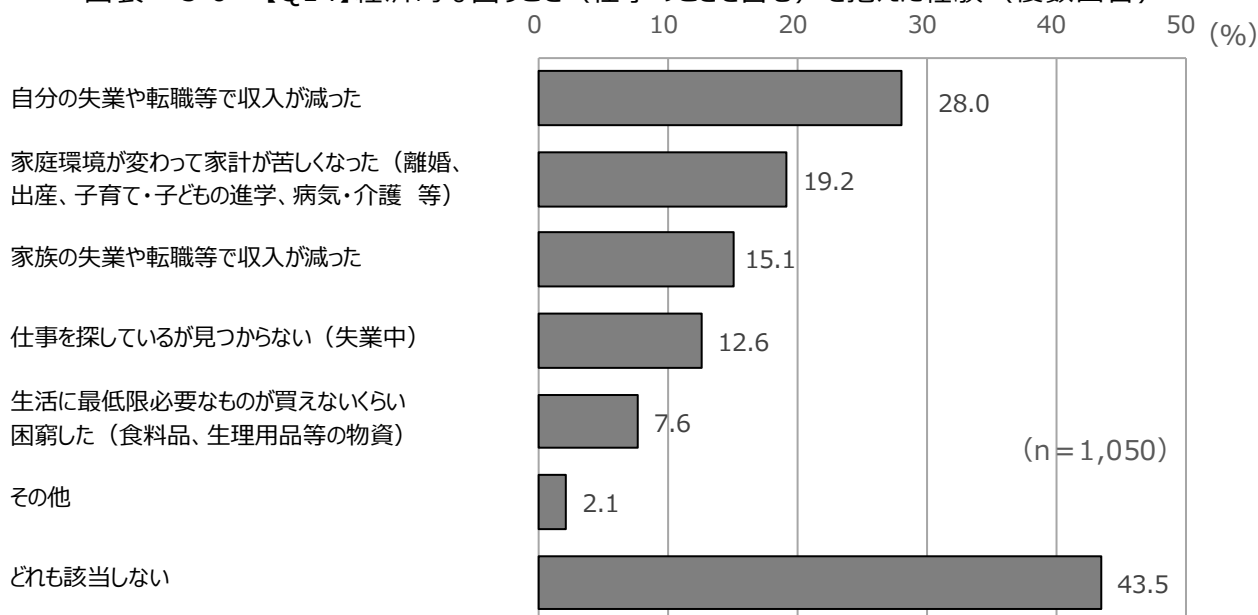
4) 生活困窮や就労に係る問題

経済的な困りごと（仕事のことを含む）で抱えたことがあるものでは、「自分の失業や転職等で収入が減った」（28.0%）の割合が最も高く、次いで「家庭環境が変わって家計が苦しくなった」（19.2%）、「家族の失業や転職等で収入が減った」（15.1%）、「仕事を探しているが見つからない（失業中）」（12.6%）となっている。

年齢別にみると、「自分の失業や転職等で収入が減った」や「家庭環境が変わって家計が苦しくなった」の割合は30～50歳代で他の年代に比べて高くなっている。「仕事を探しているが見つからない（失業中）」の割合は20歳代以下で2割、「生活に最低限必要なものが買えないくらい困窮した」の割合は40・50歳代で1割強と高くなっている。

世帯年収別にみると、「仕事を探しているが見つからない（失業中）」や「生活に最低限必要なものが買えないくらい困窮した」の割合は年収100万円台以下の層で2割前後と高くなっている。

図表－50 【Q14】経済的な困りごと（仕事のことを含む）を抱えた経験（複数回答）



図表－51 属性別 【Q14】経済的な困りごと（仕事のことを含む）を抱えた経験（複数回答）

(%)

属性	調査数 (n)	自分の失業や転職等で収入が減った	家庭環境が変わって家計が苦しくなった（離婚、出産、子育て・子どもの進学、病気・介護等）	家族の失業や転職等で収入が減った	仕事を探しているが見つからない（失業中）	生活に最低限必要なものが買えないくらい困窮した（食料品、生理用品等の物資）	その他	どれも該当しない	
全体	1,050	28.0	19.2	15.1	12.6	7.6	2.1	43.5	
年齢	20歳代以下	135	24.4	17.8	7.4	20.0	6.7	0.7	45.9
	30歳代	215	34.9	24.2	14.0	12.1	6.0	2.8	36.7
	40歳代	171	32.2	20.5	17.0	12.9	12.3	1.8	41.5
	50歳代	179	32.4	21.2	15.6	16.2	10.1	1.7	33.5
	60歳代	269	21.2	15.2	19.0	8.6	4.8	2.2	52.8
	70歳代以上	81	19.8	14.8	13.6	6.2	7.4	3.7	53.1
婚姻状況	既婚（事実婚含む）	512	20.1	22.3	19.3	8.0	5.3	1.4	48.2
	離別	131	32.8	29.8	15.3	13.0	8.4	3.1	32.8
	死別	40	20.0	20.0	30.0	15.0	12.5	5.0	35.0
	未婚	367	38.1	11.2	7.6	18.5	10.1	2.5	41.7

図表－51 属性別【Q14】経済的な困りごと（仕事のことを含む）を抱えた経験（複数回答）（続き）

(%)

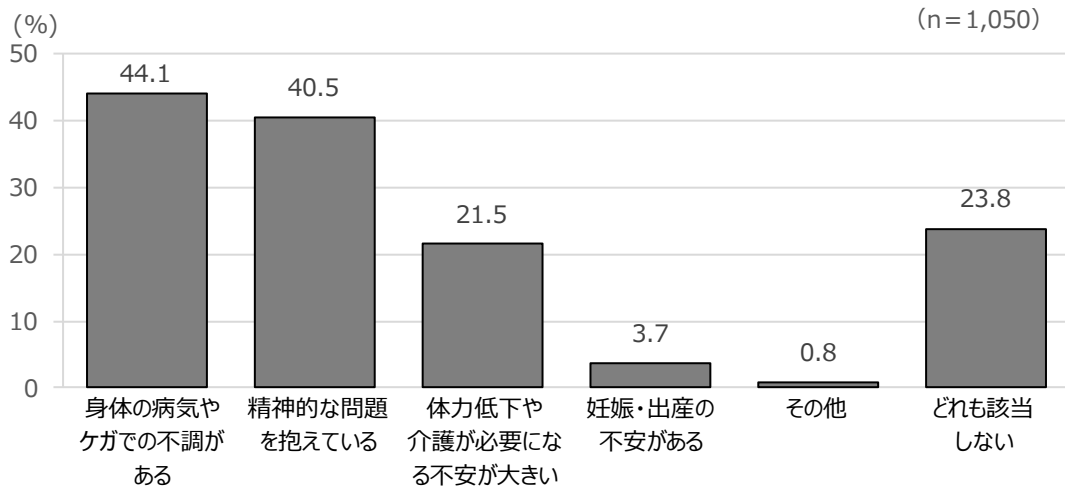
	調査数 (n)	自分の失業や転職等で収入が減った	家庭環境が変わって家計が苦しくなった (離婚、出産、子育て・子どもの進学、病気・介護等)	家族の失業や転職等で収入が減った	仕事を探しているが見つからない (失業中)	生活に最低限必要なものがないくらい 困窮した (食料品、生理用品等の物資)	その他	どれも該当しない	
全体	1,050	28.0	19.2	15.1	12.6	7.6	2.1	43.5	
家族構成	一人暮らし	224	40.6	14.7	7.1	17.4	12.5	2.7	38.4
	夫婦のみ	266	25.6	13.5	18.8	9.8	6.0	1.5	48.5
	二世帯世帯（親と同居）	129	36.4	10.9	10.9	14.7	8.5	3.1	43.4
	二世帯世帯（子と同居）	283	19.1	31.4	19.8	8.1	4.6	1.8	42.8
	その他の世帯	148	23.0	20.3	15.5	16.9	8.1	2.0	43.9
子育て世帯	子育て世帯（全体）	158	22.8	44.3	18.4	7.6	6.3	1.3	32.9
	うち、母子世帯	24	20.8	54.2	12.5	8.3	4.2	4.2	16.7
職業	正規の職員・従業員	200	24.5	19.0	13.0	6.5	3.5	1.5	51.0
	非正規の職員・従業員	335	33.7	20.9	18.2	13.7	9.0	2.7	35.5
	会社経営者・役員	3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
	自営業主	48	41.7	18.8	14.6	4.2	12.5	0.0	31.3
	家族従業者・内職	23	30.4	13.0	30.4	13.0	17.4	4.3	47.8
	学生	19	0.0	15.8	0.0	5.3	0.0	0.0	78.9
	無職・家事専業（求職中）	98	42.9	22.4	15.3	40.8	6.1	1.0	23.5
	無職・家事専業（求職無）	311	18.6	17.4	13.5	8.0	8.4	1.9	53.4
	その他	13	38.5	15.4	7.7	7.7	7.7	15.4	38.5
世帯年収（全体）	100万円未満	77	33.8	23.4	9.1	22.1	18.2	0.0	32.5
	100～199万円	95	44.2	24.2	8.4	26.3	18.9	1.1	32.6
	200～299万円	113	31.9	15.9	17.7	10.6	8.0	5.3	36.3
	300～399万円	128	34.4	23.4	26.6	13.3	8.6	3.1	27.3
	400～499万円	79	25.3	27.8	19.0	7.6	2.5	1.3	38.0
	500～699万円	143	28.7	18.9	19.6	7.7	3.5	1.4	44.1
	700～999万円	126	19.0	25.4	12.7	5.6	4.8	2.4	52.4
	1,000～1,499万円	52	19.2	9.6	3.8	11.5	0.0	0.0	71.2
	1,500万円以上	18	5.6	5.6	0.0	11.1	5.6	0.0	77.8
わからない	219	22.8	11.9	13.2	13.2	6.4	2.3	52.5	

5) 健康に係る問題

健康に係る不安や問題で抱えたことがあるものでは、「身体の病気やケガでの不調」（44.1%）の割合が最も高く、次いで「精神的な問題」（40.5%）、「体力低下や介護が必要になる不安大」（21.5%）となっている。

年齢別にみると、「身体の病気やケガでの不調」と「体力低下や介護が必要になる不安大」の割合は年齢が高くなるほど高まっている。一方、「精神的な問題」の割合は年齢が若いほど高く、20歳代以下で6割となっている。また、「妊娠・出産の不安」は30歳代で1割強となっている。

図表－52 【Q15】健康に係る問題を抱えた経験（複数回答）



図表－53 属性別【Q15】健康に係る問題を抱えた経験（複数回答）

		調査数 (n)	身体の病気やケガでの不調がある	精神的な問題を抱えている	体力低下や介護が必要になる不安が大い	妊娠・出産の不安がある	その他	どれも該当しない
全体		1,050	44.1	40.5	21.5	3.7	0.8	23.8
年齢	20歳代以下	135	28.1	60.0	5.2	6.7	0.0	28.9
	30歳代	215	28.4	53.0	14.0	11.2	1.4	24.2
	40歳代	171	43.9	43.9	19.3	1.8	0.6	28.1
	50歳代	179	49.2	36.9	21.8	1.1	0.6	25.1
	60歳代	269	55.8	29.7	32.3	0.4	1.1	19.3
	70歳代以上	81	63.0	11.1	37.0	0.0	0.0	17.3
婚姻状況	既婚（事実婚含む）	512	42.6	32.6	21.7	6.1	0.4	27.5
	離別	131	48.1	45.0	24.4	0.8	1.5	18.3
	死別	40	52.5	27.5	42.5	2.5	0.0	20.0
	未婚	367	43.9	51.2	18.0	1.6	1.1	21.0
家族構成	一人暮らし	224	49.1	41.1	22.8	1.8	0.0	21.4
	夫婦のみ	266	45.1	35.3	22.9	6.4	0.4	25.2
	二世帯世帯（親と同居）	129	48.1	53.5	18.6	0.0	3.1	16.3
	二世帯世帯（子と同居）	283	39.2	33.9	23.0	5.3	0.7	28.6
	その他の世帯	148	40.5	50.0	16.9	2.0	0.7	22.3
子育て世帯	子育て世帯（全体）	158	25.9	41.8	10.1	9.5	0.6	36.7
	うち、母子世帯	24	25.0	45.8	8.3	4.2	0.0	45.8

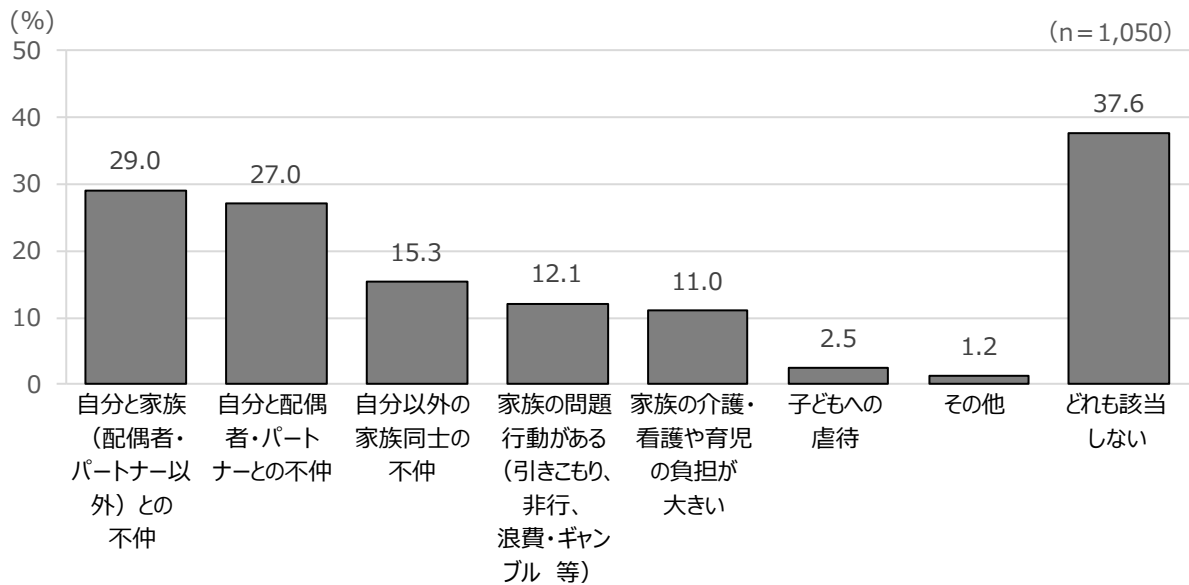
6) 家庭に係る問題

家庭に係る問題で抱えたことがあるものでは、「自分と家族（配偶者・パートナー以外）との不仲」（29.0%）と「自分と配偶者・パートナーとの不仲」（27.0%）の割合がそれぞれ3割弱と高く、次いで「自分以外の家族同士の不仲」（15.3%）となっている。

年齢別にみると、「自分と配偶者・パートナーとの不仲」の割合は40～60歳代で3割前後と高く、「自分と家族（配偶者・パートナー以外）との不仲」の割合は30歳代以下で3割以上と高くなっている。また、「家族の問題行動」の割合は30歳代で2割弱と高い。

婚姻状況別にみると、離別者は「自分と配偶者・パートナーとの不仲」（42.0%）や「家族の問題行動」（18.3%）、「子どもへの虐待」（5.3%）の割合が他に比べて高くなっている。

図表－54 【Q16】家庭に係る問題を抱えた経験（複数回答）



図表－55 属性別【Q16】家庭に係る問題を抱えた経験（複数回答）

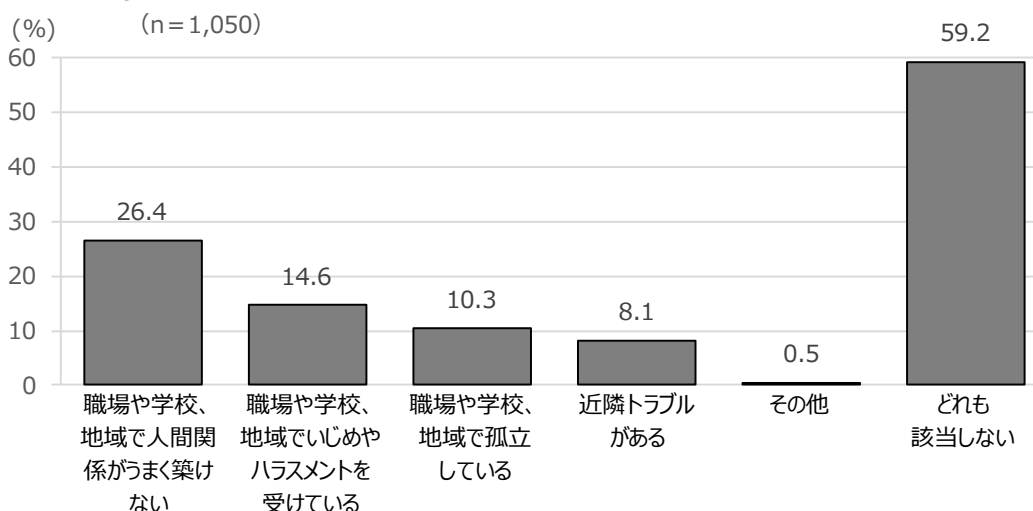
		調査数 (n)	自分と家族（配偶者・パートナー以外）との不仲	自分と配偶者・パートナーとの不仲	自分以外の家族同士の不仲	家族の問題行動がある（引きこもり、非行、浪費・ギャンブル等）	家族の介護・看護や育児の負担が大きい	子どもへの虐待	その他	どれも該当しない
全体		1,050	29.0	27.0	15.3	12.1	11.0	2.5	1.2	37.6
年齢	20歳代以下	135	34.8	13.3	17.8	8.1	5.9	1.5	0.0	45.9
	30歳代	215	36.3	25.6	17.2	17.2	9.3	4.2	0.5	33.0
	40歳代	171	29.2	28.7	8.8	11.1	10.5	4.1	0.6	40.9
	50歳代	179	25.7	30.2	14.0	10.6	12.8	1.7	1.1	39.1
	60歳代	269	23.0	32.0	17.8	11.5	15.6	1.5	2.6	33.1
	70歳代以上	81	25.9	25.9	14.8	12.3	6.2	1.2	2.5	40.7
婚姻状況	既婚（事実婚含む）	512	22.5	39.3	15.0	13.3	11.9	2.1	1.0	32.4
	離別	131	30.5	42.0	14.5	18.3	10.7	5.3	2.3	29.8
	死別	40	27.5	15.0	20.0	10.0	7.5	2.5	2.5	47.5
	未婚	367	37.6	5.7	15.5	8.4	10.4	1.9	1.1	46.6
家族構成	一人暮らし	224	35.3	17.4	14.7	9.8	5.4	1.3	1.8	45.5
	夫婦のみ	266	28.2	33.5	16.2	10.9	9.4	1.1	1.1	33.8
	二世帯世帯（親と同居）	129	40.3	3.1	13.2	7.8	17.1	3.1	0.0	42.6
	二世帯世帯（子と同居）	283	18.0	44.9	14.5	14.8	13.1	4.6	1.1	32.2
	その他の世帯	148	31.8	16.2	18.2	16.2	13.5	2.0	2.0	38.5
子育て世帯	子育て世帯（全体）	158	23.4	46.2	10.8	15.8	14.6	5.7	0.0	29.1
	うち、母子世帯	24	25.0	45.8	8.3	20.8	20.8	8.3	0.0	20.8

7) 職場・学校・地域での人間関係等に係る問題

職場や学校、地域での人間関係等に係る問題で抱えたことがあるものでは、「人間関係がうまく築けない」(26.4%)の割合が最も高く、次いで「いじめやハラスメントを受けている」(14.6%)、「孤立している」(10.3%)となっている。

年齢別にみると、「人間関係がうまく築けない」の割合は概ね年齢が若いほど高く、30歳代以下で3割を超えている。「いじめやハラスメントを受けている」や「孤立している」の割合は30・40歳代で、「近隣トラブルがある」の割合は60歳代以上で、それぞれ他の年代に比べてやや高くなっている。

図表－56 【Q17】職場・学校・地域での人間関係等に係る問題を抱えた経験（複数回答）



図表－57 属性別 【Q17】職場・学校・地域での人間関係等に係る問題を抱えた経験（複数回答）

		調査数 (n)	職場や学校、地域で人間関係がうまく築けない	職場や学校、地域でいじめやハラスメントを受けている	職場や学校、地域で孤立している	近隣トラブルがある	その他	どれも該当しない
全体		1,050	26.4	14.6	10.3	8.1	0.5	59.2
年齢	20歳代以下	135	35.6	14.8	12.6	5.2	1.5	49.6
	30歳代	215	37.2	17.7	14.0	6.5	0.5	49.8
	40歳代	171	29.2	18.1	14.6	7.0	0.0	56.7
	50歳代	179	23.5	13.4	9.5	6.7	0.6	65.4
	60歳代	269	18.6	13.0	5.2	11.2	0.4	64.7
	70歳代以上	81	8.6	6.2	6.2	12.3	0.0	74.1
婚姻状況	既婚（事実婚含む）	512	21.7	11.3	7.8	8.6	0.6	63.9
	離別	131	24.4	19.1	11.5	9.2	0.0	59.5
	死別	40	17.5	15.0	7.5	17.5	0.0	60.0
	未婚	367	34.6	17.4	13.6	6.0	0.5	52.6
家族構成	一人暮らし	224	29.5	19.2	12.1	8.5	0.4	53.1
	夫婦のみ	266	25.6	13.9	10.2	9.8	0.8	58.3
	二世帯世帯（親と同居）	129	28.7	17.8	11.6	9.3	0.8	57.4
	二世帯世帯（子と同居）	283	20.8	11.0	6.4	8.5	0.4	66.4
	その他の世帯	148	31.8	12.8	14.2	2.7	0.0	58.1
職業	正規の職員・従業員	200	29.5	19.0	11.5	5.0	1.0	54.0
	非正規の職員・従業員	335	28.1	14.9	10.1	6.9	0.3	58.5
	会社経営者・役員	3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3
	自営業主	48	20.8	6.3	6.3	12.5	0.0	66.7
	家族従業者・内職	23	30.4	21.7	21.7	17.4	0.0	52.2
	学生	19	36.8	15.8	21.1	0.0	0.0	47.4
	無職・家事専業（求職中）	98	28.6	19.4	12.2	9.2	0.0	54.1
	無職・家事専業（求職無）	311	20.9	10.0	8.0	9.6	0.6	65.9
	その他	13	53.8	30.8	7.7	15.4	0.0	46.2

8) 住まいや居場所に係る問題

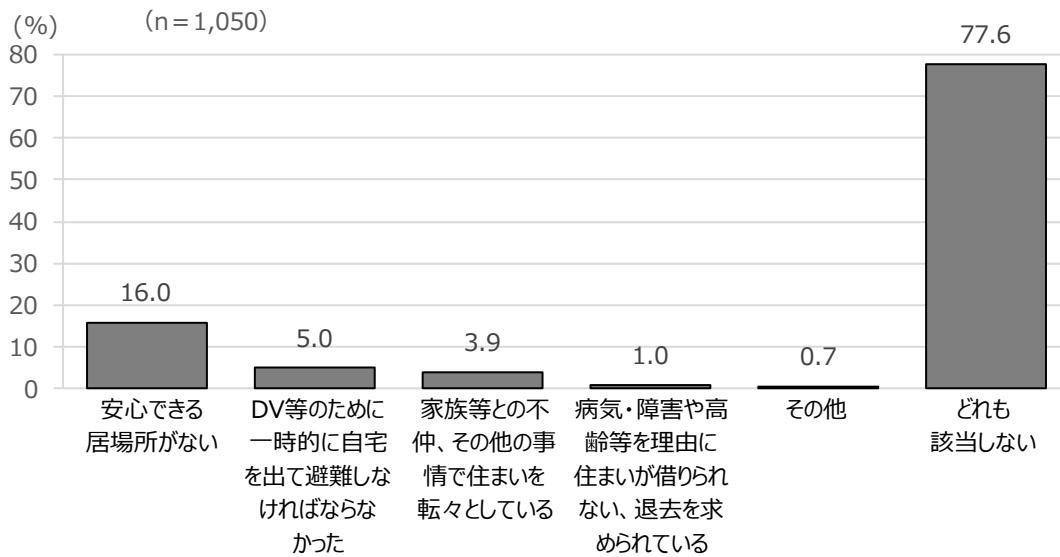
① 住まいや居場所に係る問題

住まいや居場所に係る問題で抱えたことがあるものでは、「安心できる居場所がない」(16.0%)の割合が最も高く、次いで「DV等のために一時的に自宅を出て避難しなければならなかった」(5.0%)となっている。

年齢別にみると、「安心できる居場所がない」の割合は50歳代以下でそれぞれ2割前後となっており、20歳代以下で2割強と高くなっている。「DV等のために一時的に自宅を出て避難しなければならなかった」の割合は30歳代で1割弱とやや高くなっている。

婚姻状況別にみると、「DV等のために一時的に自宅を出て避難しなければならなかった」の割合は離別者で高く、1割を超えている。

図表 - 58 【Q18】住まいや居場所に係る問題を抱えた経験 (複数回答)



図表 - 59 属性別 【Q18】住まいや居場所に係る問題を抱えた経験 (複数回答) (%)

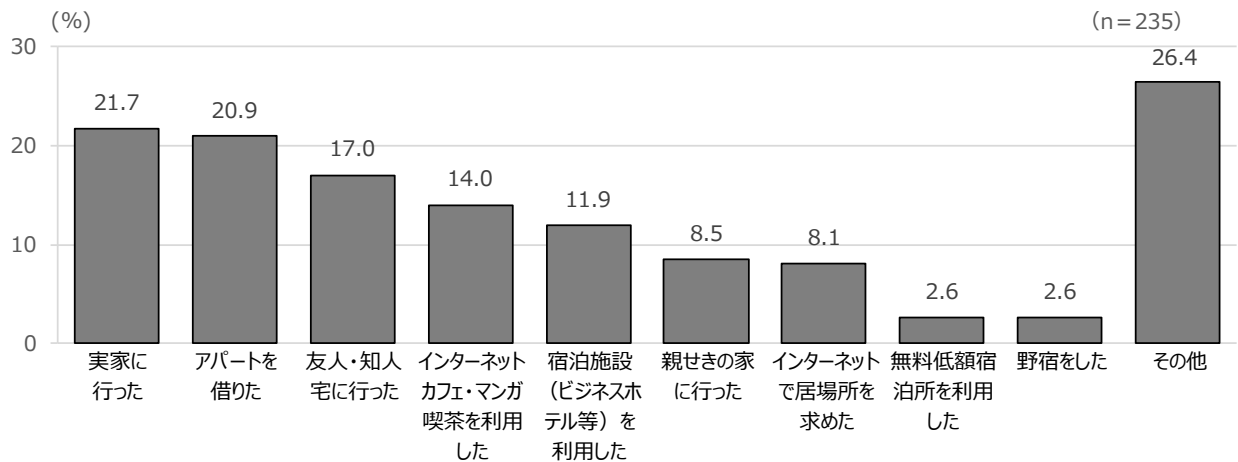
属性	調査数 (n)	安心できる居場所がない	DV等のために一時的に自宅を出て避難しなければならなかった	家族等との不仲、その他の事情で住まいを転々としている	病気・障害や高齢等を理由に住まいが借りられない、退去を求められている	その他	どれも該当しない	
全体	1,050	16.0	5.0	3.9	1.0	0.7	77.6	
年齢	20歳代以下	135	21.5	5.2	4.4	1.5	1.5	69.6
	30歳代	215	18.6	8.4	5.1	1.4	0.5	70.2
	40歳代	171	19.9	6.4	6.4	1.8	0.6	74.3
	50歳代	179	18.4	2.8	3.9	1.1	0.0	77.1
	60歳代	269	8.9	3.3	1.9	0.0	1.1	87.4
	70歳代以上	81	9.9	3.7	1.2	1.2	0.0	86.4
婚姻状況	既婚 (事実婚含む)	512	10.7	4.3	2.5	0.8	0.2	84.0
	離別	131	16.0	13.0	6.9	0.8	1.5	72.5
	死別	40	17.5	0.0	0.0	2.5	0.0	80.0
	未婚	367	23.2	3.8	5.2	1.4	1.1	70.3
家族構成	一人暮らし	224	22.8	5.8	6.3	2.2	0.4	70.5
	夫婦のみ	266	12.8	2.3	3.0	0.4	0.4	83.1
	二世帯世帯 (親と同居)	129	17.1	7.0	5.4	0.0	2.3	74.4
	二世帯世帯 (子と同居)	283	10.6	7.4	2.8	1.1	0.4	81.6
	その他の世帯	148	20.9	2.7	2.7	1.4	0.7	73.6

②住まいや居場所に係る問題を抱えたときの行き先

住まいや居場所に係る問題を抱えたことがある人（235人）に、そのときの行き先についてたずねたところ、「実家に行った」（21.7%）と「アパートを借りた」（20.9%）の割合がそれぞれ2割を超えて高く、次いで「友人・知人宅に行った」（17.0%）、「インターネットカフェ・マンガ喫茶を利用した」（14.0%）となっている。また、「その他」（26.4%）も3割弱を占めているが、自由記述による内容を見ると「何もしなかった・できなかった」や「我慢した」といった回答が大半であった。

年齢別にみると、「インターネットカフェ・マンガ喫茶を利用した」や「インターネットで居場所を求めた」の割合は40歳代で他に比べて高くなっている。

図表－60 【Q18-1】住まいや居場所に係る問題を抱えたときの行き先（複数回答）



図表－61 属性別 【Q18-1】住まいや居場所に係る問題を抱えたときの行き先（複数回答）

		調査数 (n)	実家に行った	アパートを借りた	友人・知人宅に行った	インターネットカフェ・マンガ喫茶を利用した	宿泊施設(ビジネスホテル等)を利用した	親せきの家に行った	インターネットで居場所を求めた	無料低額宿泊所を利用した	野宿をした	その他
全体		235	21.7	20.9	17.0	14.0	11.9	8.5	8.1	2.6	2.6	26.4
年齢	20歳代以下	41	17.1	17.1	22.0	14.6	4.9	12.2	9.8	4.9	0.0	24.4
	30歳代	64	32.8	20.3	15.6	17.2	9.4	9.4	10.9	4.7	1.6	23.4
	40歳代	44	13.6	13.6	13.6	22.7	15.9	2.3	13.6	2.3	4.5	18.2
	50歳代	41	17.1	24.4	14.6	4.9	17.1	2.4	2.4	0.0	0.0	41.5
	60歳代	34	23.5	29.4	17.6	11.8	11.8	17.6	0.0	0.0	2.9	32.4
70歳代以上	11	18.2	27.3	27.3	0.0	18.2	9.1	9.1	0.0	18.2	9.1	
婚姻状況	既婚(事実婚含む)	82	28.0	13.4	14.6	14.6	13.4	8.5	4.9	2.4	4.9	26.8
	離別	36	30.6	44.4	16.7	8.3	13.9	11.1	2.8	0.0	2.8	22.2
	死別	8	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0	37.5
	未婚	109	15.6	19.3	19.3	16.5	11.0	6.4	12.8	2.8	0.9	26.6
家族構成	一人暮らし	66	16.7	36.4	18.2	16.7	18.2	9.1	9.1	1.5	1.5	19.7
	夫婦のみ	45	26.7	13.3	20.0	2.2	17.8	11.1	4.4	2.2	6.7	24.4
	二世帯世帯(親と同居)	33	12.1	18.2	12.1	21.2	6.1	6.1	6.1	6.1	0.0	42.4
	二世帯世帯(子と同居)	52	32.7	17.3	9.6	15.4	5.8	9.6	7.7	3.8	3.8	26.9
	その他の世帯	39	17.9	10.3	25.6	15.4	7.7	5.1	12.8	0.0	0.0	25.6

9) その他の生活上の深刻な悩み・困りごとに係る問題

前述の Q11～18 で質問した内容以外で生活上の深刻な悩みや困りごとを抱えたことがあるか、自由記述方式でたずねたところ、370 人から、具体的な回答があった。

大きな分野としては概ね前述の 8 つの分野に網羅される内容が大半であるが、記載内容ごとに分類すると、父親や兄弟等の男性の家族からのモラハラや暴力をはじめとした「配偶者・パートナー以外の家族に関する問題」（44 件）、物価高騰による影響等による「生活が苦しい、経済的に不安」（41 件）、うつや精神障害をはじめとした「心身不調や健康面での不安・悩み」（40 件）、「配偶者・パートナーに関する問題」（36 件）等の回答が多く寄せられた。

図表－62 【Q19】その他の生活上の深刻な悩み・困りごとに係る問題を抱えた経験（自由記述）

分類	件数	備考
配偶者・パートナー以外の家族に関する問題がある	44	父親や兄弟等からのモラハラや暴力、家族の問題行動（アルコール依存症等）、家族との不仲 など
生活が苦しい、経済的に不安	41	物価高騰による影響 など
心身不調や健康面での不安・悩みがある	40	うつや精神障害 など
配偶者・パートナーに関する問題がある	36	モラハラや暴力、不仲・離婚問題、問題行動（浪費等） など
生きづらさを感じる	29	生きている価値が見いだせない、漠然と不安 など
介護・看護や子育て負担が大きい、家族の心身不調がある	26	配偶者等以外の家族の精神障害 など
将来への不安がある	22	将来の健康や介護、収入、住まいの確保 など
地域等での人間関係の問題や近隣トラブルがある	20	
心身不調で就労が難しい	16	
仕事に関する悩みがある	16	就職・転職が難しい、仕事の収入が低い・不安定
孤独を感じる	16	友人や相談相手がいない など
心身不調で家事等の日常生活に影響が出ている	12	
子どもに関する悩みがある	10	子どもの学力や進学、就職や仕事、病気 など
自分や家族の借金がある	9	
仕事や職場の人間関係上の悩みがある（パワハラ等）	9	
住まいの確保に関する不安がある	7	
家族と離れて自立したいができない	6	
コロナ禍で自分や家族に影響がでている	4	自分や家族の仕事や健康、家族関係への影響 等
その他	27	

※複数の事項を記入している人がいるため、回答件数の合計は自由意見記入者数を超えている。

7. 抱える困難への対応について

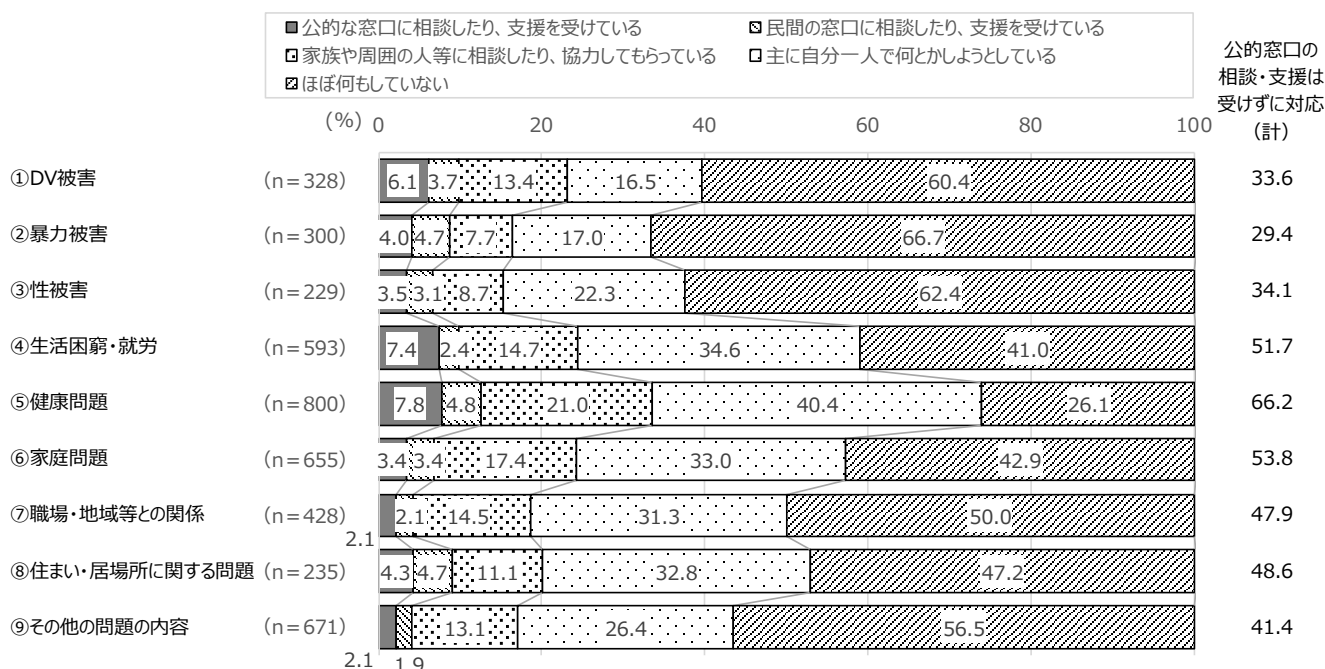
1) 困難への対応状況

Q11～19の各困難事項に該当した人に、その困難への対応状況についてたずねたところ、⑤健康問題該当者以外は「ほぼ何もしていない」の割合が最も高く、それぞれ4～6割強を占めている。

「公的窓口に相談したり、支援を受けている」の割合は、④生活困窮・就労問題と⑤健康問題の該当者の7%台をはじめ、いずれも1割未満となっている。「民間の窓口に相談したり、支援を受けている」の割合はいずれも5%未満であった。

また、公的窓口の相談・支援は受けずに対応している人の割合は、⑤健康問題該当者（66.2%）で最も高く、次いで⑥家庭問題該当者（53.8%）、④生活困窮・就労問題該当者（51.7%）となっている。

図表－63 【Q20①～⑨】困難への対応状況



※現在は問題が解決している場合は解決前の状況について回答。複数の対応方法に該当する場合は最も頻度の高い対応方法を1つだけ選択。

※公的窓口の相談・支援は受けずに対応(計)：「民間の窓口に相談したり、支援を受けている」「家族や周囲の人等に相談したり、協力してもらっている」「主に自分一人で何とかしようとしている」の合計値。

※上記のグラフ中の①～⑨の表記は、下表の内容を省略したもの（以降、同様）。

《①～⑨ 凡例》

表記	内容	該当問
① DV被害	配偶者・パートナー・恋人から、次のような暴力（DV・デートDV）を受けたことがある	Q11
② 暴力被害	配偶者・パートナー以外の家族・親せきから、次のような暴力を受けたことがある	Q12
③ 性被害	性的な被害や問題を抱えたことがある	Q13
④ 生活困窮・就労	経済的な困りごと（仕事のことを含む）を抱えたことがある	Q14
⑤ 健康問題	健康に関わる不安や問題を抱えたことがある	Q15
⑥ 家庭問題	家庭に係る問題を抱えたことがある	Q16
⑦ 職場・地域等との関係	職場や学校、地域での人間関係等に係る問題を抱えたことがある	Q17
⑧ 住まい・居場所に関する問題	住まいや居場所に係る問題を抱えたことがある	Q18
⑨ その他の問題の内容	上記以外	Q19

公的窓口の相談・支援は受けずに対応している人の割合を、年齢別にみると、①DV被害や②暴力被害、③性被害、④生活困窮・就労、⑦職場・地域関係、⑧住まい・居場所問題では、30歳代以下で他の年代に比べて割合が高くなっている。

図表－64 属性別【Q20①～⑨】困難への対応状況
《公的窓口の相談・支援は受けずに対応（計）の割合》

		① DV被害		② 暴力被害		③ 性被害		④ 生活困窮・就労		⑤ 健康問題	
		調査数 (n)	回答比率 (%)	調査数 (n)	回答比率 (%)	調査数 (n)	回答比率 (%)	調査数 (n)	回答比率 (%)	調査数 (n)	回答比率 (%)
全体		328	33.6	300	29.4	229	34.1	593	51.7	800	66.2
年齢	20歳代以下	41	46.3	42	35.7	40	52.5	73	56.1	96	62.5
	30歳代	62	46.8	62	35.4	61	45.9	136	58.0	163	60.7
	40歳代	52	34.5	54	29.7	36	27.8	100	51.0	123	57.7
	50歳代	51	27.5	55	23.7	39	28.1	119	42.0	134	62.7
	60歳代	92	25.0	69	24.6	45	15.5	127	52.8	217	74.1
	70歳代以上	30	23.3	18	27.8	8	12.5	38	47.4	67	80.6
婚姻状況	既婚（事実婚含む）	182	31.3	132	31.8	100	27.0	265	49.0	371	67.7
	離別	71	32.4	37	29.7	32	34.4	88	55.7	107	64.5
	死別	11	45.5	15	13.3	8	12.5	26	53.8	32	68.8
	未婚	64	39.1	116	28.4	89	43.8	214	52.7	290	64.6
家族構成	一人暮らし	57	28.1	69	20.2	53	32.1	138	55.8	176	65.4
	夫婦のみ	75	29.3	70	30.0	55	29.1	137	43.0	199	70.9
	二世帯世帯（親と同居）	21	52.3	41	36.6	21	71.4	73	46.5	108	63.9
	二世帯世帯（子と同居）	129	34.9	75	36.0	58	31.0	162	60.6	202	65.4
	その他の世帯	46	34.7	45	24.5	42	28.6	83	45.8	115	62.6
子育て世帯	子育て世帯（全体）	75	41.3	51	41.2	39	35.9	106	54.7	100	50.0
	うち、母子世帯	15	26.7	9	22.2	7	42.9	20	50.0	13	53.9

		⑥ 家庭問題		⑦ 職場・地域等との関係		⑧ 住まい・居場所に関する問題		⑨ その他の問題の内容	
		調査数 (n)	回答比率 (%)	調査数 (n)	回答比率 (%)	調査数 (n)	回答比率 (%)	調査数 (n)	回答比率 (%)
全体		655	53.8	428	47.9	235	48.6	671	41.4
年齢	20歳代以下	73	49.3	68	61.7	41	51.2	79	34.1
	30歳代	144	56.3	108	55.5	64	56.2	117	44.4
	40歳代	101	47.6	74	32.5	44	38.7	112	33.9
	50歳代	109	50.5	62	43.5	41	41.4	117	38.5
	60歳代	180	57.2	95	46.3	34	52.9	181	46.5
	70歳代以上	48	60.5	21	38.1	11	45.5	65	49.2
婚姻状況	既婚（事実婚含む）	346	57.5	185	46.5	82	55.0	345	38.0
	離別	92	57.6	53	50.9	36	50.1	95	51.6
	死別	21	61.9	16	18.8	8	37.5	27	55.5
	未婚	196	44.4	174	51.1	109	44.0	204	40.6
家族構成	一人暮らし	122	45.9	105	43.8	66	45.4	139	46.7
	夫婦のみ	176	59.7	111	52.2	45	48.9	169	43.8
	二世帯世帯（親と同居）	74	44.7	55	52.7	33	39.4	74	43.3
	二世帯世帯（子と同居）	192	59.4	95	43.2	52	59.6	192	36.4
	その他の世帯	91	48.4	62	50.0	39	46.2	97	38.1
子育て世帯	子育て世帯（全体）	112	57.2	56	44.7	37	56.7	108	34.3
	うち、母子世帯	19	57.9	9	55.5	7	28.6	17	41.1

2) 公的な窓口の相談・支援を受けていない理由

公的な窓口の相談・支援を受けていない人に、その理由をたずねた。

各困難事項該当者ごとの理由として最も割合が高いものは、①DV被害（配偶者・パートナー等からの暴力問題）、②暴力被害（その他の家族等からの暴力問題）、⑧住まい・居場所問題の該当者では「どこに相談したらよいかわからないから」、③性被害や⑨その他の問題の該当者では「どこに相談したらよいかわからないから」と「公的な窓口で解決できるとは思わないから」、④生活困窮・就労問題該当者では「必要だが我慢できる程度だから」、⑤健康問題該当者では「必要ではないから」、⑥家庭問題該当者では「公的な窓口で解決できるとは思わないから」、⑦職場・家庭・地域等での人間関係問題該当者では「どこに相談したらよいかわからないから」と「必要ではないから」となっている。

また、「支援を受けるための手続きが面倒だから」や「恥ずかしいと思うから」の割合は、①DV被害（配偶者・パートナー等からの暴力）や③性被害の該当者で他に比べて高くなっている。

図表－65 【Q21①～⑨】公的な窓口の相談・支援を受けていない理由（複数回答）

(%)

	調査数 (n)	どこに相談 したらよいか わからない から	支援を受け るための手 続が面倒だ から	必要ではな いから	必要だが、 我慢できる 程度だから	上手く伝え ることができ ないから	恥ずかしい と思うから	以前相談し たが、その 際に嫌な思 いをしたから	以前相談し たが、断ら れたから (支援対 象外の場合 を含む)	公的な窓 口で解決で きると思わ ないから	その他
①DV被害	110	25.5	14.5	20.9	20.9	9.1	10.0	7.3	9.1	22.7	6.4
②暴力被害	88	29.5	10.2	14.8	15.9	10.2	5.7	5.7	5.7	22.7	6.8
③性被害	78	21.8	14.1	14.1	17.9	3.8	11.5	9.0	3.8	21.8	11.5
④生活困窮・就労	306	23.9	9.5	17.3	26.1	5.2	7.8	3.6	4.9	18.6	2.3
⑤健康問題	529	18.1	7.6	26.5	23.8	7.2	1.9	2.5	1.9	22.7	3.6
⑥家庭問題	352	23.3	8.2	21.0	20.2	6.5	5.1	2.8	2.6	24.1	3.1
⑦職場・地域等との関係	205	22.0	10.2	22.0	19.0	8.3	4.9	2.9	0.5	21.0	2.4
⑧住まい・居場所に関する問題	114	31.6	8.8	16.7	19.3	8.8	2.6	6.1	2.6	17.5	1.8
⑨その他の問題の内容	278	24.1	5.0	23.7	18.7	4.7	4.0	2.5	1.8	24.1	2.2

3) 相談・支援窓口に見る形態

公的な窓口の相談・支援を受けていない人に、どのような窓口なら相談しようと思うかたずねたところ、全ての困難事項該当者に共通して「個人情報を出さなくてよい窓口」の割合が最も高く、③性被害該当者（52.6%）をはじめ、それぞれ3～5割前後となっている。このほか、「周りに知られないで相談できる窓口」や「継続して相談を続けられる窓口」の割合が、全項目を通じて2～3割台と高くなっている。

また、「24時間相談できる窓口」の割合は①DV被害（配偶者・パートナー等からの暴力問題）、②暴力被害（その他の家族等からの暴力問題）、③性被害の該当者で、「自分の希望をよく聞いてくれる窓口」の割合は④生活困窮・就労問題の該当者で、「法律や心理学などの専門家に相談できる窓口」の割合は①DV被害（配偶者・パートナー等からの暴力問題）の該当者で他に比べて高くなっている。

図表－66 【Q22①～⑨】相談・支援窓口に見る形態（複数回答）

(%)

	調査数 (n)	24時間相談できる 窓口	個人情報を出さなくて よい窓口	周りに知られないで相談 できる窓口	継続して相談を続けら れる窓口	同じ悩みをもつ人とおし が話したり、相談できる 場所	何が理由がなくても気 軽に立ち寄れることがで きる場所	自分の希望をよく聞 いてくれる窓口	同年代の人が話を聞 いてくれる窓口	法律や心理学などの 専門家に相談できる 窓口	自分の困りに気づ いて声をかけてくれる人	その他
①DV被害	110	26.4	38.2	32.7	30.9	14.5	20.0	19.1	4.5	26.4	19.1	1.8
②暴力被害	88	28.4	37.5	31.8	30.7	12.5	13.6	21.6	3.4	18.2	17.0	4.5
③性被害	78	26.9	52.6	34.6	29.5	6.4	11.5	16.7	2.6	21.8	14.1	3.8
④生活困窮・就労	306	19.6	36.6	31.0	26.8	11.4	18.3	23.9	5.6	19.6	15.4	2.3
⑤健康問題	529	18.7	28.0	21.0	26.8	15.5	24.0	18.1	6.2	13.0	17.6	4.9
⑥家庭問題	352	19.9	39.8	29.3	26.7	14.8	18.8	17.3	6.0	21.0	13.9	2.6
⑦職場・地域等との関係	205	20.5	36.1	28.3	22.9	16.6	20.5	16.6	8.3	15.6	17.1	1.5
⑧住まい・居場所に関する問題	114	22.8	35.1	22.8	23.7	11.4	15.8	19.3	3.5	18.4	17.5	2.6
⑨その他の問題の内容	278	18.0	33.8	23.4	21.9	13.7	18.7	15.8	6.1	20.1	16.2	2.5

8. 困難な問題を抱える女性に対する相談・支援について

1) 相談窓口の認知・利用状況

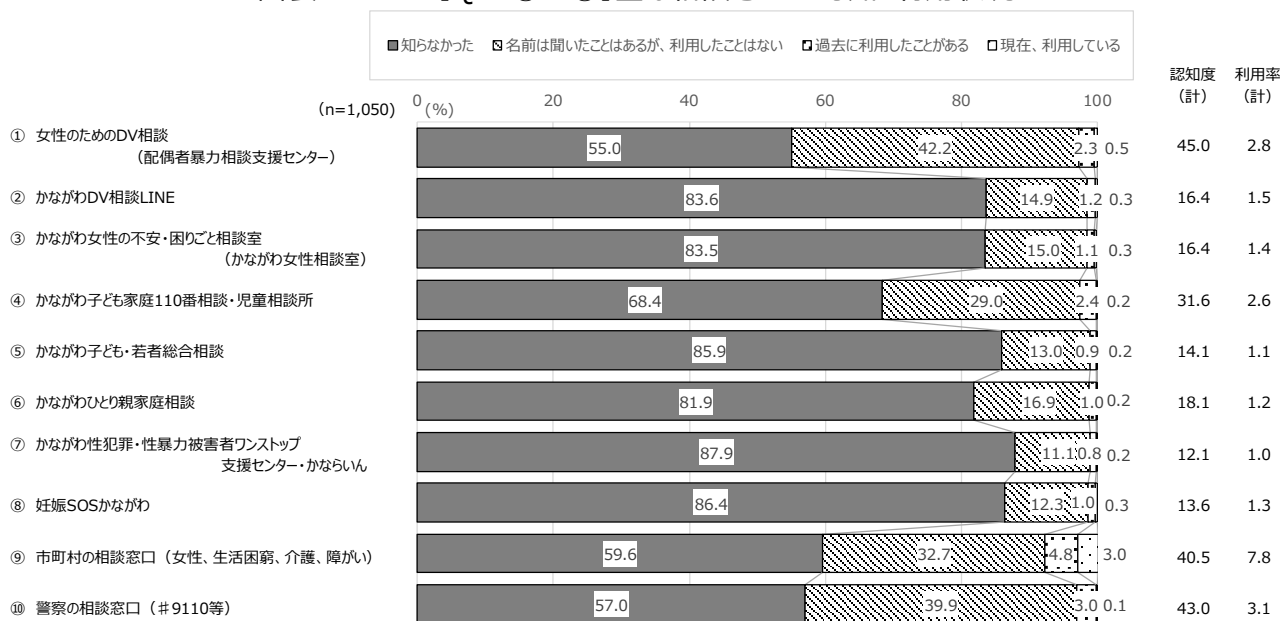
① 相談窓口の認知・利用状況

困難な問題を抱える女性の主な相談窓口について、認知・利用状況をたずねたところ、全ての相談窓口で「知らなかった」の割合が5割を超えており、⑦かながわ性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センターをはじめとした6つの相談窓口では「知らなかった」が8割を超えている。

認知度（「知らなかった」以外の合計）は、①女性のためのDV相談（配偶者暴力相談支援センター）（45.0%）で最も高く、次いで⑩警察の相談窓口（#9110等）（43.0%）、⑨市町村の相談窓口（女性、生活困窮、介護、障がい）（40.5%）、④かながわ子ども家庭110番相談・児童相談所（31.6%）となっている。その他の窓口の認知度は2割以下であった。

過去の利用経験も含めた利用率（「過去に利用したことがある」「現在、利用している」の合計）は、⑨市町村の相談窓口（女性、生活困窮、介護、障がい）7.8%、⑩警察の相談窓口（#9110等）3.1%であり、その他の窓口はいずれも3%未満であった。

図表－67 【Q23①～⑩】主な相談窓口の認知・利用状況



※認知度（計）：「知らなかった」以外の合計、利用率（計）：「過去に利用したことがある」「現在、利用している」の合計

各相談窓口の認知度を年齢別にみると、全般的に70歳代以上で高くなっている。①～⑧の窓口については概ね40・50歳代で、⑨市町村の相談窓口・⑩警察の相談窓口については概ね30・40歳代で他の年代に比べて認知度が低くなっている。⑧妊娠SOS かながわの認知度は20歳代以下で他の年代に比べて高く、2割を超えている。

居住地区別にみると、①～⑧の各相談窓口の認知度は、全般的に湘南と県西で他の地域に比べて高くなっている。⑨市町村の相談窓口は県西と横須賀三浦で高く、⑩警察の相談窓口も横須賀三浦で高く、5割を超えている。

困難状況（抱える困難の数）別にみると、全般的に抱える困難が4種類以上の層で他に比べて認知度が高くなっている。

図表－68 属性別【Q23①～⑩】主な相談窓口の認知度

(%)

	調査数 (n)	①女性のた めのDV相談 (配偶者暴 力相談支援 センター)	②かなが わDV相談 LINE	③かなが わ女性の不 安・困りご と相談室(か ながわ女性 相談室)	④かなが わ子ども家 庭110番相 談・児童相 談所	⑤かなが わ子ども・若 者総合相談	⑥かなが わひとり親 家庭相談	かながわ性 犯罪・性暴 力被害者ワ ンストップ支 援センター・ かならいん	⑧妊娠SOS かながわ	⑨市町村の 相談窓口 (女性、生 活困窮、介 護、障がい)	⑩警察の相 談窓口(＃ 9110等)	
全体	1,050	45.0	16.4	16.4	31.6	14.1	18.1	12.1	13.6	40.5	43.0	
年齢	20歳代以下	135	43.0	20.0	21.5	32.6	18.5	16.3	17.0	23.7	31.8	43.0
	30歳代	215	42.8	19.5	18.6	31.6	15.4	18.6	13.5	15.8	36.7	39.5
	40歳代	171	37.4	10.0	10.6	21.1	6.4	9.9	2.9	7.6	28.1	33.9
	50歳代	179	40.8	13.4	13.4	26.3	12.3	17.3	11.7	14.5	40.3	43.5
	60歳代	269	49.1	17.2	15.6	36.5	13.8	19.7	11.9	10.4	48.0	45.7
70歳代以上	81	65.4	19.8	24.7	48.1	24.7	33.3	21.0	12.3	65.5	60.5	
婚姻 状況	既婚(事実婚含む)	512	44.6	16.3	15.9	33.4	13.7	18.0	11.0	11.4	42.2	44.1
	離別	131	53.5	20.6	19.1	34.3	14.5	23.7	15.3	14.5	49.7	42.8
	死別	40	57.5	17.5	20.0	42.5	17.5	27.5	15.0	15.0	55.0	42.5
	未婚	367	41.1	15.0	16.1	27.0	14.1	15.3	12.2	16.4	32.9	41.4
家族 構成	一人暮らし	224	46.0	14.2	13.8	26.7	10.6	14.7	11.1	13.8	38.8	41.0
	夫婦のみ	266	41.4	11.3	12.1	27.1	10.5	13.2	9.0	6.8	42.9	45.1
	二世代世帯(親と同居)	129	45.7	18.7	21.0	30.2	17.9	21.8	15.5	15.5	38.1	41.1
	二世代世帯(子と同居)	283	47.3	19.1	18.5	38.9	15.9	22.0	10.6	14.2	41.3	41.0
その他の世帯	148	44.6	21.6	21.0	34.5	19.0	21.6	19.0	23.0	38.6	47.3	
子育て 世帯	子育て世帯(全体)	158	44.9	22.1	22.2	42.4	15.8	20.2	9.5	14.5	37.9	39.2
	うち、母子世帯	24	45.8	12.5	20.8	41.7	8.3	20.9	12.5	8.3	54.1	37.5
居住 地域	横浜	443	42.3	13.6	13.8	31.6	12.6	19.9	10.6	11.7	40.4	44.4
	川崎	179	47.5	15.6	14.0	31.9	13.9	14.6	11.7	10.1	40.3	38.6
	相模原	89	40.4	13.5	16.9	22.5	14.6	13.5	11.2	14.6	34.8	40.4
	横須賀三浦	51	45.1	17.6	15.7	31.4	13.7	15.7	11.8	15.7	51.0	56.9
	県央	112	45.6	17.9	16.1	30.4	13.4	16.1	12.5	11.6	34.9	38.4
	湘南 県西	137 39	50.3 53.8	24.8 23.1	26.3 25.7	35.8 41.1	18.9 15.4	19.7 28.2	16.1 17.9	21.2 25.6	39.5 59.0	43.1 46.2
抱える 困難数	1種類のみ	164	40.8	16.5	15.8	32.3	15.2	17.1	12.2	12.8	32.9	42.7
	2～3種類	448	40.8	12.7	12.4	30.6	12.4	17.2	9.8	11.3	38.6	41.5
	4種類以上	438	50.7	20.2	20.8	32.4	15.3	19.4	14.4	16.3	45.0	44.5

各相談窓口の利用率を年齢別にみると、①～⑧の各相談窓口では30歳代以下で、⑨市町村の相談窓口と⑩警察の相談窓口では60歳代以上で他に比べて利用率が高くなっている。

居住地区別にみると、⑨市町村の相談窓口の利用率は県西と県央で1割前後と、他の地域に比べて高くなっている。

困難状況（抱える困難の数）別にみると、一般的に抱える困難が4種類以上の層で他に比べて利用率が高くなっている。

図表－69 属性別【Q23①～⑩】主な相談窓口の利用率

		調査数 (n)	①女性のた めのDV相談 (配偶者暴 力相談支援 センター)	②かながわ DV相談 LINE	③かながわ 女性の不 安・困りご と相談室(か ながわ女性 相談室)	④かながわ 子ども家庭 110番相 談・児童相 談所	⑤かながわ 子ども・若者 総合相談	⑥かながわ ひとり親家庭相 談	かながわ性 犯罪・性暴 力被害者ワ ンストップ支 援センター・ かならいん	⑧妊娠SOS かながわ	⑨市町村の 相談窓口 (女性、生 活困窮、介 護、障がい)	⑩警察の相 談窓口(＃ 9110等)
全 体		1,050	2.8	1.5	1.4	2.6	1.1	1.2	1.0	1.3	7.8	3.1
年 齢	20歳代以下	135	5.2	3.7	3.7	6.7	4.4	3.7	2.2	2.2	3.7	3.0
	30歳代	215	4.2	3.2	1.9	4.2	1.4	2.3	1.4	2.8	7.9	2.8
	40歳代	171	2.3	0.6	1.2	1.8	0.0	0.0	0.6	0.6	7.6	1.2
	50歳代	179	1.7	0.6	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	7.9	2.2
	60歳代	269	1.1	0.8	0.7	1.9	0.4	0.7	0.7	1.1	9.3	3.7
	70歳代以上	81	3.7	0.0	2.5	0.0	1.2	1.2	1.2	1.2	8.7	7.4
婚 姻 状 況	既婚(事実婚含む)	512	2.4	2.2	1.6	2.7	1.0	1.4	1.2	1.4	6.3	2.5
	離別	131	6.9	0.8	0.8	1.5	0.0	0.8	0.0	0.0	15.3	7.7
	死別	40	2.5	0.0	5.0	0.0	0.0	2.5	0.0	2.5	12.5	5.0
	未婚	367	1.9	1.1	1.1	3.0	1.6	1.1	1.0	1.7	6.5	1.9
家 族 構 成	一人暮らし	224	2.7	1.3	1.7	1.7	0.8	0.4	0.4	1.3	13.4	4.4
	夫婦のみ	266	0.4	0.8	0.4	0.4	0.0	0.4	0.4	0.4	3.4	1.9
	二世世代世帯(親と同居)	129	3.1	1.6	0.8	2.3	0.8	1.6	0.8	0.8	5.5	1.6
	二世世代世帯(子と同居)	283	5.3	3.2	2.2	4.6	1.8	2.9	1.4	2.2	8.8	4.6
	その他の世帯	148	2.0	0.0	2.1	4.1	2.1	0.7	2.1	2.1	6.8	1.4
子育 て 世帯	子育て世帯(全体)	158	6.3	4.4	4.5	7.6	2.5	3.1	1.9	2.5	12.0	3.8
	うち、母子世帯	24	8.3	0.0	0.0	4.2	0.0	4.2	0.0	0.0	16.6	8.3
居 住 地 域	横浜	443	3.2	1.6	0.9	2.5	0.9	1.4	0.7	1.3	7.7	2.9
	川崎	179	2.8	2.8	1.7	2.3	2.2	1.2	2.2	1.7	7.3	3.4
	相模原	89	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	2.2
	横須賀三浦	51	0.0	0.0	0.0	3.9	0.0	0.0	0.0	2.0	5.9	2.0
	県央	112	2.7	0.0	2.7	2.7	0.9	1.8	0.9	1.8	9.0	2.7
	湘南	137	3.6	2.9	2.9	4.4	0.7	2.2	1.5	1.5	8.1	4.4
	県西	39	0.0	0.0	2.6	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	10.3	2.6
抱える 困難数	1種類のみ	164	0.6	0.6	1.2	0.6	0.6	0.0	0.0	0.6	1.2	0.6
	2～3種類	448	1.1	0.9	0.6	1.1	0.6	0.9	0.4	0.4	6.2	1.3
	4種類以上	438	5.3	2.6	2.3	4.8	1.6	2.0	1.8	2.6	11.7	5.7

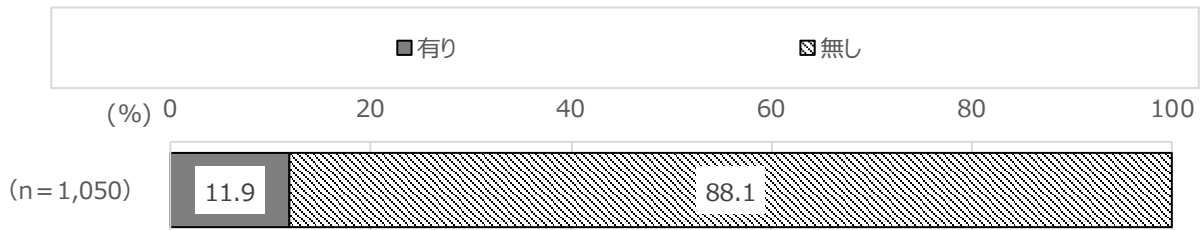
②支援へのつながり状況

前述の10種の相談窓口のうち、1つ以上の窓口で利用経験がある人（「過去に利用したことがある」「現在、利用している」）を『支援へのつながり有り』とすると、その割合は回答者全体の1割強（11.9%）となっている。

支援へのつながり有りの割合は、年齢別では30歳代と70歳代以上で、婚姻状況別では離別・死別で、世帯年収別では年収100万円台で高くなっている。

困難状況（抱える困難の数）別にみると、抱える困難の数が多いほど支援へつながっている割合も高く、4種類以上では2割を占めている。

図表－70 【Q23①～⑩】支援へのつながり状況



図表－71 属性別【Q23①～⑩】支援へのつながり状況

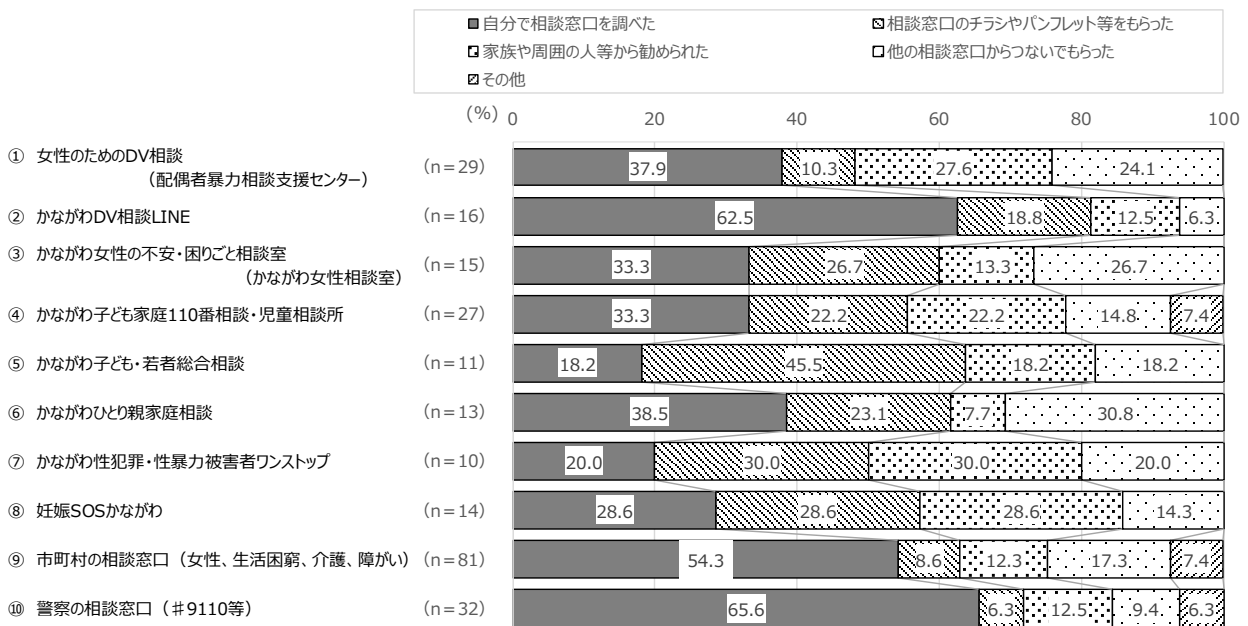
		調査数 (n)	割合 (%)	
			有り	無し
全体		1,050	11.9	88.1
年齢	20歳代以下	135	9.6	90.4
	30歳代	215	16.3	83.7
	40歳代	171	9.4	90.6
	50歳代	179	10.1	89.9
	60歳代	269	11.5	88.5
	70歳代以上	81	14.8	85.2
婚姻状況	既婚（事実婚含む）	512	10.2	89.8
	離別	131	20.6	79.4
	死別	40	20.0	80.0
	未婚	367	10.4	89.6
家族構成	一人暮らし	224	17.4	82.6
	夫婦のみ	266	6.0	94.0
	二世帯世帯（親と同居）	129	9.3	90.7
	二世帯世帯（子と同居）	283	15.2	84.8
	その他の世帯	148	10.1	89.9
子育て世帯	子育て世帯（全体）	158	20.3	79.7
	うち、母子世帯	24	33.3	66.7
世帯年収（全体）	100万円未満	77	16.9	83.1
	100～199万円	95	27.4	72.6
	200～299万円	113	9.7	90.3
	300～399万円	128	15.6	84.4
	400～499万円	79	12.7	87.3
	500～699万円	143	5.6	94.4
	700～999万円	126	11.9	88.1
	1,000～1,499万円	52	7.7	92.3
	1,500万円以上	18	5.6	94.4
	わからない	219	7.8	92.2
抱える困難数	1種類のみ	164	3.7	96.3
	2～3種類	448	7.8	92.2
	4種類以上	438	19.2	80.8

③相談窓口を利用したきっかけ

相談窓口の利用者（「過去に利用したことがある」「現在、利用している」の合計）に、相談窓口を利用したきっかけをたずねた。

相談窓口利用者数は、⑨市町村の相談窓口（女性、生活困窮、介護、障がい）[81人]以外はいずれも30人台以下と少ないため、あくまで参考として大まかな傾向を見るに留まるが、全般的に「自分で相談窓口を調べた」の割合が高く、⑩警察の相談窓口（#9110等）、②かながわDV相談LINE、⑨市町村の相談窓口（女性、生活困窮、介護、障がい）では5割を超えている。

図表－72 【Q24①～⑩】相談窓口を利用したきっかけ



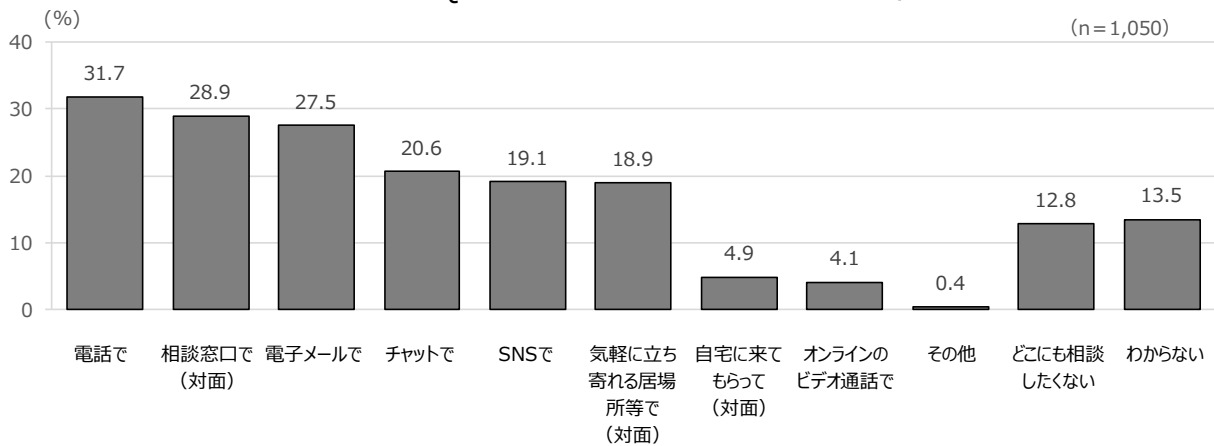
2) 希望する相談方法

今後、相談窓口（民間含む）に相談するとしたらどのような形で相談したいか、希望する相談方法をたずねたところ、「電話で」（31.7%）の割合が最も高く、次いで「相談窓口で（対面）」（28.9%）、「電子メールで」（27.5%）となっている。

年齢別にみると、「SNSで」や「チャットで」の割合は年齢が若いほど高く、30歳代で3割強、20歳代以下で4割前後と高くなっている。「電子メールで」の割合は30・40歳代で3割強と高い。一方、「電話で」や「相談窓口で（対面）」の割合は年齢が高いほど高く、70歳代以上で4割を超えている。また、「気軽に立ち寄れる居場所等で（対面）」の割合は40歳代以下に比べて50歳代以上で高く、2割を超えている。

困難状況（抱える困難の数）別にみると、4種類以上の多数の困難を抱える層では3種類以下の層に比べて一般的に割合が高くなっており、特に「気軽に立ち寄れる居場所等で（対面）」の割合が2割強と高くなっている。

図表－73 【Q25】希望する相談方法（複数回答）



図表－74 属性別【Q25】希望する相談方法（複数回答）

		調査数 (n)	電話で	相談窓口で (対面)	電子メールで	チャットで	SNSで	気軽に立ち寄れる居場所等で (対面)	自宅に来てもらって (対面)	オンラインのビデオ通話で	その他	どこにも相談したくない	わからない
全体		1,050	31.7	28.9	27.5	20.6	19.1	18.9	4.9	4.1	0.4	12.8	13.5
年齢	20歳代以下	135	25.2	17.0	23.7	42.2	38.5	12.6	5.2	5.9	0.7	18.5	5.2
	30歳代	215	25.1	24.7	33.0	34.4	30.7	17.2	10.2	4.7	0.0	11.6	10.7
	40歳代	171	26.9	22.8	33.9	19.3	25.1	12.9	1.8	4.1	0.0	12.9	17.5
	50歳代	179	34.6	26.3	25.7	14.5	12.3	23.5	3.4	4.5	0.0	15.1	15.6
	60歳代	269	36.4	38.7	24.2	8.2	5.9	21.9	3.3	3.0	1.1	11.2	16.7
	70歳代以上	81	48.1	45.7	21.0	4.9	2.5	25.9	4.9	2.5	0.0	6.2	11.1
婚姻状況	既婚（事実婚含む）	512	34.2	29.7	24.8	18.4	18.9	19.5	5.7	5.1	0.4	12.1	13.7
	離別	131	37.4	36.6	26.0	12.2	9.9	17.6	6.1	3.1	0.8	8.4	13.7
	死別	40	47.5	42.5	30.0	7.5	0.0	27.5	2.5	0.0	0.0	10.0	15.0
	未婚	367	24.5	23.4	31.6	28.1	24.8	17.4	3.5	3.5	0.3	15.5	13.1
家族構成	一人暮らし	224	31.7	31.3	29.9	22.8	15.2	17.9	4.0	3.1	0.4	10.7	13.8
	夫婦のみ	266	32.7	32.0	28.9	23.7	20.7	21.8	4.9	4.9	0.8	10.5	12.4
	二世帯世帯（親と同居）	129	20.9	21.7	28.7	21.7	26.4	20.9	2.3	1.6	0.8	14.7	20.2
	二世帯世帯（子と同居）	283	36.7	28.3	23.7	13.8	18.0	19.1	7.4	3.9	0.0	13.1	13.1
	その他の世帯	148	29.7	27.0	27.7	23.6	18.2	12.8	3.4	6.8	0.0	17.6	10.1
子育て世帯	子育て世帯（全体）	158	36.1	21.5	24.1	20.3	28.5	17.7	10.1	5.7	0.0	15.2	9.5
	うち、母子世帯	24	54.2	25.0	25.0	20.8	25.0	16.7	12.5	4.2	0.0	4.2	8.3
抱える困難数	1種類のみ	164	29.3	25.6	22.6	20.7	17.1	13.4	3.7	1.8	0.0	15.2	18.3
	2～3種類	448	29.0	26.3	25.7	16.5	16.3	14.5	3.1	3.8	0.0	16.5	14.3
	4種類以上	438	35.4	32.6	31.3	24.7	22.8	25.3	7.1	5.3	0.9	8.0	11.0

3) 困難を解決するために必要な環境・支援

回答者自身が抱える困難を解決するためにどのような環境や支援があるとよいと思うかたずねた（既に解決済みの場合は解決前の状況として回答）。

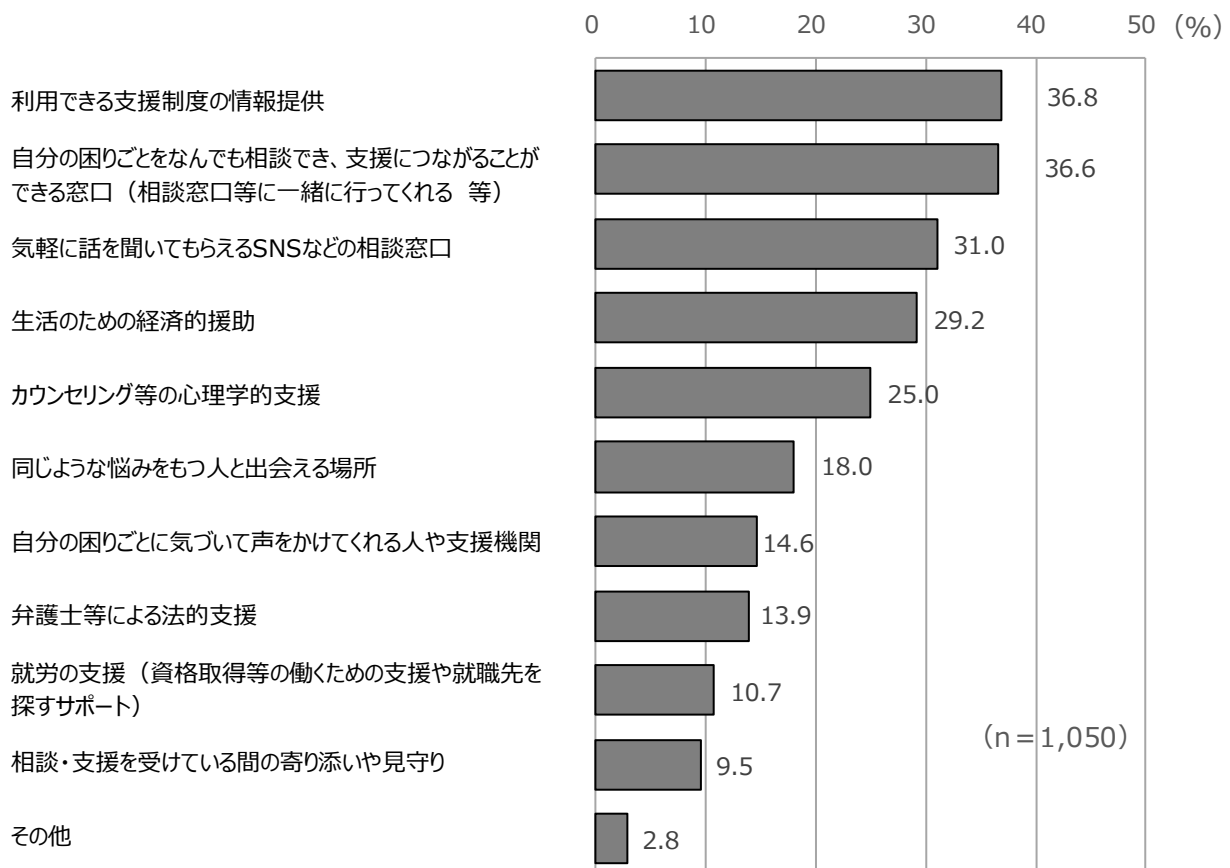
「利用できる支援制度の情報提供」（36.8%）と「自分の困りごとをなんでも相談でき、支援につながるができる窓口」（36.6%）の割合がそれぞれ4割弱と高く、次いで「気軽に話を聞いてもらえるSNSなどの相談窓口」（31.0%）、「生活のための経済的援助」（29.2%）、「カウンセリング等の心理学的支援」（25.0%）となっている。

年齢別にみると、「気軽に話を聞いてもらえるSNSなどの相談窓口」や「自分の困りごとに気づいて声をかけてくれる人や支援機関」の割合は年齢が若いほど高く、20歳代以下で他に比べて顕著に高い。一方、「利用できる支援制度の情報提供」や「弁護士等による法的支援」の割合は年齢が高いほど高くなっている。また、「自分の困りごとをなんでも相談でき、支援につながるができる窓口」や「相談・支援を受けている間の寄り添いや見守り」は70歳代で他に比べて顕著に高くなっている。

世帯年収別にみると、「生活のための経済的援助」の割合は世帯年収が低いほど概ね高く、100～200万円台の層で4割を超えている。

困難状況（抱える困難の数）別にみると、「生活のための経済的援助」や「就労の支援」、「弁護士等による法的支援」の割合は、抱える困難の種類が多いほど高くなっている。

図表－75 【Q26】困難を解決するために必要な環境・支援（複数回答3つまで）



図表－76 属性別【Q26】困難を解決するために必要な環境・支援（複数回答3つまで）

(%)

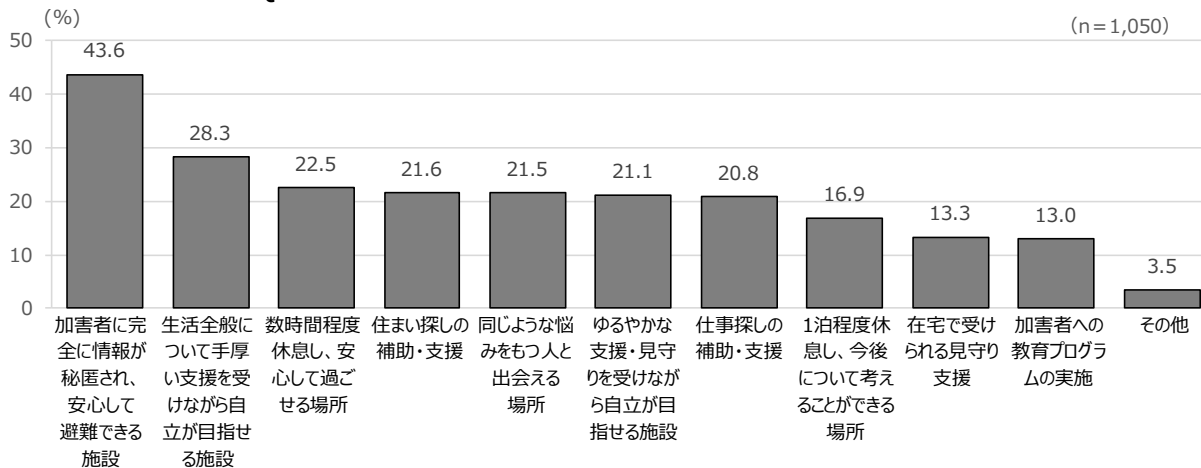
	調査数 (n)	利用できる 支援制度 の情報提 供	自分の困り ごとをなんでも相談で き、支援に つながること ができる窓 口（相談 窓口等に 一緒に行っ てくれる 等）	気軽に話を 聞いてもら えるSNSな どの相談窓 口	生活のため の経済的 援助	カウンセリ ング等の心理 学的支援	同じような 悩みをもつ 人と出会え る場所	自分の困り ごと気づい て声をか けてくれる 人や支援 機関	弁護士等 による法的 支援	就労の支 援（資格 取得等の 働くための 支援や就 職先を探す サポート）	相談・支援 を受けてい る間の寄り 添いや見守 り	その他	
全体	1,050	36.8	36.6	31.0	29.2	25.0	18.0	14.6	13.9	10.7	9.5	2.8	
年齢	20歳代以下	135	22.2	32.6	45.2	34.1	25.9	22.2	26.7	3.7	12.6	8.9	2.2
	30歳代	215	33.5	35.8	38.1	33.5	26.0	18.1	17.2	10.7	12.1	12.1	1.9
	40歳代	171	33.9	32.7	33.9	31.6	28.1	13.5	11.7	15.2	13.5	7.6	2.3
	50歳代	179	39.7	39.1	25.1	33.0	25.1	15.6	12.3	12.3	12.3	6.1	5.0
	60歳代	269	43.5	35.3	23.4	23.4	24.9	19.0	10.4	19.0	7.4	7.8	2.6
70歳代以上	81	46.9	51.9	21.0	16.0	14.8	22.2	12.3	23.5	4.9	21.0	2.5	
婚姻状況	既婚（事実婚含む）	512	35.0	36.5	33.4	21.9	29.3	18.8	12.7	16.2	6.3	9.8	3.1
	離別	131	45.8	43.5	22.1	34.4	19.1	16.0	13.0	15.3	13.0	12.2	0.8
	死別	40	35.0	45.0	17.5	40.0	17.5	20.0	5.0	22.5	10.0	5.0	5.0
	未婚	367	36.2	33.2	32.4	36.5	22.1	17.4	18.8	9.3	16.1	8.7	2.7
家族構成	一人暮らし	224	37.1	38.8	25.0	36.2	23.2	14.7	14.3	17.0	10.7	9.8	1.8
	夫婦のみ	266	36.5	39.5	34.6	22.2	28.2	19.5	14.3	17.7	6.0	8.6	3.0
	二世帯世帯（親と同居）	129	38.0	31.0	28.7	30.2	22.5	21.7	14.7	5.4	21.7	10.9	4.7
	二世帯世帯（子と同居）	283	38.2	36.0	31.4	26.5	24.7	18.7	12.0	14.5	7.8	9.9	2.5
	その他の世帯	148	33.1	33.8	35.1	35.8	25.0	15.5	20.3	8.8	14.9	8.8	2.7
子育て世帯	子育て世帯（全体）	158	29.7	35.4	38.6	28.5	26.6	18.4	17.1	12.7	8.9	7.6	1.9
	うち、母子世帯	24	50.0	25.0	33.3	37.5	12.5	20.8	12.5	16.7	16.7	4.2	0.0
世帯年収（全体）	100万円未満	77	35.1	24.7	22.1	35.1	18.2	19.5	10.4	14.3	6.5	9.1	6.5
	100～199万円	95	47.4	48.4	20.0	42.1	22.1	9.5	14.7	10.5	12.6	7.4	1.1
	200～299万円	113	34.5	38.9	29.2	44.2	23.0	20.4	13.3	15.0	15.0	4.4	0.0
	300～399万円	128	41.4	34.4	28.9	30.5	21.1	20.3	18.0	13.3	13.3	9.4	1.6
	400～499万円	79	49.4	34.2	35.4	30.4	16.5	20.3	11.4	13.9	12.7	6.3	2.5
	500～699万円	143	31.5	32.9	31.5	24.5	28.0	18.9	19.6	12.6	11.2	11.9	2.1
	700～999万円	126	38.1	41.3	34.9	21.4	32.5	13.5	13.5	17.5	5.6	16.7	0.8
	1,000～1,499万円	52	19.2	40.4	38.5	19.2	42.3	19.2	3.8	19.2	1.9	9.6	3.8
	1,500万円以上	18	22.2	38.9	38.9	0.0	16.7	16.7	22.2	11.1	5.6	5.6	0.0
	わからない	219	34.7	35.2	34.7	25.1	25.6	19.6	15.1	12.8	11.9	9.1	5.9
抱える困難数	1種類のみ	164	36.0	36.6	31.7	20.1	28.7	20.1	7.9	6.1	5.5	11.0	4.9
	2～3種類	448	35.7	34.6	29.7	27.0	22.3	17.2	15.4	15.4	9.6	8.5	2.0
	4種類以上	438	38.1	38.6	32.2	34.9	26.5	18.0	16.2	15.3	13.7	10.0	2.7

4) DV等の解決のために必要な環境・支援

DVや虐待等の困りごとを解決するためにどのような環境や支援があるかと思うかたずねたところ、「加害者に完全に情報が秘匿され、安心して避難できる施設」(43.6%)の割合が4割を超えて最も高く、次いで「生活全般について手厚い支援を受けながら自立が目指せる施設」(28.3%)、「数時間程度休息し、安心して過ごせる場所」(22.5%)となっている。

年齢別にみると、「数時間程度休息し、安心して過ごせる場所」の割合は20歳代以下で3割強と高くなっている。また、「1泊程度休息し、今後について考えることができる場所」の割合は30歳代以下で2割を超えている。

図表 - 77 【Q27】DV等の解決のために必要な環境・支援（複数回答3つまで）



図表 - 78 属性別 【Q27】DV等の解決のために必要な環境・支援（複数回答3つまで）

属性	調査数 (n)	加害者に完全に情報が秘匿され、安心して避難できる施設	生活全般について手厚い支援を受けながら自立が目指せる施設	数時間程度休息し、安心して過ごせる場所	住まい探しの補助・支援	同じような悩みをもつ人と出会える場所	ゆるやかな支援・見守りを受けながら自立が目指せる施設	仕事探しの補助・支援	1泊程度休息し、今後について考えることができる場所	在宅で受けられる見守り支援	加害者への教育プログラムの実施	その他	
全体	1,050	43.6	28.3	22.5	21.6	21.5	21.1	20.8	16.9	13.3	13.0	3.5	
年齢	20歳代以下	135	49.6	28.1	31.1	22.2	21.5	23.0	15.6	21.5	12.6	11.1	2.2
	30歳代	215	46.5	32.1	27.0	21.9	16.7	21.9	25.1	23.3	9.3	15.3	1.9
	40歳代	171	42.7	28.7	24.0	23.4	25.7	21.1	23.4	12.3	13.5	9.9	2.3
	50歳代	179	38.0	25.7	20.1	26.3	16.8	20.7	21.2	14.0	14.5	12.3	6.1
	60歳代	269	40.5	26.4	14.5	19.3	24.9	19.3	21.2	13.8	15.6	13.4	4.5
	70歳代以上	81	50.6	29.6	24.7	13.6	24.7	23.5	9.9	18.5	14.8	17.3	3.7
婚姻状況	既婚（事実婚含む）	512	40.6	26.8	23.2	19.3	22.9	19.5	20.3	17.0	13.5	13.3	3.7
	離別	131	44.3	32.8	14.5	27.5	22.9	22.9	23.7	13.7	14.5	16.8	0.8
	死別	40	47.5	20.0	15.0	20.0	20.0	25.0	15.0	12.5	25.0	10.0	7.5
	未婚	367	47.1	29.7	25.1	22.9	19.3	22.3	21.0	18.3	11.4	11.7	3.8
家族構成	一人暮らし	224	47.3	35.3	16.1	22.8	17.9	25.0	19.6	14.3	14.3	15.2	4.5
	夫婦のみ	266	45.1	29.3	20.7	21.4	22.9	19.2	19.9	17.3	12.8	12.8	3.4
	二世帯世帯（親と同居）	129	44.2	24.0	28.7	19.4	26.4	21.7	18.6	18.6	9.3	12.4	3.1
	二世帯世帯（子と同居）	283	38.9	24.4	24.4	19.1	23.7	20.5	20.5	16.3	14.8	12.7	3.2
	その他の世帯	148	43.9	27.0	26.4	27.0	16.2	19.6	26.4	19.6	13.5	11.5	3.4
子育て世帯	子育て世帯（全体）	158	34.8	26.6	27.8	20.3	22.2	22.8	21.5	18.4	13.9	12.0	3.8
	うち、母子世帯	24	45.8	37.5	25.0	29.2	16.7	20.8	20.8	16.7	12.5	4.2	0.0
世帯年収（全体）	100万円未満	77	33.8	26.0	18.2	19.5	24.7	19.5	22.1	9.1	13.0	11.7	3.9
	100～199万円	95	42.1	31.6	15.8	31.6	17.9	24.2	24.2	18.9	13.7	11.6	4.2
	200～299万円	113	39.8	31.0	18.6	23.9	16.8	26.5	23.9	18.6	12.4	8.0	3.5
	300～399万円	128	42.2	29.7	27.3	23.4	25.0	24.2	18.0	20.3	14.1	14.1	1.6
	400～499万円	79	45.6	24.1	19.0	24.1	19.0	20.3	20.3	15.2	13.9	13.9	5.1
	500～699万円	143	51.0	28.0	24.5	19.6	23.1	23.8	14.0	18.2	13.3	12.6	3.5
	700～999万円	126	46.0	31.0	22.2	13.5	23.8	26.2	18.3	19.0	14.3	18.3	0.0
	1,000～1,499万円	52	40.4	28.8	26.9	21.2	17.3	5.8	28.8	19.2	19.2	9.6	3.8
	1,500万円以上	18	38.9	22.2	27.8	11.1	22.2	11.1	22.2	0.0	11.1	5.6	16.7
	わからない	219	44.7	26.0	24.7	21.9	21.9	16.0	22.8	15.1	11.4	14.6	4.6
抱える困難数	1種類のみ	164	42.1	26.8	25.0	14.0	25.6	18.9	18.3	11.6	14.0	12.2	3.7
	2～3種類	448	43.8	26.6	21.4	20.1	22.1	21.0	21.0	12.7	13.6	12.3	4.7
	4種類以上	438	44.1	30.6	22.6	26.0	19.4	22.1	21.5	23.1	12.8	14.2	2.3

5) 抱える困難や支援に対する要望等（自由意見）

調査の最後に、回答者の悩み・困りごとや、希望する支援等について、自由記述方式でたずねたところ、496人から、具体的な回答があった。

記載内容の分類結果は以下のとおりであり、悩み・困りごとの内容では「配偶者・パートナー以外の家族に関する問題」（28件）や「心身不調や健康に関する悩み」（26件）、「生活困窮や収入に関する悩み」（21件）などが多く寄せられた。

希望する支援等に関する意見では、「親身に寄り添ってくれる相談窓口」（35件）や「気軽に何でも相談できる窓口」（34件）、「適切な相談につないでほしい」（30件）などの相談窓口に関する要望が多く寄せられた。

図表－79 【Q28】抱える困難や希望する支援に対する要望等（自由記述）

	分類	件数	備考
悩みや困りごとについて	配偶者・パートナー以外の家族に関する問題	28	モラハラや暴力等のDV、家族不仲、過干渉、家族の病気・障害、その他問題行動、相続争い 等
	心身不調や健康に関する悩み	26	
	生活困窮や収入に関する悩み	21	
	介護・看護や子育ての悩み	15	
	配偶者・パートナーに関する問題	11	モラハラや暴力、不仲・離婚問題、問題行動（浪費、働かない等） など
	仕事に関する悩み	10	
	孤独・孤立	9	
	職場や地域での人間関係等の悩み	7	バウハラ、不仲、地域トラブル等
	その他の悩み・困りごと	17	性被害、住まい・居場所、将来への不安 など
希望する支援等について	親身に寄り添ってくれる相談窓口がほしい	35	いつでも親身に寄り添って対応してくれる人や相談窓口がほしい、話を否定せずに聞いてほしい
	気軽に何でも相談できる相談窓口がほしい	34	
	適切な相談につないでほしい	30	自分にあった相談先がわからない、必要な支援につないでくれる窓口がほしい
	相談しても解決できないと思っている	28	相談では解決できないと思っている、相談を諦めている、支援はもらえない（自分で頑張る） など
	相談窓口での情報保護を徹底してほしい	21	個人情報保護、守秘義務の徹底、匿名で利用できる相談窓口
	居場所の提供や住まいの確保を支援してほしい	20	一時的な宿泊ができる居場所や避難場所の提供、住まい確保の支援
	息抜きや悩みを話せる場所がほしい	19	息抜きやストレス解消ができる場所、自然に悩みを話せる場所、同じ悩みを抱える人と話せる場所
	経済的援助がほしい	19	
	とにかく話を聞いてほしい	16	つらさを理解してほしい、話を聞いてもらうだけでよい
	就労支援をしてほしい	16	職業紹介、職業訓練、就労継続支援 など
	いつでもすぐに利用できる相談窓口がほしい	14	24時間対応の相談窓口、電話やLINE、チャットによる相談
	相談・支援の利便性や質の向上に取り組んでほしい	14	相談員の資質向上、対面やオンライン等による多様な相談手法・機会の充実、支援の利用条件の緩和 など
	無料で利用できる相談窓口や支援がほしい	13	
	DV対策を充実してほしい	13	DVに関する相談・支援、DV加害者への教育、DVに関する広報啓発 など
	相談・支援内容をしっかり周知してほしい	11	相談窓口や支援内容等の広報・周知、必要な人に情報が届く仕組みづくり
	保健・医療・福祉に係る相談・支援がほしい	10	がんや障害等に関する相談・支援、家事をはじめとした日常生活の支援 など
	専門家による相談・支援を受けたい	9	法律相談、福祉・医療の専門相談 など
	相談することをためらっている	9	相談するには勇気がいる、恥ずかしい、敷居が高い など
	必要な支援がわからない	8	
	自立生活のための総合的な支援をしてほしい	7	住まい確保から就労支援まで、自立生活のための総合的な支援
問題解決まで継続して支援してほしい	5		
その他相談・支援への要望等	12		
その他の意見・要望	29		

※複数の事項を記入している人がいるため、回答件数の合計は自由意見記入者数を超えている。

また、自由意見の記述内容から、本調査の回答者が抱える悩み・困りごとや希望する支援等としてどのような事柄を想起し関連づけて考えているかについて、テキストマイニングの共起ネットワーク手法を用いて分析した。

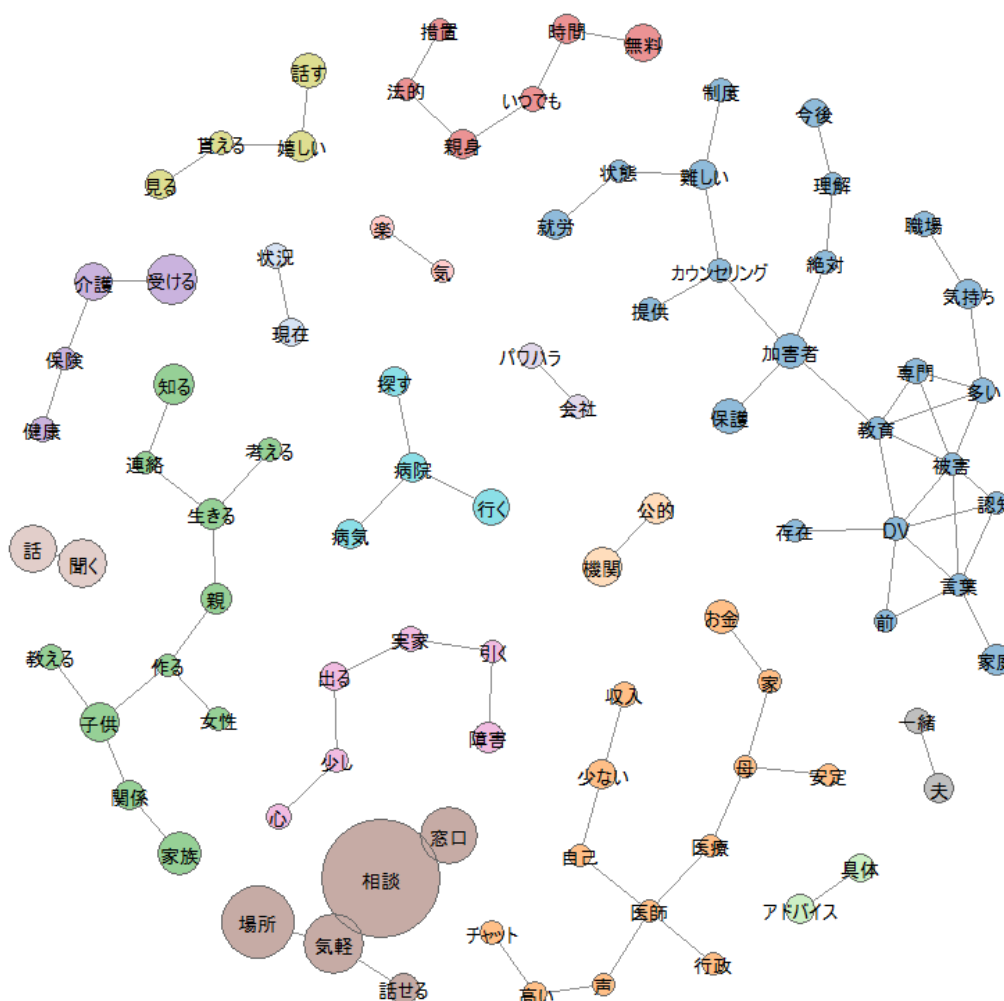
共起ネットワーク図とは、テキストデータ内において出現頻度の高い語のうち、出現パターンの類似した語を線で結んだネットワーク図である。単語同士の関係が強いものが線でつながっており、出現回数の多い語ほど大きい円で表示している。

抱える困難や希望する支援に対する要望等に関する自由意見においては、「相談」「気軽」「窓口」「場所」といった語の出現数が多く、かつ、これらの語の関連性が強くなっており、前頁の意見分類結果を裏付ける結果となっている。

その他、「DV」という語は「被害」「言葉」等とつながり、さらに「教育」「専門」や「加害者」「カウンセリング」等へと関連が広がっている。

また、相談支援の利便性に係るキーワードとして「親身」「いつでも」「時間」「無料」といった語のつながりも確認できる。

図表－80 【Q28】抱える困難や希望する支援に対する要望等
(自由意見記述内容の共起ネットワーク図)



※出現回数の多い語ほど、大きい円で表示
 ※円の距離が近いほど、その単語同士が近い抽出語彙を示す
 ※円と円を結ぶ線については、共起の強弱を表し、関連が強い語と語を結ぶほど濃くなる

第3章 調査結果のまとめ

本章では、第2章の調査結果詳細から、主な調査結果を集約する。

1. 困難な問題を抱える女性の状況と支援ニーズ

1) 困難な問題を抱える女性の特徴（属性や生活意識等）

- 本調査は、インターネットアンケートの登録モニターに対する調査として実施した。登録モニター（神奈川県在住18歳以上女性）によるアンケートアクセス総数は7,168サンプルで、スクリーニング調査を経て、何らかの困難な問題を抱える女性（経験者を含む）1,050サンプルから回答を得た（回答率14.6%）。※年齢3区分別（18～30歳代、40・50歳代、60歳代以上）に350サンプルずつ回収。【1頁】

《基本属性》

- 婚姻状況では、既婚者が5割（48.8%）、未婚者が3割強（35.0%）、離別者が1割強（12.5%）となっている。【4頁】
- 職業は、非正規職員・従業員が3割強（31.9%）、正規職員・従業員が2割（19.0%）を占め、回答者全体の6割弱（58.0%）が就労している。【4頁】
- 同居家族では、配偶者・パートナーが5割（49.0%）、子どもが3割（31.2%）であり、家族構成を整理すると二世帯世帯（子と同居）（27.0%）、夫婦のみ（25.3%）がそれぞれ2割強を占める。同居する子どもの年齢では18～29歳が3割強（33.8%）と最も割合が高い。【6頁】

《経済状況》

- 主たる家計の担い手は、4割強（42.0%）が「主に配偶者・パートナー」で、「主に自分」は3割強（34.8%）となっている。「主に自分」の割合は正規の職員・従業員で5割強（54.0%）だが、非正規職員・従業員でも4割（39.4%）を占めている。【10頁】
- 年収（年金や家賃収入等含むすべての年収）は、「わからない」を除き、世帯年収では500～600万円台、300万円台、700～900万円台がそれぞれ1割強ずつを占めているが、一人暮らしでは300万円台未満が6割（60.7%）を占めている。個人年収では100万円未満が4割強（41.6%）と突出しており、全ての年代に共通して最も割合が高い。また、職業別にみると正規の職員・従業員では300万円台が3割強（32.0%）であるのに対して、非正規の職員・従業員では100万円未満（29.6%）・100万円台（31.0%）がそれぞれ3割と高くなっている。【11・12頁】

《生活意識・生活状況》

- 経済困窮感（現在の経済的な暮らし向き）については、過半数（54.9%）が『苦しい』と回答している（やや苦しい36.2%+たいへん苦しい18.7%）。特に世帯年収100万円台以下の層では『苦しい』が8割を占め、困窮感が強くなっている。【13頁】
- 主観的健康感（現在の心身の健康状態）についても、過半数（56.4%）が『よくない』と回答しており（あまりよくない42.4%+よくない14.0%）、全ての年代で5割を超えている。【14頁】
- ストレス（現在、ストレスを感じているか）については、8割強（83.8%）が『感じている』と回答し、「とても強く感じている」だけで4割弱を占めている（とても強く感じている38.4%+やや感じている45.4%）。「とても強く感じている」の割合は50歳代以下の各年代で4割を超えているが、特に30歳代（47.4%）・40歳代（46.2%）で5割弱と高い。【15頁】
- 生きづらさ（現在、生きづらさを感じているか）については、7割（69.0%）が『感じている』と回答し、「とても強く感じている」だけで3割を占めている（とても強く感じている30.2%+やや感じている38.8%）。「とても強く感じている」の割合は50歳代以下の各年代で3～4割前後となっており、特に40歳代（40.9%）で高い。【16頁】

- メンタルヘルス（過去 1 か月間の心の状態）の K6（ケイ・シックス）得点による評価結果では、4 割（40.8%）が「13 点以上（重度）」に該当している。年齢が若いほど重度者の割合が高く、30 歳代以下では 5 割を超えている（20 歳代以下 59.3%、30 歳代 53.5%）。【17 頁】
- 孤独・孤立感の UCLA 孤独感尺度（3 項目版）による評価結果では、3 割（30.4%）が「10～12 点」（最も孤独・孤立感が強い得点層）に該当している。年齢別では 40・50 歳代で 4 割前後と高い（40 歳代 41.5%、50 歳代：39.1%）。【19 頁】

《人間関係》

- 日頃、親しく話ができる人は、「同居の家族」（48.8%）、「友人・知人」（43.6%）、「同居していない家族・親せき」（32.4%）が上位 3 位を占めている。一方、親しく話ができる人が「いない」人も 2 割弱（17.8%）を占めており、その割合は 30～50 歳代で 2 割強と高くなっている（30 歳代 23.3%、40 歳代 23.4%、50 歳代 21.2%）。【21 頁】
- 不安・悩みの相談相手も、親しく話ができる人と同じく、「同居の家族」（35.0%）、「友人・知人」（34.3%）、「同居していない家族・親せき」（24.1%）が上位 3 位を占めている。一方、「誰にも相談しない」人も 3 割（30.2%）を占めており、その割合は 40・50 歳代で 4 割弱と高くなっている（40 歳代 37.4%、50 歳代 35.2%）。【22 頁】
- 相談することについての考え（不安や悩みを誰かに相談することについて、どのように思うか）では、「相談することで解決はしなくとも気持ちが楽になる」（56.1%）とのポジティブな捉え方が 5 割を超えて最も高いが、その一方で「相談しても無駄である（相談しても解決しない）」（33.4%）とのネガティブな捉え方が 3 割強と 2 番目に割合が高くなっている。また、年齢別にみると「相手に連絡を取ることや、不安や悩みを説明するのが面倒である」、「相談することが恥ずかしい」等のネガティブな捉え方は、全般的に 50 歳代以上に比べて 40 歳代以下で高くなっている。【23 頁】

2) 抱える困難の状況

- 今回の調査では、スクリーニング調査において女性が抱える困難に関する大まかな項目を示して調査対象者を抽出し、その後、回答者全員に改めて主な困難事項（8 種類）への該当状況（過去の経験を含む）を詳細に確認した。
- その結果、抱える困難の内容では、「健康」（76.2%）、「家庭」（62.4%）、「経済面（仕事含む）」（56.5%）に係る問題が上位 3 位となった。女性であることにより遭遇しやすい困難である DV 等の暴力被害や性被害の問題については、「配偶者等からの暴力（DV・デート DV）」（31.2%）や「その他の家族・親せきからの暴力」（28.6%）といった暴力被害がそれぞれ 3 割前後、「性被害」（性暴力のほか、セクハラやストーーカー被害等含む）（21.8%）は 2 割強が被害を受けた経験がある。また、「住まい・居場所」に係る問題についても 2 割強（22.4%）が該当している。【24 頁】
- 困難の複合化の状況を、抱える困難の数でみると、困難事項（8 種類）のうち該当する困難が「1 種類」のみの方は回答者全体の 1 割強（15.6%）に留まり、「2～3 種類」（42.7%）・「4 種類以上」（41.7%）がそれぞれ 4 割強と、大半の人が複数の困難を抱えている（平均 3.4 種類）。「4 種類以上」の多数の困難を抱える人の割合は 30 歳代以下で 5 割弱と高くなっている（20 歳代以下 46.7%、30 歳代 49.8%）。【26 頁】抱える困難数と困難の内容の関係を見ると、上記の困難状況の上位項目からも推測されるとおり、抱える困難の種類が 1 種類のみの方では「健康」が 6 割弱と最も割合が高く、2～3 種類の方では「健康」、「家庭」、「経済面（仕事含む）」がそれぞれ 5 割以上となり、4 種類以上の方では、ほぼ 8～9 割の人が「健康」、「家庭」、「経済面（仕事含む）」に係る困難を抱え、加えてその他の困難にもそれぞれ 4 割以上が該当している。【27 頁】
- 困難状況（抱える困難の数）と生活意識等との関係を整理すると次表のとおりであり、総じて、抱える困難の種類が多いほど生活意識等の状態が良くない人の割合が高くなっている。特に 4 種類以上の困難を抱える人

では「メンタルヘルス」や「生きづらさ」、「孤独・孤立感」、「主観的健康感」について状態が良くない人の割合が、3種類以下の人に比べて、10～20ポイント以上と顕著に高くなっている。【図表 81】

図表－81 困難状況（抱える困難の数）と生活意識等との関係

		調査数 (n)	経済困窮感 (Q3)	主観的健康感 (Q4)	ストレス (Q5①)	生きづらさ (Q5②)	メンタルヘルス (Q6集約)	孤独・孤立感 (Q7集約)
			苦しい (やや苦しい+たいへん苦しい)	よくない (あまりよくない+よくない)	感じている (とても強く+やや感じている)	感じている (とても強く+やや感じている)	13点以上 (重度)	10～12点 (最も孤独・孤立感が強い)
全体		1,050	54.9	56.4	83.8	69.0	40.8	30.4
抱える困難数	1種類のみ	164	40.8	50.7	72.5	52.5	26.8	18.9
	2～3種類	448	53.6	51.4	83.2	64.5	32.8	25.9
	4種類以上	438	61.4	63.7	88.6	79.7	54.1	39.3

		調査数 (n)	親しく話ができる人 (Q8)	不安・悩みの相談相手 (Q9)	相談することについての考え (Q10) [複数回答]			
			いない	誰にも相談しない	ネガティブな捉え方			
				相談しても無駄 (解決しない)	相談相手の負担になる	相談相手に連絡・説明することが面倒	相談することが恥ずかしい	
全体		1,050	17.8	30.2	33.4	22.3	15.8	10.7
抱える困難数	1種類のみ	164	14.6	27.4	23.2	12.8	10.4	7.3
	2～3種類	448	16.3	30.4	32.4	22.1	13.4	10.5
	4種類以上	438	20.5	31.1	38.4	26.0	20.3	12.1

3) 相談・支援に対するニーズ

① 困難対応時の公的窓口の利用状況とニーズ

- 各困難事項別の困難への対応状況において、公的窓口を利用した人の割合はいずれも1割未満に留まっている。公的窓口の相談・支援は受けずに何らかの方法で対応している人（公的窓口未利用者）の割合は健康問題該当者（66.2%）や家庭問題該当者（53.8%）、生活困窮・就労問題該当者（51.7%）で5割超と高いが、その他の困難事項該当者でも3～4割を占めている。【図表 82、40 頁】
- 公的窓口未利用者の未利用理由では、全般的に「どこに相談したらよいかわからないから」、「公的窓口で解決できると思わないから」、「必要だが我慢できる程度だから」、「必要ではないから」といった理由が共通して上位にあがっている。「どこに相談したらよいかわからないから」の割合は住まい・居場所問題該当者で3割強（31.6%）と他の困難事項該当者に比べて高くなっている。また、「支援を受けるための手続きが面倒だから」や「恥ずかしいと思うから」の割合は、DV被害や性被害の該当者でそれぞれ1割以上と他の困難事項該当者に比べて高くなっている。【図表 82、42 頁】

図表－８２ 困難対応時の公的窓口利用状況と未利用理由（集約）
(%)

	困難への対応状況（抜粋）			公的な窓口の相談・支援を受けていない理由（複数回答）			
	調査数 (n)	公的な窓口 に相談したり、 支援を受けて いる	公的窓口の 相談・支援は 受けずに対応 (計)	調査数 (n)	第1位	第2位	第3位
①DV被害	328	6.1	33.6	110	どこに相談したらよいか わからないから (25.5%)	公的な窓口で解決でき ると思わないから (22.7%)	必要だが、我慢できる 程度だから (20.9%)
②暴力被害	300	4.0	29.4	88	どこに相談したらよいか わからないから (29.5%)	公的な窓口で解決でき ると思わないから (22.7%)	必要だが、我慢できる 程度だから (15.9%)
③性被害	229	3.5	34.1	78	どこに相談したらよいか わからないから / 公的な窓 口で解決できると思わないから (各21.8%)		必要だが、我慢できる 程度だから (17.9%)
④生活困窮・就労	593	7.4	51.7	306	必要だが、我慢できる 程度だから (26.1%)	どこに相談したらよいか わからないから (23.9%)	公的な窓口で解決でき ると思わないから (18.6%)
⑤健康問題	800	7.8	66.2	529	必要ではないから (26.5%)	必要だが、我慢できる 程度だから (23.8%)	公的な窓口で解決でき ると思わないから (22.7%)
⑥家庭問題	655	3.4	53.8	352	公的な窓口で解決でき ると思わないから (24.1%)	どこに相談したらよいか わからないから (23.3%)	必要ではないから (21.0%)
⑦職場・地域等との関係	428	2.1	47.9	205	どこに相談したらよいか わからないから / 必要では ないから (各22.0%)		公的な窓口で解決でき ると思わないから (21.0%)
⑧住まい・居場所に関する問題	235	4.3	48.6	114	どこに相談したらよいか わからないから (31.6%)	必要だが、我慢できる 程度だから (19.3%)	公的な窓口で解決でき ると思わないから (17.5%)
⑨その他の問題の内容	671	2.1	41.4	278	どこに相談したらよいか わからないから / 公的な窓 口で解決できると思わないから (各24.1%)		必要ではないから (23.7%)

- 公的窓口未利用者が相談・支援窓口に見る形態（どのような窓口なら相談しようと思うか）では、各困難事項該当者に共通して「個人情報を出さなくてよい窓口」、「周りに知られないで相談できる窓口」、「継続して相談を受けられる窓口」の割合が2～3割以上と高く、それぞれ上位にあがっている。性被害該当者の「個人情報を出さなくてよい窓口」に対するニーズは特に高く、5割強（52.6%）が希望している。【43頁】

②相談窓口の認知・利用状況

- 困難な問題を抱える女性の主な相談窓口の認知度（「知らなかった」以外の合計）は、①女性のためのDV相談（配偶者暴力相談支援センター）（45.0%）、⑩警察の相談窓口（#9110等）（43.0%）、⑨市町村の相談窓口（女性、生活困窮、介護、障がい）（40.5%）、④かながわ子ども家庭110番相談・児童相談所（31.6%）の順で高く、その他の窓口は2割以下であった。年齢別では①～⑧の窓口は概ね40・50歳代で、⑨市町村の窓口・⑩警察の窓口は概ね30・40歳代で他の年代に比べて認知度が低くなっている。【図表83、45頁】
- 過去の利用経験も含めた利用率（「過去に利用したことがある」「現在、利用している」の合計）は、いずれも1割未満であった。年齢別では①～⑧の窓口は30歳代以下で、⑨市町村の窓口・⑩警察の窓口は60歳代以上で他の年代に比べて高くなっているが1割以上のものはない。【図表83、46頁】 また、①～⑩の相談窓口の1つ以上で利用経験がある人（支援へのつながりがある人）は回答者全体の1割強（11.9%）となっている。【47頁】

図表－83 主な相談窓口の認知度・利用状況（集約）

(%)

	主な相談窓口の認知・利用状況（集約）		
	調査数 (n)	認知度	利用率
① 女性のためのDV相談（配偶者暴力相談支援センター）	1,050	45.0	2.8
② かながわDV相談LINE	1,050	16.4	1.5
③ かながわ女性の不安・困りごと相談室（かながわ女性相談室）	1,050	16.4	1.4
④ かながわ子ども家庭110番相談・児童相談所	1,050	31.6	2.6
⑤ かながわ子ども・若者総合相談	1,050	14.1	1.1
⑥ かながわひとり親家庭相談	1,050	18.1	1.2
⑦ かながわ性犯罪・性暴力被害者ワンストップ 支援センター・かならいん	1,050	12.1	1.0
⑧ 妊娠SOSかながわ	1,050	13.6	1.3
⑨ 市町村の相談窓口（女性、生活困窮、介護、障がい）	1,050	40.5	7.8
⑩ 警察の相談窓口（#9110等）	1,050	43.0	3.1

③ 困難解決に向けた支援ニーズ

- 困難を解決するために必要な環境・支援では、「利用できる支援制度の情報提供」（36.8%）と「自分の困りごとをなんでも相談でき、支援につながるができる窓口」（36.6%）の割合がそれぞれ4割弱と高く、次いで「気軽に話を聞いてもらえる SNS などの相談窓口」（31.0%）、「生活のための経済的援助」（29.2%）、「カウンセリング等の心理学的支援」（25.0%）となっている。【50 頁】
- DV 等の解決のために必要だと思う環境・支援では、「加害者に完全に情報が秘匿され、安心して避難できる施設」（43.6%）の割合が4割強と突出して高く、次いで「生活全般について手厚い支援を受けながら自立が目指せる施設」（28.3%）、「数時間程度休息し、安心して過ごせる場所」（22.5%）となっている。【52 頁】

④ 母子世帯の状況と支援ニーズ

- 今回の調査回答者のうち、「子育て世帯」（18歳未満の子どもと同居）該当者は158人（回答者全体の15.0%）、さらに「母子世帯」（子育て世帯該当者のうち、婚姻状況が離別・死別・未婚）該当者は24人（子育て世帯の15.2%）であった。【7 頁】
- 母子世帯については、上記のとおり、回答者数が30人未満と少ないため、あくまで参考値として傾向を見るに留め、結果の利用には注意を要するが、大まかに把握できる主な傾向を以下に示す。

《参考》母子世帯（24人）の主な回答結果

- 経済困窮感（現在の経済的な暮らし向き）では、『苦しい』が7割（70.8%）を占め、困窮感が強い。【13 頁】
- 不安・悩みの相談相手では、「誰にも相談しない」（41.7%）が4割を超えて最も割合が高い。【22 頁】
- 抱える困難の内容では、「経済面（仕事含む）」（83.3%）と「家庭」（79.2%）がそれぞれ8割前後、「配偶者等からの暴力（DV・デートDV）」（62.5%）も6割を超えている。【25 頁】
- 経済面（仕事含む）の困りごとの詳細としては、「家庭環境が変わって家計が苦しくなった（離婚、出産等）」（54.2%）が5割を超えて最も割合が高い。【33 頁】
- 今後希望する相談方法については、「どこにも相談したくない」（4.2%）との回答は5%未満に留まり、「電話」（54.2%）による相談希望が5割を超えて最も割合が高い。【49 頁】
- 困難を解決するために必要な環境・支援では、「利用できる支援制度の情報提供」（50.0%）が5割と突出して割合が高く、次いで「生活のための経済的援助」（37.5%）となっている。【51 頁】

2. 基本方針の主要項目に関連する調査結果

本項では、「困難な問題を抱える女性への支援のための施策に関する基本的な方針」（令和5年3月29日厚生労働省告示）に示された施策内容の主な項目ごとに、関連する調査結果を整理する。

1) アウトリーチ等による早期の把握

- 困難を解決するために必要な環境・支援として、回答者全体の1割強（14.6%）が「自分の困りごとに気づいて声をかけてくれる人や支援機関」を求めている。特に20歳代以下で3割弱（26.7%）とニーズが高くなっている。また、抱える困難が1種類のみの人に比べて、2種類以上の複数の困難を抱える人で1割強とニーズが高くなっている。【50頁】
- 早期に相談支援につながるための方法として、希望する相談方法の結果をみると「電話で」（31.7%）や「相談窓口で（対面）」（28.9%）、「電子メールで」（27.5%）がそれぞれ3割前後で上位を占めているが、「チャットで」（20.6%）や「SNSで」（19.1%）、「気軽に立ち寄れる居場所等で（対面）」（18.9%）もそれぞれ2割程度の人希望している。特に「SNS」と「チャット」は若年層のニーズが高く、30歳代以下の3～4割程度が希望している。【49頁】

2) 居場所の提供

- 困難を解決するために必要な環境・支援として、回答者全体の2割弱（18.0%）が「同じような悩みをもつ人と出会える場所」を求めている。年齢別では20歳代以下（22.2%）と70歳代以上（22.2%）の最若年・最高齢層でニーズが高くなっている。【50頁】
- 公的窓口で相談・支援を受けていない人が今後望む相談・支援窓口の形態では、「何か理由がなくても気軽に立ち寄ることができる場所」や「同じ悩みをもつ人同士が話したり、相談できる場所」を希望する人が、それぞれ1～2割前後となっている。【43頁】
- 自由意見（Q28）においても、「息抜きや悩みを話せる場所がほしい」といった意見が複数寄せられている。【53頁】

3) 相談支援

- 困難を解決するために必要な環境・支援では、「利用できる支援制度の情報提供」（36.8%）、「自分の困りごとをなんでも相談でき、支援につながるができる窓口」（36.6%）、「気軽に話を聞いてもらえるSNSなどの相談窓口」（31.0%）がそれぞれ3割を超えて上位3位にあがっており、相談支援に係るニーズが高くなっている。これらについては、年齢による差が顕著であり、「情報提供」は年齢が高いほど、「SNSなどの相談窓口」は年齢が若いほど、「なんでも相談でき、支援につながるができる窓口」は70歳以上の最高齢層で割合が高くなっている。【50頁】
※その他 相談・支援に対するニーズ全般の傾向は、57～59頁参照
- 自由意見（Q28）では、相談支援に関する意見が多く寄せられており、「親身に寄り添ってくれる相談窓口がほしい」、「気軽に何でも相談できる相談窓口がほしい」、「適切な相談につないでほしい」といった意見が件数の上位にあがっている。このほか、「相談窓口での情報保護を徹底してほしい」という情報保護・守秘義務に関する意見や、「いつでもすぐに利用できる相談窓口がほしい（24時間対応等）」、「無料で利用できる相談窓口や支援がほしい」、「相談支援の利便性や質の向上に取り組んでほしい（相談員の資質向上等）」といった相談支援の利便性向上等に関する意見が複数寄せられている。【53頁】

4) 一時保護

- 回答者全体の5.0%は「DV等のために一時的に自宅を出て避難をしなければならなかった」経験があり、この割合は年齢別では30歳代(8.4%)・40歳代(6.4%)で、婚姻状況別では離別者(13.0%)で他に比べて高くなっている。また、DV等による一時避難以外にも「安心できる居場所がない」(16.0%)や「家族等との不仲、その他の事情で住まいを転々としている」(3.9%)といった、住まいや居場所に係る問題を抱えたことがある人が回答者全体の2割強(22.4%)を占めている。**【37頁】**
- これらの人が住まいや居場所に係る問題を抱えたときの具体的な行き先としては「実家に行った」(21.7%)や「アパートを借りた」(20.9%)、「友人・知人宅に行った」(17.0%)等の割合が高いものの、「その他」(26.4%)として「何もなかった・できなかった」「我慢した」といった回答が多く見られた。**【38頁】**
- DV等の解決のために必要な環境・支援では、「加害者に完全に情報が秘匿され、安心して避難できる施設」(43.6%)に対するニーズが4割強と突出して高く、次いで「生活全般について手厚い支援を受けながら自立が目指せる施設」(28.3%)となっている。また、「数時間程度休息し、安心して過ごせる場所」(22.5%)や「1泊程度休息し、今後について考えることができる場所」(16.9%)といった数時間から1泊程度の短期間の居場所に対するニーズもそれぞれ2割前後となっており、年齢別では30歳代以下で高くなっている。**【52頁】**
- 自由意見(Q28)においても、「居場所の提供や住まいの確保を支援してほしい」(一時的な宿泊場所・避難場所提供等)といった意見が複数寄せられている。**【53頁】**

5) 被害回復支援

- 複数の困難を抱える人ほど、メンタルヘルスや生きづらさ、孤独・孤立感、主観的健康感の状態が良くない人の割合が顕著に高くなっている。**【57頁】**
- 困難を解決するために必要な環境・支援として、回答者全体の2割強(25.0%)が「カウンセリング等の心理学的支援」を求めている。**【50頁】**
- 自由意見(Q28)においては、関連する意見として「親身に寄り添ってくれる相談窓口がほしい」(いつでも親身に寄り添って対応してくれる人・相談窓口がほしい、話を否定せずに聞いてほしい)や「とにかく話を聞いてほしい」(つらさを理解してほしい、話を聞いてもらうだけで良い)といった意見が複数寄せられている。**【53頁】**

6) 生活の場をともにすることによる支援(日常生活の回復の支援)

- DV等の解決のために必要な環境・支援として、回答者全体の3割弱(28.3%)が「生活全般について手厚い支援を受けながら自立が目指せる施設」を求めており、年齢別では30歳代(32.1%)で、婚姻状況別では離別者(32.8%)で他に比べてややニーズが高くなっている。**【52頁】**

7) 自立支援、アフターケア

- 困難を解決するために必要な環境・支援では、自立支援に係る要望として「生活のための経済的援助」(29.2%)や「就労の支援」(10.7%)等があがっている。**【50頁】**
- DV等の解決のために必要な環境・支援では、「ゆるやかな支援・見守りを受けながら自立が目指せる施設」(21.1%)をはじめ、「住まい探しの補助・支援」(21.6%)や「仕事探しの補助・支援」(20.8%)、「在宅で受けられる見守り支援」(13.3%)といった、自立支援に係るニーズがそれぞれ1~2割程度となっている。**【52頁】**
- 自由意見(Q28)においては、関連する意見として「自立生活のための総合的な支援をしてほしい」(住まい確保から就労支援まで、自立生活のための総合的な支援)をはじめ、「居場所の提供や住まいの確保を支援してほしい」、「経済的援助がほしい」、「就労支援をしてほしい」といった意見が複数寄せられている。**【53頁】**

第4章 資料編

1. 調査票

アンケート画面開始

Page 1

SQ1

あなたの性別をお答えください。

- 1 男性
- 2 女性
- 3 選択しない

次へ

0 50 100(%)

Page 2

SQ1_2

あなたの居住地をお知らせください。

次へ

0 50 100(%)

SQ2

あなたの年齢をお答えください。

- 1 18・19歳
- 2 20歳代
- 3 30歳代
- 4 40歳代
- 5 50歳代
- 6 60歳代
- 7 70歳代
- 8 80歳代
- 9 90歳代
- 10 それ以外

次へ

0 50 100(%)

SQ3

あなたは現在、結婚(事実婚含む)していますか。

- 1 既婚(事実婚含む)
- 2 離別
- 3 死別
- 4 未婚

次へ

0 50 100(%)

SQ4

あなたの職業をお答えください。

- 1 正規の職員・従業員
- 2 非正規の職員・従業員(派遣社員、契約社員・嘱託、パート・アルバイト)
- 3 会社経営者・役員
- 4 自営業主
- 5 家族従業者(家業手伝い)・内職
- 6 学生
- 7 無職・家事専業(仕事を探している)
- 8 無職・家事専業(仕事を探していない)
- 9 その他(具体的に:)

次へ

0 50 100(%)

SQ5

あなたは、次のようなことで困ったり、悩みを抱えたことはありますか。
(いくつでも)

- 1 配偶者・パートナーから暴力(DV)や、恋人からの暴力(デートDV)がある
- 2 配偶者・パートナー以外の家族から暴力がある
- 3 家族とうまくいかない、家族に関する問題を抱えている
- 4 職場や学校等で人間関係がうまく築けない、いじめやハラスメントを受けている
- 5 仕事が見つからない、仕事が不安定
- 6 経済的に困窮している(光熱水費・食糧費・医療費等を支払えない等)
- 7 健康面の不安が大きい(メンタルヘルス含む)
- 8 住まいが定まらない、家に居場所がない
- 9 孤独・孤立を感じる
- 10 性的な被害や問題を抱えている(性暴力や性的虐待、望まない妊娠など)
- 11 どれにもあてはまらない

次へ

0 50 100(%)

F1

あなたがお住いの地域はどちらですか。

- 1 横浜(横浜市)
- 2 川崎(川崎市)
- 3 相模原(相模原市)
- 4 横須賀三浦(横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町)
- 5 県央(厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村)
- 6 湘南(平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町)
- 7 県西(小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町)

次へ

0 50 100(%)

F2

あなたが現在、一緒に住んでいる方はどなたですか。あてはまるものをいくつでもお選びください。(いくつでも)

- 1 父親(義理の父親含む)
- 2 母親(義理の母親含む)
- 3 きょうだい
- 4 祖父母
- 5 配偶者・パートナー
- 6 子ども
- 7 孫
- 8 親せき
- 9 その他(具体的に:)
- 10 一人暮らし(同居者はいない)

次へ

0 50 100(%)

F3

【子どもと同居されている方へ】

あなたのお子さんは次のどれに該当しますか。あてはまるものをいくつでもお選びください。（いくつでも）

- 1 0～5歳
- 2 6～12歳
- 3 13～17歳
- 4 18～29歳
- 5 30～39歳
- 6 40～49歳
- 7 50歳以上

次へ

0 50 100(%)

Q1

あなたのお宅(世帯)で、家計を主に支えている人はどなたですか。

- 1 主に自分
- 2 主に配偶者・パートナー
- 3 主に親
- 4 主に子ども
- 5 その他(具体的に:)
- 6 複数の家族で同じくらいずつ分担している

次へ

0 50 100(%)

Q2

2022年の1年間のあなたのお宅(世帯)全体、あなた個人での収入(税込み)をお答えください。(それぞれひとつずつ)

※年金や給付金、家賃収入、配当金、仕送り等も含むすべての収入



	100万円未満	100~199万円	200~299万円	300~399万円	400~499万円	500~699万円	700~999万円	1,000~1,499万円	1,500万円以上	わからない
1 お宅(世帯)全体の収入(税込み)	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>	4 <input type="radio"/>	5 <input type="radio"/>	6 <input type="radio"/>	7 <input type="radio"/>	8 <input type="radio"/>	9 <input type="radio"/>	10 <input type="radio"/>
2 あなた個人の収入(税込み)	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>	4 <input type="radio"/>	5 <input type="radio"/>	6 <input type="radio"/>	7 <input type="radio"/>	8 <input type="radio"/>	9 <input type="radio"/>	10 <input type="radio"/>

次へ

0 50 100(%)

Q3

あなたの現在の経済的な暮らし向きは、いかがですか。

- 1 たいへんゆとりがある
- 2 ややゆとりがある
- 3 普通
- 4 やや苦しい
- 5 たいへん苦しい

次へ

0 50 100(%)

Q4

あなたの現在の心身の健康状態をお答えください。

- 1 よい
- 2 まあよい
- 3 普通
- 4 あまりよくない
- 5 よくない

次へ



Q5

あなたは、現在、ストレスや生きづらさを感じていますか。

①②それぞれについてお答えください。(それぞれひとつずつ)



とても強く感じている
やや感じている
どちらともいえない
あまり感じていない
全く感じていない

1 ストレス	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>	4 <input type="radio"/>	5 <input type="radio"/>
2 生きづらさ	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>	4 <input type="radio"/>	5 <input type="radio"/>

次へ



Q6

あなたは、過去1か月の間、次のようなことがどれくらいの頻度でありましたか。

①～⑥のそれぞれについてお答えください。(それぞれひとつずつ)

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
1 神経過敏に感じた(ちょっとしたことでも気になる)	1○	2○	3○	4○	5○
2 絶望的だと感じた	1○	2○	3○	4○	5○
3 そわそわしたり、落ち着きがなくなった	1○	2○	3○	4○	5○
4 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた	1○	2○	3○	4○	5○
5 何をするのも骨折りだ(面倒くさい)と感じた	1○	2○	3○	4○	5○
6 自分は価値のない人間だと感じた	1○	2○	3○	4○	5○



次へ



Q7

あなたは、次の項目について、どのくらいの頻度で感じていますか。

①～③のそれぞれについてお答えください。(それぞれひとつずつ)

	決してない	ほとんどない	ときどきある	常にある
1 自分には人との付き合いがないと感じることがある	1○	2○	3○	4○
2 自分は取り残されていると感じることがある	1○	2○	3○	4○
3 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある	1○	2○	3○	4○



次へ



Q8

あなたは、日頃、親しく話ができる人はいますか。
あてはまるものをいくつでもお選びください。(いくつでも)

- 1 同居の家族
- 2 同居していない家族・親せき
- 3 交際相手
- 4 友人・知人
- 5 職場の人
- 6 近所の人・自治会等の地域の人
- 7 学校の先生
- 8 SNSやインターネット上の友人
- 9 その他(具体的に:)
- 10 いない

次へ

0 50 100(%)

Q9

あなたは、不安や悩みが生じた場合、誰に相談しますか。
 あてはまるものをいくつでもお選びください。(いくつでも)

- 1 同居の家族
- 2 同居していない家族・親せき
- 3 交際相手
- 4 友人・知人
- 5 職場の人
- 6 近所の人・自治会等の地域の人
- 7 学校の先生
- 8 SNSやインターネット上の友人
- 9 公的な相談窓口(県や市町村等の相談員)
- 10 民間の相談窓口(NPO等の民間団体・ボランティア団体等の相談員)
- 11 病院関係者や福祉サービス事業者等
- 12 その他(具体的に:)
- 13 誰にも相談しない

次へ

0 50 100(%)

Q10

あなたは、不安や悩みを誰かに相談することについて、どのように思いますか。
 あてはまるものをいくつでもお選びください。(いくつでも)

- 1 相談することで解決できる、または解決の手がかりが得られる
- 2 相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる
- 3 相手に連絡を取ることや、不安や悩みを説明するのが面倒である
- 4 相談することが恥ずかしい
- 5 相談すると相手の負担になる
- 6 相談しても無駄である(相談しても解決しない)
- 7 その他(具体的に:)

次へ

0 50 100(%)

Q11

あなたは、配偶者・パートナー・恋人から、次のような暴力(DV・デートDV)を受けたことがありますか。あてはまるものをいくつでもお選びください。(いくつでも)

- 1 身体的暴力を受けた[殴る・蹴る・平手で打つ等]
- 2 精神的暴力を受けた[大声でどなる・無視する・脅かす等]
- 3 経済的暴力を受けた[生活費を渡さない・借金を重ねる等]
- 4 社会的暴力を受けた[親族、友人との付き合いを制限する・交友関係や電話等を細かく監視する等]
- 5 性的暴力を受けた[性的な行為を強要する等]
- 6 その他(具体的に:)
- 7 どれも該当しない

次へ

0 50 100(%)

Q12

あなたは、配偶者・パートナー以外の家族・親せきから、次のような暴力を受けたことがありますか。あてはまるものをいくつでもお選びください。(いくつでも)

- 1 身体的暴力を受けた[殴る・ける・平手で打つ等]
- 2 精神的暴力を受けた[大声でどなる・無視する・脅かす等]
- 3 経済的暴力を受けた[生活費を渡さない・借金を重ねる等]
- 4 社会的暴力を受けた[交友関係や電話等を細かく監視する等]
- 5 性的暴力を受けた[性的な行為を強要する等]
- 6 その他(具体的に:)
- 7 どれも該当しない

次へ

0 50 100(%)

Q12_1

【家族・親せきからなんらかの暴力を受けた方にお聞きします。】
その暴力をふるった人は誰ですか。あてはまるものをいくつでもお選びください。
(いくつでも)

- 1 父親(義理の父親、又は母親の未婚のパートナーを含む)
- 2 母親(義理の母親、又は父親の未婚のパートナーを含む)
- 3 子
- 4 きょうだい
- 5 祖父母
- 6 孫
- 7 親せき
- 8 その他(具体的に:)

次へ

0 50 100(%)

Q13

あなたは、次のような性的な被害や問題を抱えたことがありますか。あてはまるものをいくつでもお選びください。(いくつでも)

- 1 性的な嫌がらせを受けた[セクシャルハラスメント等]
- 2 性暴力や性的虐待を受けた[無理やり性行為をする等]
- 3 望まない妊娠をした
- 4 ストーカー被害にあった
- 5 その他(具体的に:)
- 6 どれも該当しない

次へ

0 50 100(%)

Q14

あなたは、次のような経済的な困りごと(仕事のことを含む)を抱えたことがありますか。(いくつでも)

- 1 自分の失業や転職等で収入が減った
- 2 家族の失業や転職等で収入が減った
- 3 仕事を探しているが見つからない(失業中)
- 4 家庭環境が変わって家計が苦しくなった(離婚、出産、子育て・子どもの進学、病気・介護等)
- 5 生活に最低限必要なものが買えないくらい困窮した(食料品、生理用品等の物資)
- 6 その他(具体的に:)
- 7 どれも該当しない

次へ

0 50 100(%)

Q15

あなたは、次のような健康に関わる不安や問題を抱えたことがありますか。(いくつでも)

- 1 身体の病気やケガでの不調がある
- 2 精神的な問題を抱えている
- 3 体力低下や介護が必要になる不安が大きい
- 4 妊娠・出産の不安がある
- 5 その他(具体的に:)
- 6 どれも該当しない

次へ

0 50 100(%)

Q16

あなたは、次のような家庭に係る問題を抱えたことがありますか。
(いくつでも)

- 1 自分と配偶者・パートナーとの不仲
- 2 自分と家族(配偶者・パートナー以外)との不仲
- 3 自分以外の家族同士の不仲
- 4 子どもへの虐待
- 5 家族の介護・看護や育児の負担が大きい
- 6 家族の問題行動がある(引きこもり、非行、浪費・ギャンブル等)
- 7 その他(具体的に:)
- 8 どれも該当しない

次へ

0 50 100(%)

Q17

あなたは、次のような職場や学校、地域での人間関係等に係る問題を抱えたことがありますか。(いくつでも)

- 1 職場や学校、地域で人間関係がうまく築けない
- 2 職場や学校、地域でいじめやハラスメントを受けている
- 3 職場や学校、地域で孤立している
- 4 近隣トラブルがある
- 5 その他(具体的に:)
- 6 どれも該当しない

次へ

0 50 100(%)

Q18

あなたは、次のような住まいや居場所に係る問題を抱えたことがありますか。あてはまるものをいくつかもお選びください。(いくつかでも)

- 1 家族等との不仲、その他の事情で住まいを転々としている
- 2 DV等のために一時的に自宅を出て避難しなければならなかった
- 3 病気・障害や高齢等を理由に住まいが借りられない、退去を求められている
- 4 安心できる居場所がない
- 5 その他(具体的に:)
- 6 どれも該当しない

次へ

0 50 100(%)

Q18_1

【住まいや居場所に困難を抱えている方にお聞きします。】

ご回答された「住まいや居場所に係る困難」を抱えたとき、あなたはどこに行きましたか。あてはまるものをいくつかもお選びください。(いくつかでも)

- 1 実家に行った
- 2 親せきの家に行った
- 3 友人・知人宅に行った
- 4 インターネットカフェ・マンガ喫茶を利用した
- 5 インターネットで居場所を求めた
- 6 アパートを借りた
- 7 宿泊施設(ビジネスホテル等)を利用した
- 8 無料低額宿泊所を利用した
- 9 野宿をした
- 10 その他(具体的に:)

次へ

0 50 100(%)

Q19

これまでの設問でご回答いただいたこと以外で、あなたは、生活上の深刻な悩み・困りごとを抱えたことはありますか。あれば、具体的に記入してください。

次へ

0 50 100(%)

Q20

ご回答いただいた悩み・困りごとについて、それぞれどのように対応していますか。
 (それぞれひとつずつ)

※現在は問題が解決している場合は、解決前の状況をお答えください。又、複数に該当する場合は、最も頻度のある対応方法をお選びください。



公的支援を受けたい、
 民間の窓口で相談したい、
 家族や周囲の人等に相談したい、
 主にかしよ一人として相談したい、
 ほぼ何もしていない

1 DV被害	1	2	3	4	5
2 暴力被害	1	2	3	4	5
3 性被害	1	2	3	4	5
4 生活困窮・就労	1	2	3	4	5
5 健康問題	1	2	3	4	5
6 家庭問題	1	2	3	4	5
7 職場・地域等との関係	1	2	3	4	5
8 住まい・居場所に関する問題	1	2	3	4	5
9 その他の問題の内容	1	2	3	4	5

次へ



Q21

公的な窓口の相談・支援を受けていない理由は何ですか。
 あてはまるものをすべて選んでください。(それぞれいくつでも)



- 公的な窓口で解決できると
思わないから
- 以前相談したが、断られたから
(支援対象外の場合を含む)
- 以前相談したが、その際に
嫌な思いをしたから
- 恥ずかしいと思うから
- 上手く伝えることができないから
- 必要だが、我慢できる程度だから
- 必要ではないから
- 支援を受けるための手続が
面倒だから
- どこに相談したらよいか
わからないから
- その他

1 DV被害	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>	(具体的に: <input type="text"/>)
2 暴力被害	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>	(具体的に: <input type="text"/>)
3 性被害	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>	(具体的に: <input type="text"/>)
4 生活困窮・就労	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>	(具体的に: <input type="text"/>)
5 健康問題	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>	(具体的に: <input type="text"/>)
6 家庭問題	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>	(具体的に: <input type="text"/>)
7 職場・地域等との関係	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>	(具体的に: <input type="text"/>)
8 住まい・居場所に関する問題	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>	(具体的に: <input type="text"/>)
9 その他の問題の内容	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>	(具体的に: <input type="text"/>)

次へ



Q22

どのような窓口なら悩みや困りごとを相談しようと思いますか。
 あてはまるものをすべて選んでください。(それぞれいくつでも)

	2 4 時間 相談 できる 窓口	個人 情報 を出さ なくて よい 窓口	周りに 知られ ないで 相談 できる 窓口	継続し て相談 を続け られる 窓口	同じ悩 みをも つ人と おし が 話した り、相 談でき る場所	何か理 由がな くても 気軽に 立ち寄 れるこ とができ る場所	自分の 希望を よく 聞いて くれる 窓口	同年 代の人 が話を 聞いて くれる 窓口	法律や 心理学 などの 専門 家に 相談 できる 窓口	自分の 困りご とに気 づいて 声をか けてく れる人	その他
1 DV被害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 暴力被害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 性被害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 生活困窮・就労	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 健康問題	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 家庭問題	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 職場・地域等との関係	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 住まい・居場所に関する問題	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9 その他の問題の内容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

次へ



Q23

困難な問題を抱える女性の相談窓口として、知っているものはありますか。
 また、利用したことはありますか。以下のそれぞれの相談窓口ごとにお答えください。
 (それぞれひとつずつ)



知
ら
な
か
っ
た

名
利
用
し
た
こ
と
は
な
い

過
去
に
利
用
し
た
こ
と
は
あ
る
が
、

現
在
、
利
用
し
て
い
る

1	女性のためのDV相談(配偶者暴力相談支援センター)	1	2	3	4
2	かながわDV相談LINE	1	2	3	4
3	かながわ女性の不安・困りごと相談室(かながわ女性相談室)	1	2	3	4
4	かながわ子ども家庭110番相談・児童相談所	1	2	3	4
5	かながわ子ども・若者総合相談	1	2	3	4
6	かながわひとり親家庭相談	1	2	3	4
7	かながわ性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター・かならいん	1	2	3	4
8	妊娠SOSかながわ	1	2	3	4
9	市町村の相談窓口(女性、生活困窮、介護、障がい)	1	2	3	4
10	警察の相談窓口(＃9110等)	1	2	3	4



知
ら
な
か
っ
た

名
利
用
し
た
こ
と
は
な
い

過
去
に
利
用
し
た
こ
と
は
あ
る
が
、

現
在
、
利
用
し
て
い
る

次へ



Q24

【ご利用したことのある相談窓口等についてお聞きます。】

相談窓口を利用したきっかけはなんですか。

利用経験があるそれぞれの相談窓口ごとにお答えください。(それぞれひとつずつ)

	自分で相談窓口を調べた	相談窓口のチラシやパンフレット等もらった	家族や周囲の人等から勧められた	他の相談窓口からつないでもらった	その他
1 女性のためのDV相談(配偶者暴力相談支援センター)	1○ 2○ 3○ 4○ 5○	(具体的に: <input type="text"/>)			
2 かながわDV相談LINE	1○ 2○ 3○ 4○ 5○	(具体的に: <input type="text"/>)			
3 かながわ女性の不安・困りごと相談室(かながわ女性相談室)	1○ 2○ 3○ 4○ 5○	(具体的に: <input type="text"/>)			
4 かながわ子ども家庭110番相談・児童相談所	1○ 2○ 3○ 4○ 5○	(具体的に: <input type="text"/>)			
5 かながわ子ども・若者総合相談	1○ 2○ 3○ 4○ 5○	(具体的に: <input type="text"/>)			
6 かながわひとり親家庭相談	1○ 2○ 3○ 4○ 5○	(具体的に: <input type="text"/>)			
7 かながわ性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター・かならいん	1○ 2○ 3○ 4○ 5○	(具体的に: <input type="text"/>)			
8 妊娠SOSかながわ	1○ 2○ 3○ 4○ 5○	(具体的に: <input type="text"/>)			
9 市町村の相談窓口(女性、生活困窮、介護、障がい)	1○ 2○ 3○ 4○ 5○	(具体的に: <input type="text"/>)			
10 警察の相談窓口(☎9110等)	1○ 2○ 3○ 4○ 5○	(具体的に: <input type="text"/>)			

次へ



Q25

女性の困りごとに対応している公的機関や民間団体の相談窓口に、今後、相談するとしたら、どのような形で相談したいですか。

あてはまるものをいくつでもお選びください。(いくつでも)

- 1 電話で
- 2 電子メールで
- 3 SNSで
- 4 オンラインのビデオ通話で
- 5 チャットで
- 6 相談窓口で(対面)
- 7 自宅に来てもらって(対面)
- 8 気軽に立ち寄れる居場所等で(対面)
- 9 その他(具体的に:)
- 10 どこにも相談したくない
- 11 わからない

次へ

0 50 100(%)

Q26

あなたの悩み・困りごとを解決するために、どのような環境や支援があるとよいと思いますか。

あてはまるもの**3つまで**お選びください。(3つまで)

※すでに抱えていた悩み・困りごとが解決している人は、解決する前の状況としてお答えください。

- 1 気軽に話を聞いてもらえるSNSなどの相談窓口
- 2 自分の困りごとをなんでも相談でき、支援につながるができる窓口(相談窓口等と一緒にしてくれる 等)
- 3 利用できる支援制度の情報提供
- 4 同じような悩みをもつ人と出会える場所
- 5 相談・支援を受けている間の寄り添いや見守り
- 6 自分の困りごとに気づいて声をかけてくれる人や支援機関
- 7 生活のための経済的援助
- 8 就労の支援(資格取得等の働くための支援や就職先を探すサポート)
- 9 カウンセリング等の心理学的支援
- 10 弁護士等による法的支援
- 11 その他(具体的に:)

次へ

0 50 100(%)

Q27

DVや虐待などの困りごとを解決するために、どのような環境や支援があるとよいと思いますか。あてはまるもの**3つまで**お選びください。(3つまで)

- 1 数時間程度休息し、安心して過ごせる場所
- 2 同じような悩みをもつ人と出会える場所
- 3 1泊程度休息し、今後について考えることができる場所
- 4 加害者に完全に情報が秘匿され、安心して避難できる施設
- 5 生活全般について手厚い支援を受けながら自立を目指す施設
- 6 ゆるやかな支援・見守りを受けながら自立を目指す施設
- 7 在宅で受けられる見守り支援
- 8 住まい探しの補助・支援
- 9 仕事探しの補助・支援
- 10 加害者への教育プログラムの実施
- 11 その他(具体的に:)

次へ

0 50 100(%)

令和5年度神奈川県困難を抱える女性に係る実態調査
調査報告書

令和6年3月

[発行] 神奈川県 福祉子どもみらい局 共生推進本部室 男女共同参画グループ
